



第352図 第792・795・796号溝跡遺物出土状況 (3)

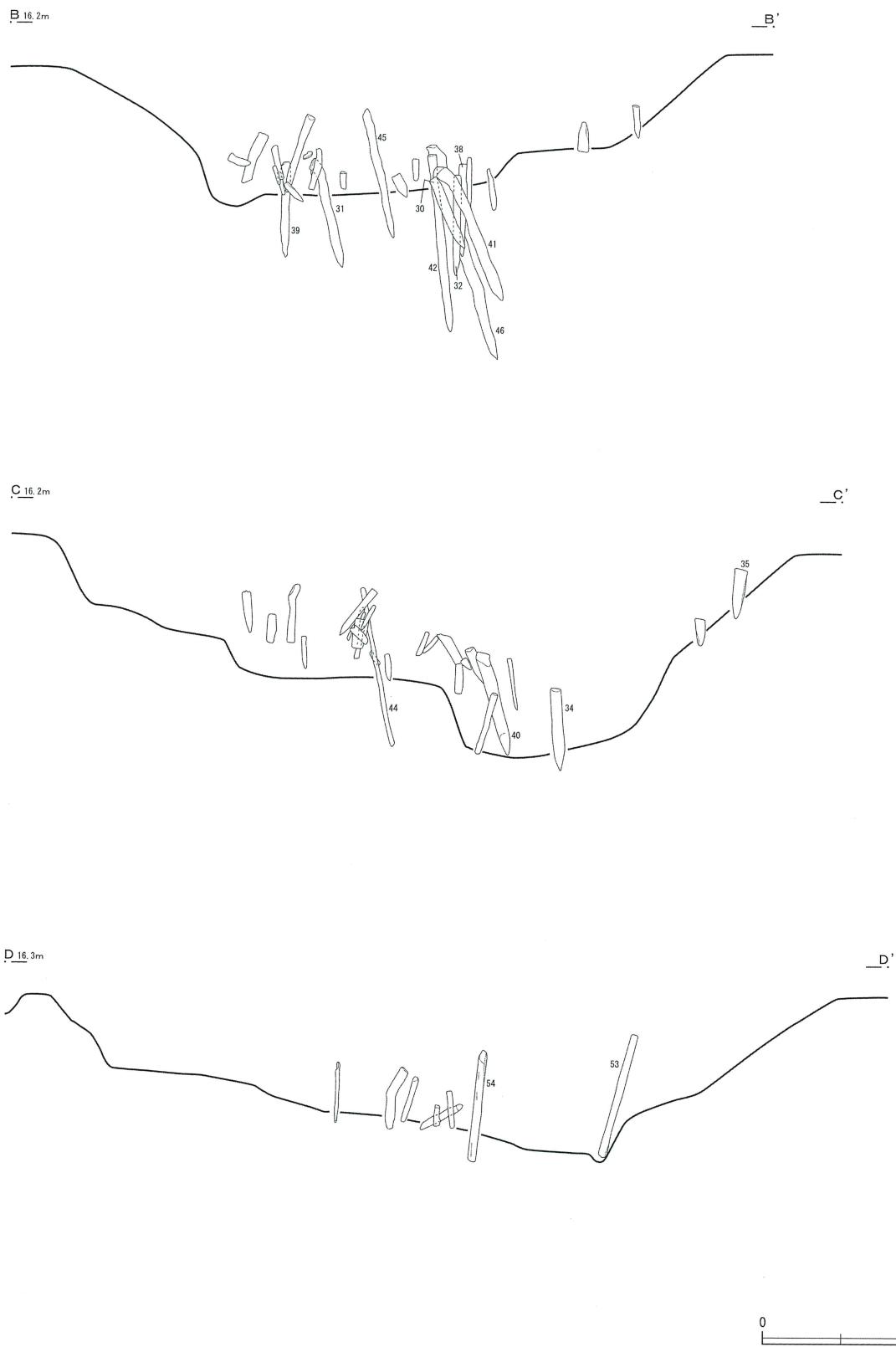
ある。27は断面正方形の角材である。端部に杢穴があり、右側面に幅約2.3cmの直線的な溝がある。28は断面正方形の角材である。2箇所杢穴が直行方向に穿たれる。側面には幅2.1cmの直線的な溝がある。27と同種の建築部材と考えられる。53は断面長方形の角材である。側面の上下端に方形の抉りがあり、中央に鉄釘を打つ。右側面にも7箇所鉄釘が残る。54は断面方形の角材である。角2箇所は面取りをしている。側面上部に鉄釘が残る。55は53同様、方形の抉りの中に鉄釘を打つ。その他、左側面の7箇所に鉄釘が打ち込まれる。56は断面方形の角材である。上端に仕口があり、側面下部に鉄釘が打ち込まれる。29～46は杭である。実測した杭16点中13点が丸木で、加工は杭先と枝部の切り落としのみである。3点は

断面方形の角柱状に加工した杭である。杭先の長さは8.1～22cmだが、10cm前後が主である。40は正面に方形の杢穴が2箇所穿たれ、表面の整形は他の杭より細かい。建築部材から杭への転用が考えられる。47・49～52・57～59は板材である。

第796号溝跡 (第345・349～355図)

M-47・48、N-48・49グリッドにかけて検出された。

調査区南西コーナー付近を南北方向に延びる規模の大きな溝跡であった。北側は谷部に落ち込み、南側は調査区域外へと延びていた。本溝跡の東側には第795号溝跡、西側には第792号溝跡が南北方向に接するように延びていた。重複関係は第792号溝跡が最

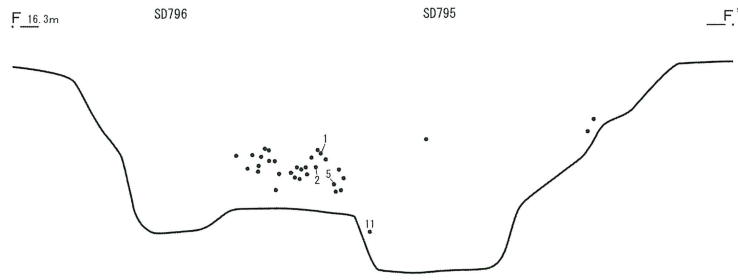


第353図 第792・795・796号溝跡遺物出土状況 (4)

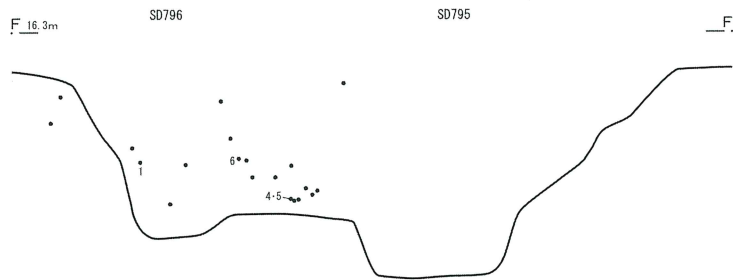


第354図 第792・795・796号溝跡遺物出土状況 (5)

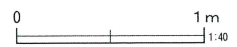
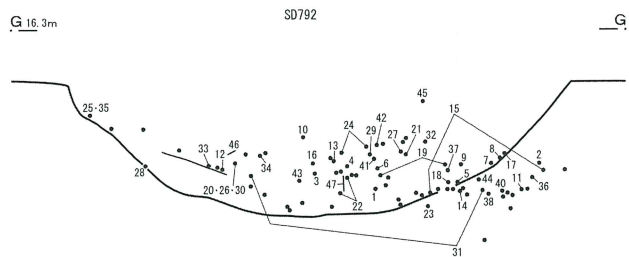
SD795遺物出土状況



SD796遺物出土状況

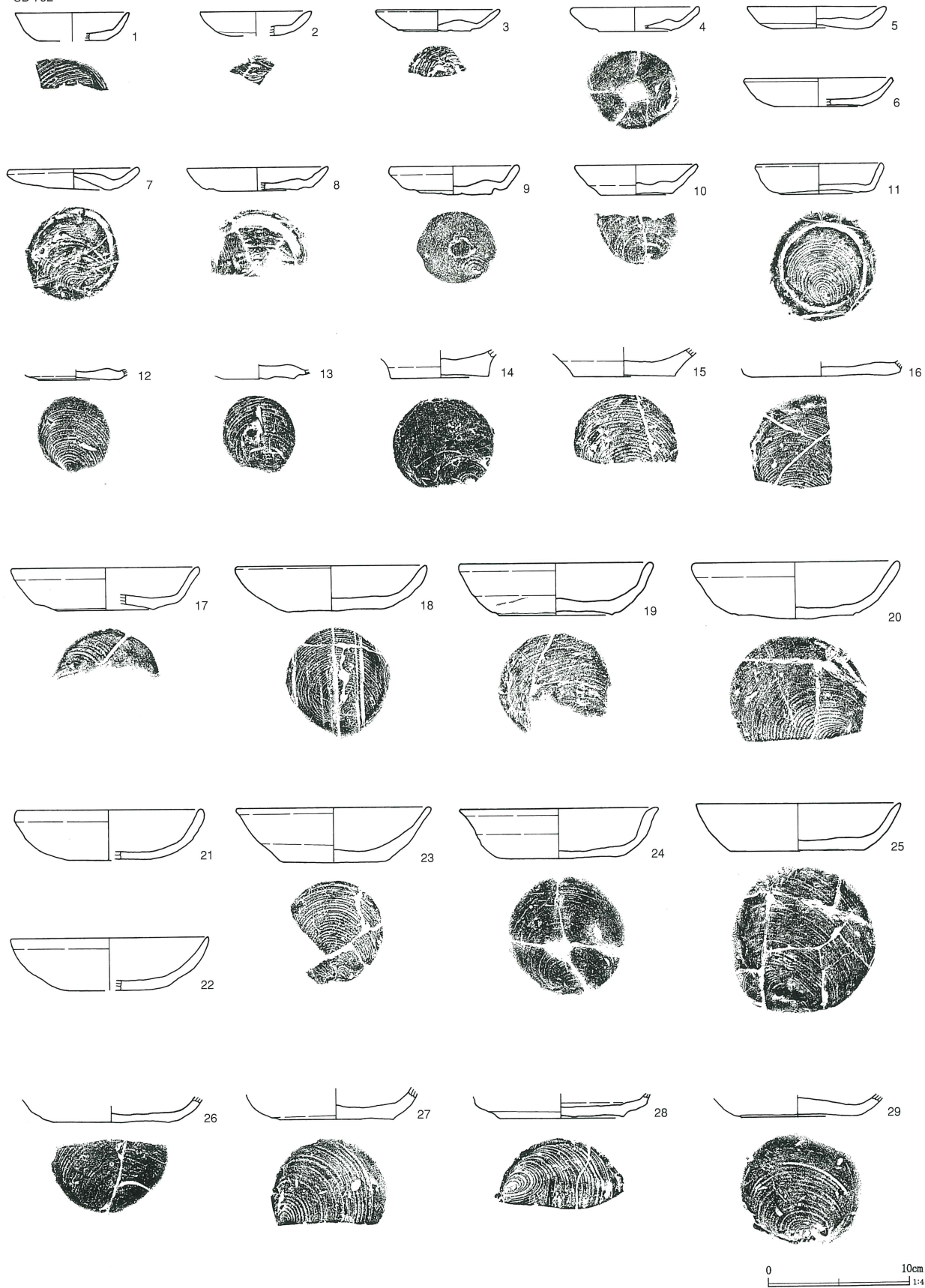


SD792遺物出土状況



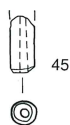
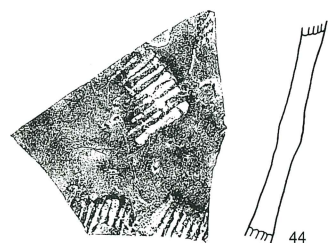
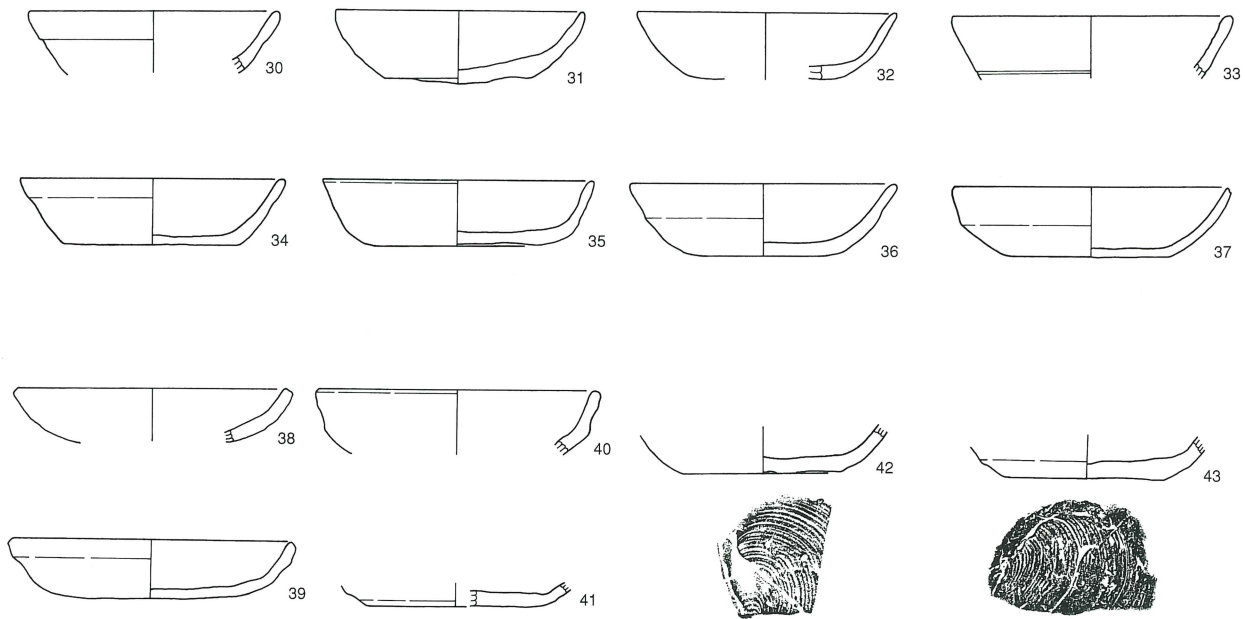
第355図 第792・795・796号溝跡遺物出土状況 (6)

SD 792

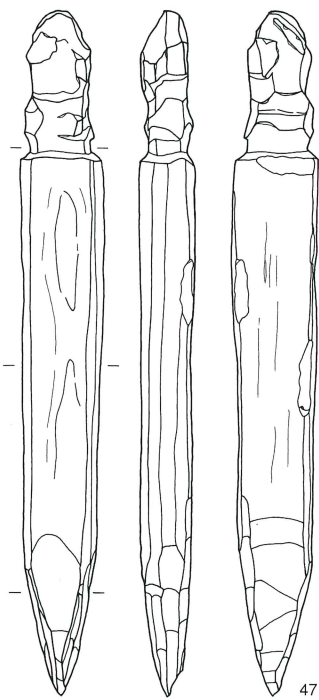


第356图 沟迹出土遗物 (19)

SD 792



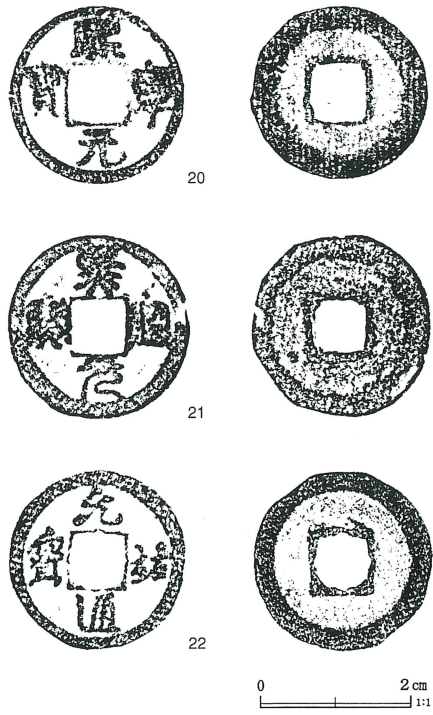
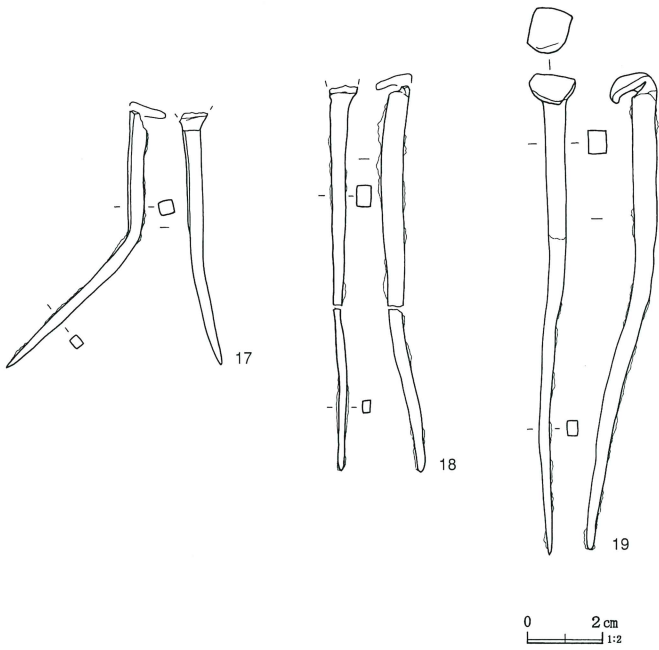
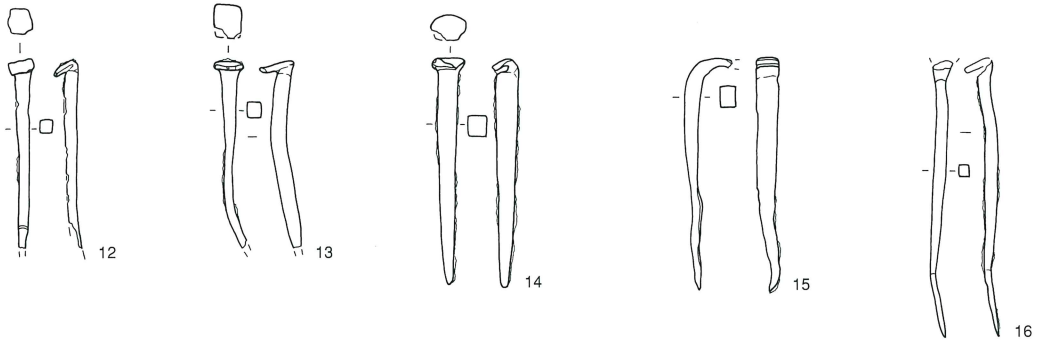
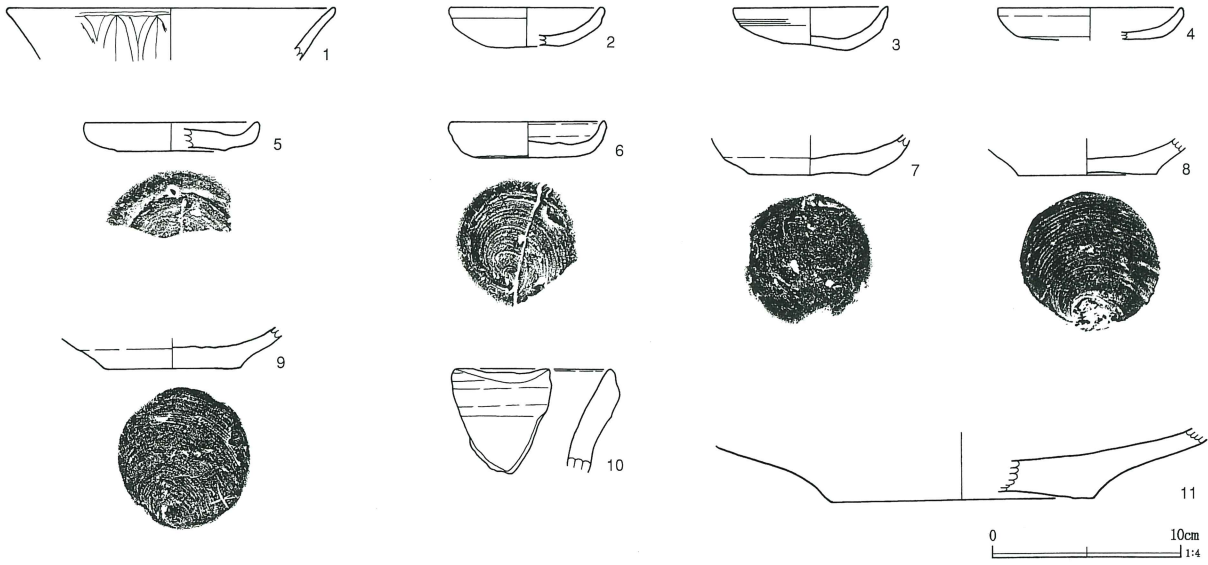
0 2 cm
1:2



0 10 cm
1:4

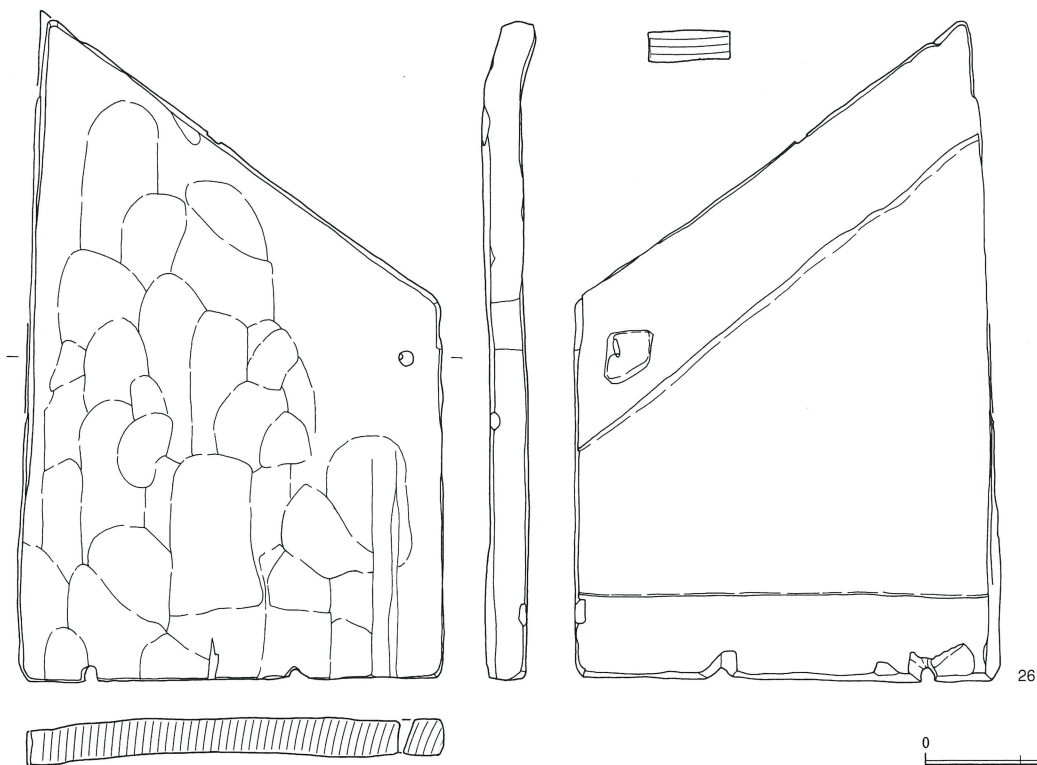
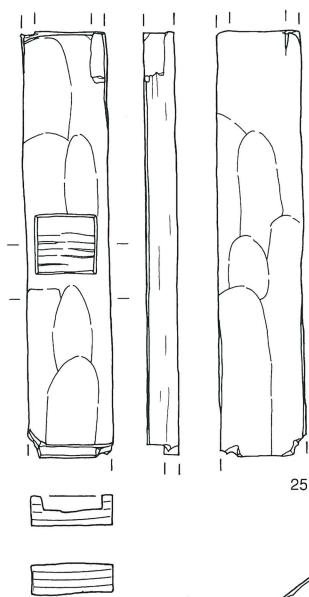
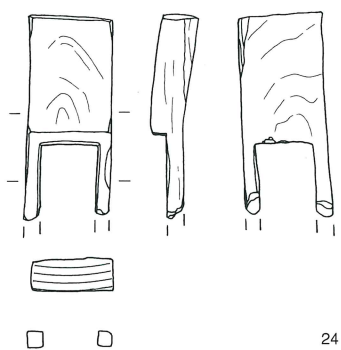
第357图 溝跡出土遺物 (20)

SD 795



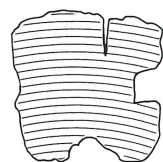
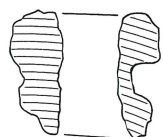
第358图 沟迹出土遗物 (21)

SD 795

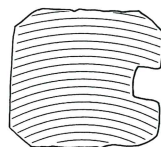
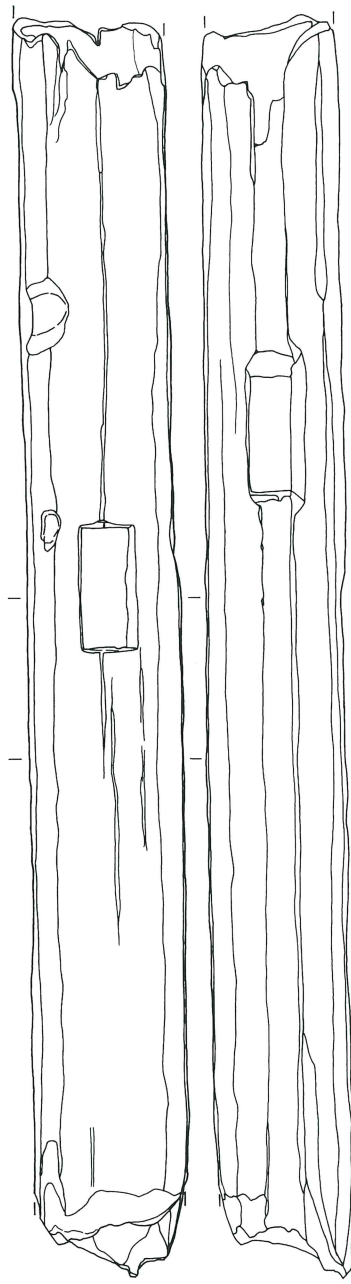


第359图 溝跡出土遺物 (22)

SD 795



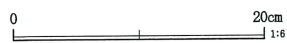
27



28

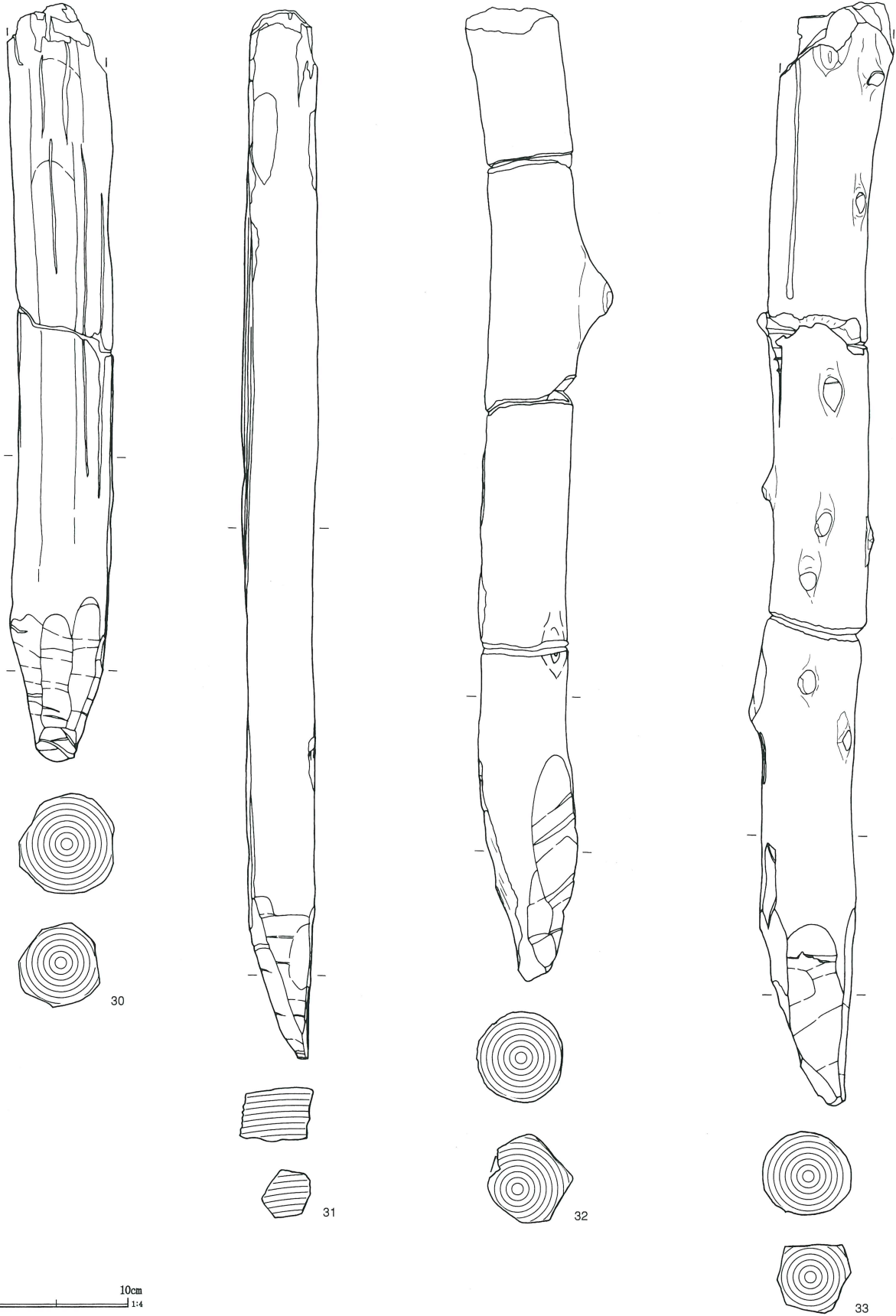


29



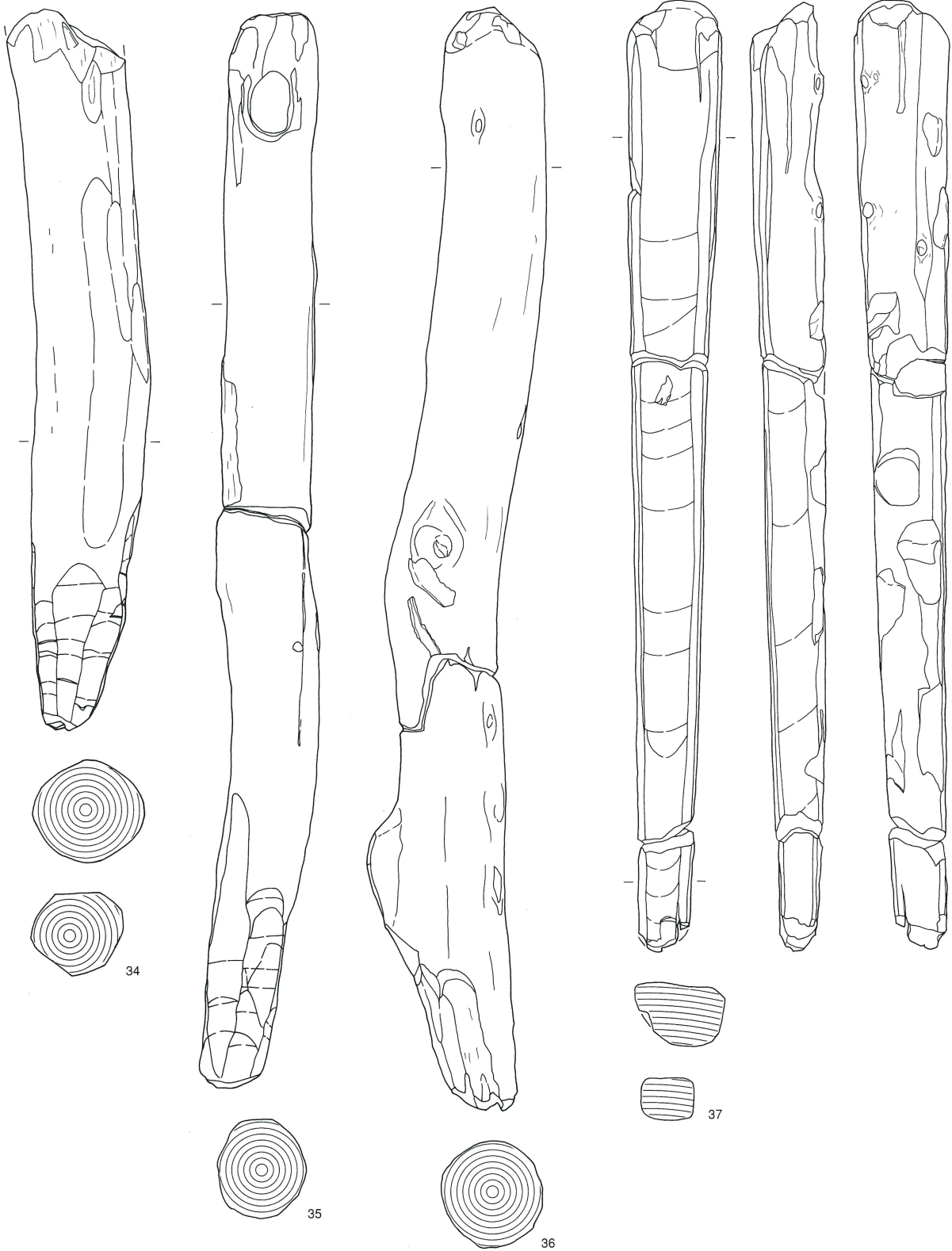
第360図 溝跡出土遺物 (23)

SD 795



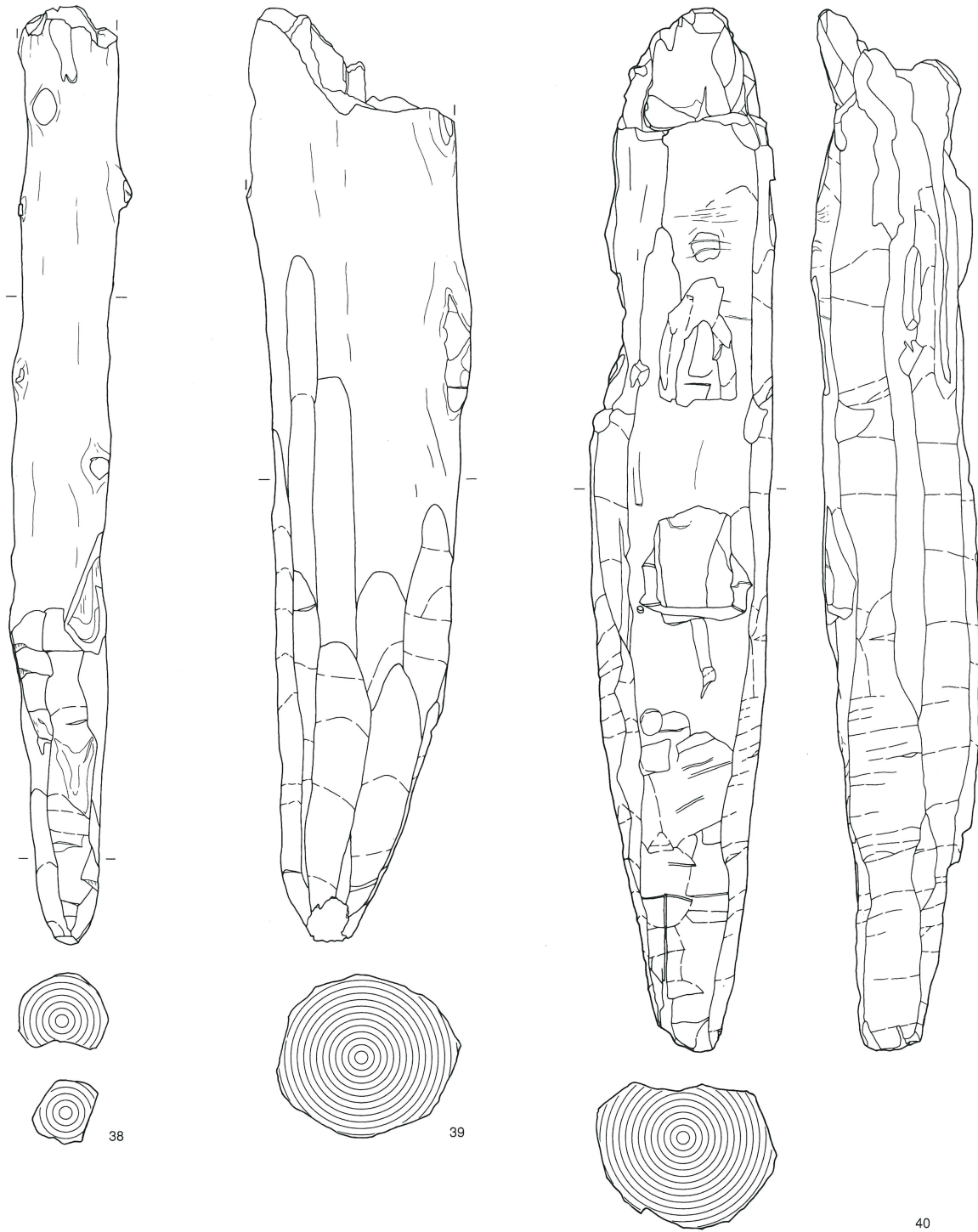
第361图 溝跡出土遺物 (24)

SD 795



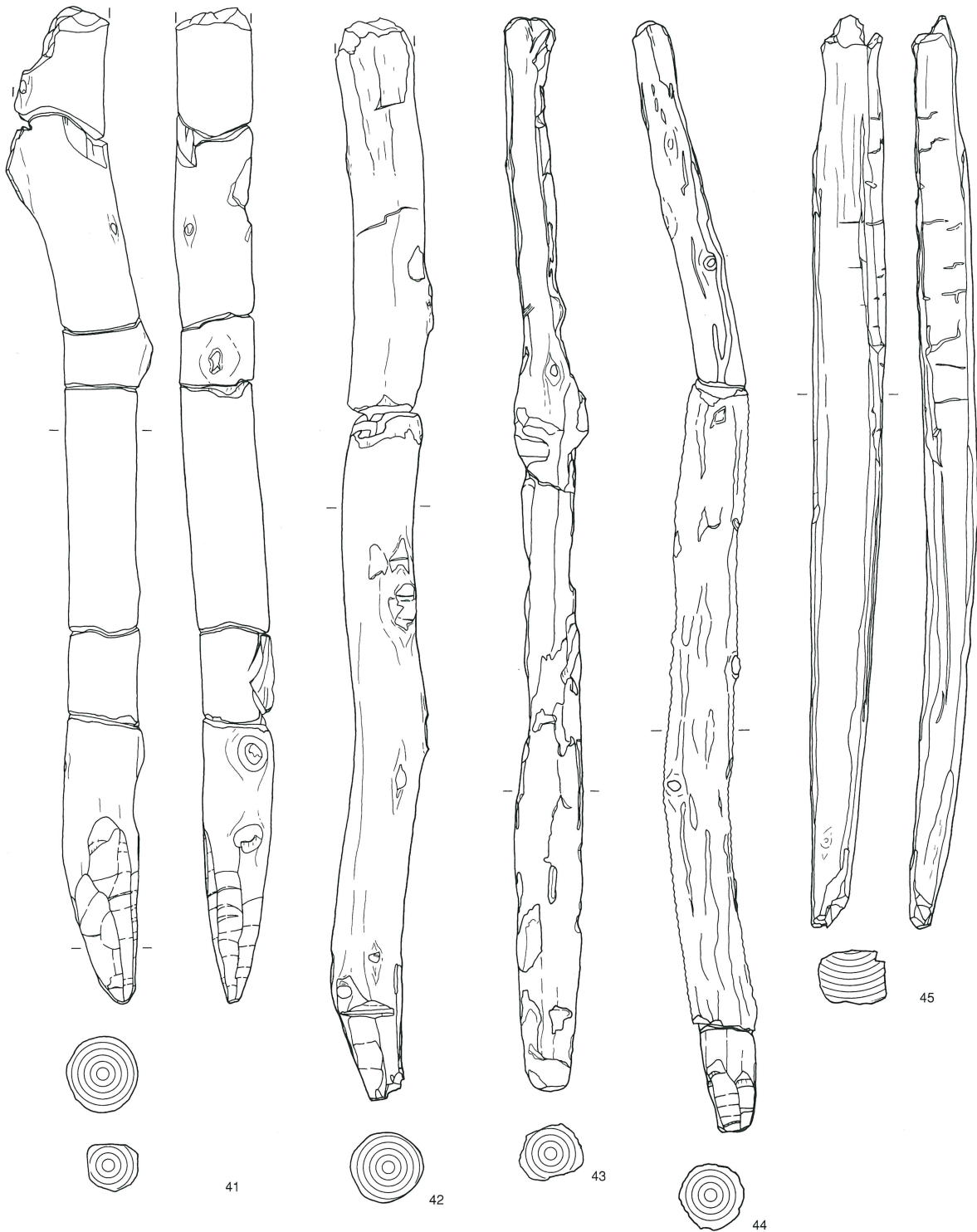
第362图 溝跡出土遺物 (25)

SD 795



第363図 溝跡出土遺物 (26)

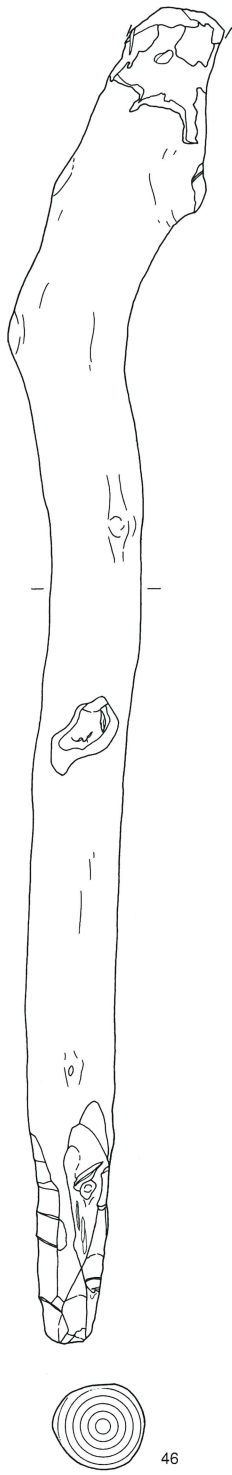
SD 795



0 20cm
1:6

第364図 溝跡出土遺物 (27)

SD 795



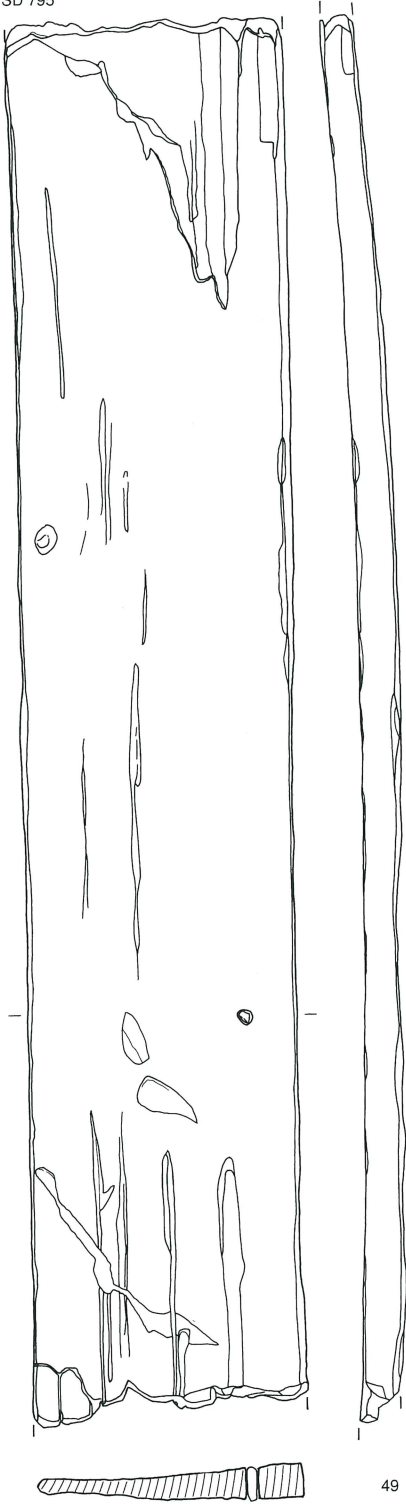
0 20cm 1:8



0 20cm 1:6

第365図 溝跡出土遺物 (28)

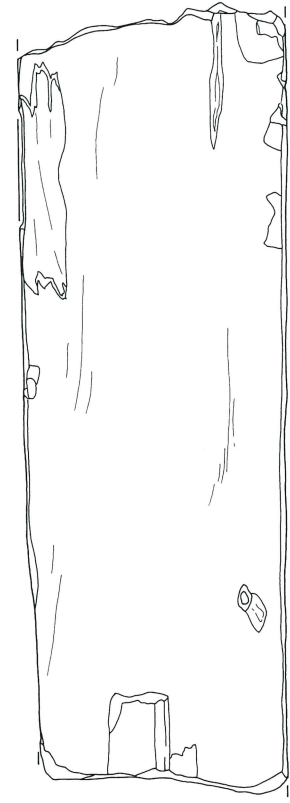
SD 795



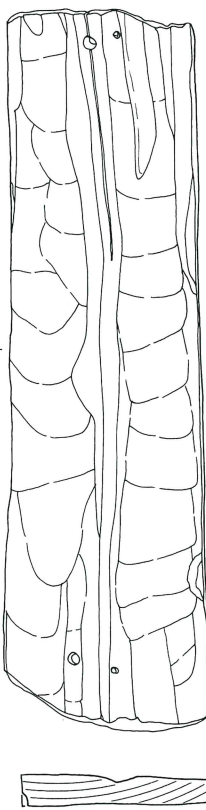
49



50



51



0 10cm 1:4

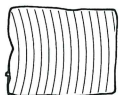
第366图 沟迹出土遗物 (29)

SD 795



第367图 沟跡出土遺物 (30)

SD 795



57

56



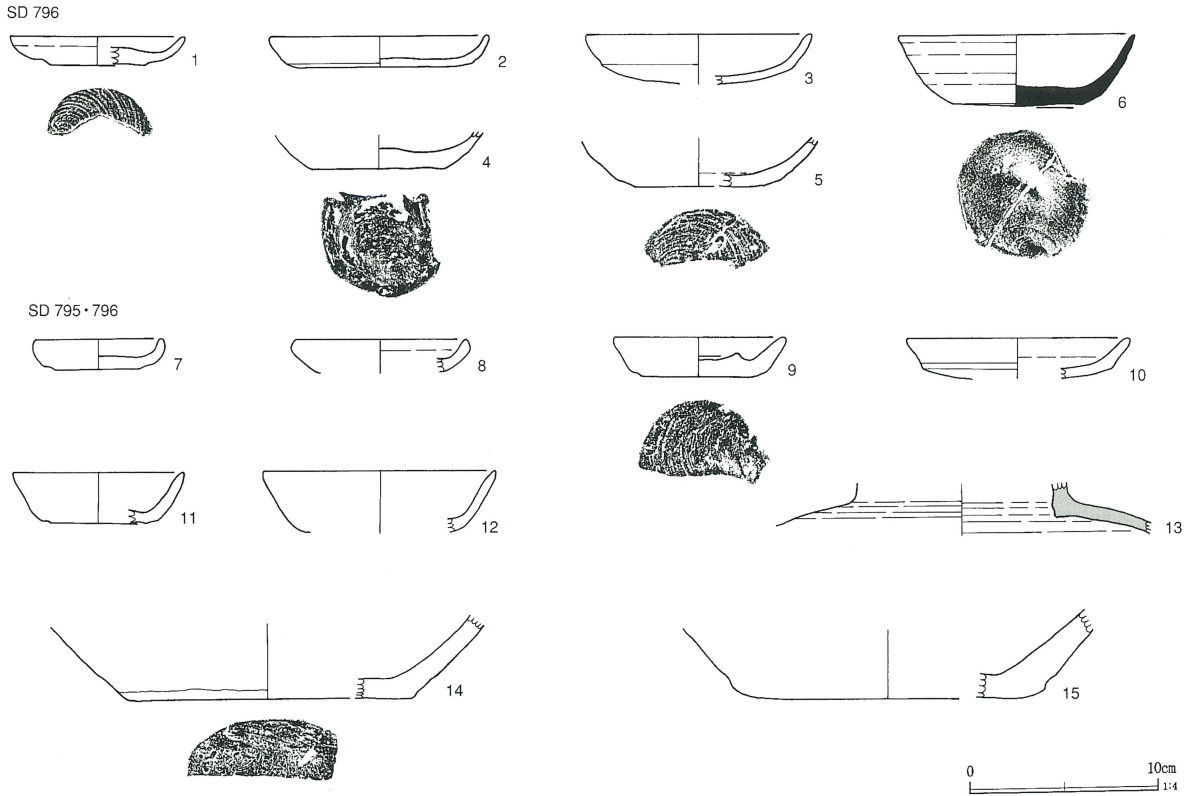
58



59



第368図 溝跡出土遺物 (31)



第369図 溝跡出土遺物 (32)

も古く、第796号溝跡は第795号溝跡に切られると考えられるが、重複部での土層は明瞭に区別できなかった。

規模は、全長23.75m、幅75～200cm、深さは22～72cmであった。

出土遺物は、第369図1～15に図示した。1・4～9・11・12はかわらけ皿である。2・3・10は手づくねの皿である。13は灰釉陶器の壺頸部破片である。14は在地産甕の底部破片である。15は常滑甕の底部破片である。

第797号溝跡 (第341・370図)

Q-42～45グリッドにかけて検出された。

谷部南側の東肩部に沿って南北方向に延びる溝跡であった。

北側は調査区域外へと延び、南側は第819号溝跡と接していた。また、本溝跡の西側には第789号溝跡が接して位置していた。

規模は、全長26.75m、幅75～125cm、深さは34～41

cmであった。

覆土下層の黒色粘質土中からは、桃の種が広範囲にわたって多量に出土した。

遺物は、第373図5に図示した渥美大甕の口縁部破片が出土している。

第798号溝跡 (第345図)

M-48・49、N-49グリッドにかけて検出された。

南北方向に延びる幅広の溝跡であった。第792号溝跡の西側を切り込んでいた。

規模は、全長5m、幅55～145cm、深さは25～42cmであった。

遺物は、中世の陶器片などが少量出土している。

第799号溝跡 (第341図)

P-44・45グリッドにかけて検出された。

谷地形に向かって東西方向に延びる細長い溝跡であった。

西側は谷部に落ち込んでいた。東側は第789号溝跡

に接していた。また中央付近は第415号井戸跡が切り込んでいた。

規模は、全長7.75m、幅15～35cm、深さは10～19cmであった。

遺物は、土師器甕の破片などが少量出土した。

第800号溝跡（第345図）

M・N-48グリッドにかけて検出された。

調査区南西コーナー付近に位置し、東西方向に延びる細長い溝跡であった。本溝跡の中央付近は第792・795・796号溝跡によって切られていた。

規模は、全長7.5m、幅25～50cm、深さは7～20cmであった。

遺物は、第373図6に図示したかわらけ皿が出土した。

第801号溝跡（第341図）

P-44グリッドで検出された。

谷部に面した不整形の短い溝跡であった。南側には第769号土坑が位置していた。

規模は、全長1.25m、幅13～38cm、深さは2～5cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第802号溝跡（第341図）

P-44グリッドで検出された。

谷地形に沿って南北方向に延びる溝跡であった。東側には第789号溝跡が位置し、西側には第772号土坑を検出した。

規模は、全長8.38m、幅13～55cm、深さは3～5cmであった。

遺物は、土師器坏・甕の破片が少量出土した。

第803号溝跡（第370図）

N-48グリッドで検出された。

南北方向に延びる浅く短い溝跡であった。南側には第399号住居跡、西側には第398号住居跡が位置し

ていた。

規模は、全長2.75m、幅15～25cm、深さは5～7cmであった。

遺物は、土師器甕の破片などが少量出土した。

第804号溝跡（第345図）

N・O-47グリッドにかけて検出された。

調査区南側に位置し、谷部南側の東肩部付近を北東から南西方向に斜めに延びる溝跡であった。

本溝跡の北側90cmの位置に、規模の同じ第805号溝跡が並行して延びていた。西側は第795号溝跡と重複していた。

規模は、全長11.25m、幅15～35cm、深さは4cmであった。

遺物は、土師器甕の破片などが少量出土した。

第805号溝跡（第345図）

N-47グリッドで検出された。

調査区南側に位置し、谷部南側の東肩部付近を北東から南西方向に延びる浅い溝跡であった。

本溝跡の南側90cmの位置に、規模の同じ第804号溝跡が並行して延びていた。西側は第795号溝跡と重複していた。

規模は、全長7.88m、幅15～50cm、深さは3～7cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第806号溝跡（第370図）

P-46・47グリッドにかけて検出された。

谷部南側の東肩部を南北方向に直線的に延びる溝跡であった。

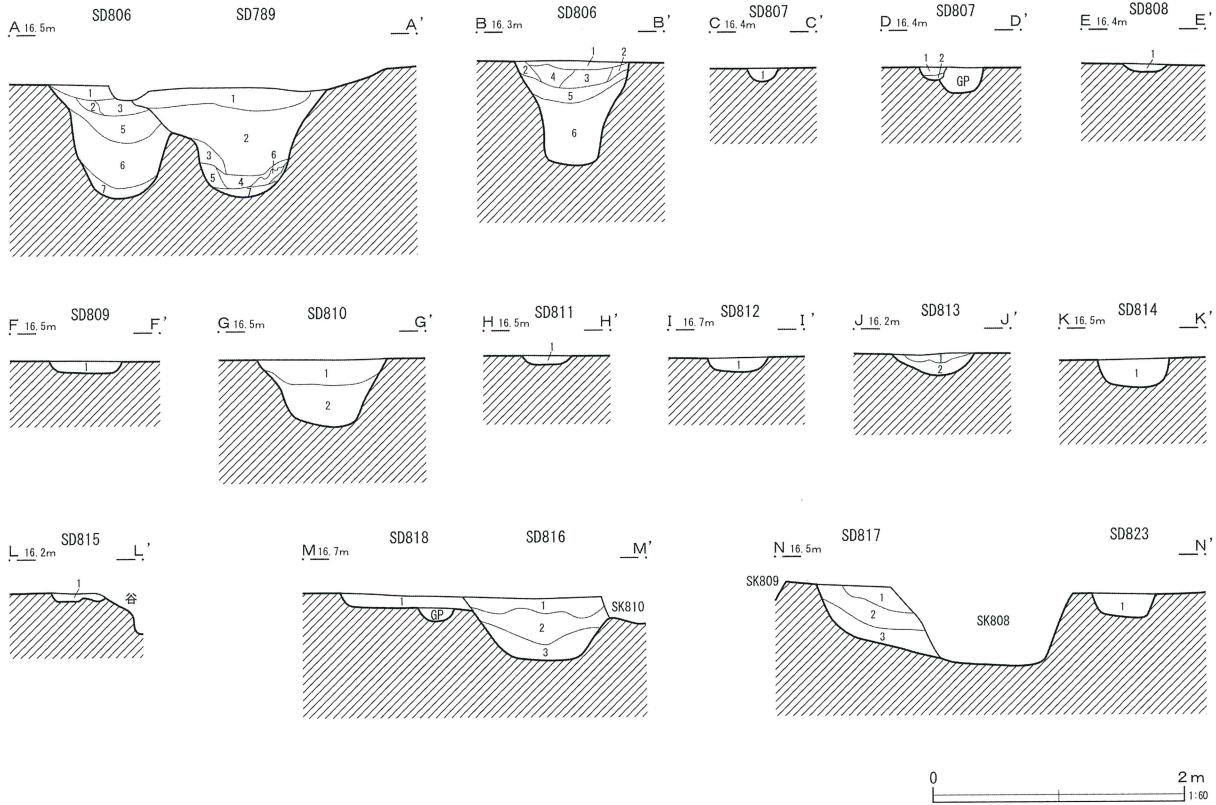
北側は第789号溝跡と連続していた。南側は第402号住居跡付近で立ち上がっていた。本溝跡の東側には北側で分岐した第789号溝跡が位置していた。

規模は、全長15.25m、幅80～110cm、深さは78～93cmであった。

遺物は、中世の遺物が少量出土した。



第370図 溝跡 (17)



第789号溝跡 (A-A')

- | | | |
|------------|----------|---|
| 1 暗オリーブ褐色土 | 7.5Y3/3 | 黄褐色土粒子(φ1~3mm)均等に少量 焼土粒子(φ1mm)・炭化物粒子(φ1mm)微量 しまり・粘性あり |
| 2 黒色土 | 2.5GY2/1 | 粘質土 緑灰色土粒子(φ1~5mm)微量 しまりあり 粘性強い |
| 3 黒色土 | 2.5GY2/1 | 粘質土 緑灰色土ブロック(φ5~10mm)多量 しまりあり 粘性強い |
| 4 黒色土 | N2/0 | 粘質土 緑灰色土粒子(φ1~3mm)微量 しまりあり 粘性強い |
| 5 黒色土 | N2/0 | 粘質土 緑灰色土粒子(φ1~5mm)多量 しまりあり 粘性強い |
| 6 黒色土 | N2/0 | 粘質土 緑灰色土ブロック(φ5~10mm)多量 しまりあり 粘性強い |
| 7 緑灰色土 | 7.5GY5/1 | 緑灰色土ブロック(φ5~10mm)多量 しまりあり 粘性強い |

第806号溝跡 (A-A'・B-B')

- | | | |
|------------|---------|--|
| 1 暗オリーブ褐色土 | 2.5Y3/3 | 黄褐色土粒子(φ1~2mm)少量 しまり・粘性あり |
| 2 黒褐色土 | 2.5Y3/1 | 黄褐色土粒子(φ1mm)微量 しまり・粘性あり |
| 3 黒褐色土 | 2.5Y3/1 | 炭化物粒子(φ1~10mm)多量 黄褐色土ブロック(φ5~10mm)少量 しまりあり 粘性ややあり |
| 4 浅黄色土 | 2.5Y7/4 | 黄土色土主体 ブロック状の堆積土に2層土が充填する 炭化物粒子(φ1~2mm)少量 しまり・粘性あり |
| 5 黒色土 | N2/0 | 粘質土 緑灰色土粒子(φ1~2mm)均等に少量 しまりあり 粘性強い |
| 6 オリーブ黒色土 | 5GY2/1 | 粘質土 緑灰色土粒子(φ1~5mm)微量 しまりあり 粘性強い |
| 7 オリーブ黒色土 | 5G2/1 | 粘質土 緑灰色土(地山土)(φ1~10mm)多量 しまりあり 粘性強い |

第807号溝跡 (C-C'・D-D')

- | | | |
|--------|---------|---|
| 1 黄灰色土 | 2.5Y4/1 | オリーブがかかった暗灰色のしまりある土主体 黄褐色土粒子(φ5mm)少量 炭化物粒子(φ3mm)微量 しまりあり 粘性なし |
| 2 黄灰色土 | 2.5Y4/1 | 主体となる土は1層と同じ 褐灰色土多量 しまりあり 粘性なし |

第808号溝跡 (E-E')

- | | | |
|--------|---------|---------------------|
| 1 黒褐色土 | 2.5Y3/2 | 黄褐色土ブロック(φ3~10mm)多量 |
|--------|---------|---------------------|

第809号溝跡 (F-F')

- | | | |
|--------|---------|----------------------------------|
| 1 黒褐色土 | 10YR3/2 | 黄褐色土ブロック(φ3~5mm)・炭化物粒子(φ2~5mm)少量 |
|--------|---------|----------------------------------|

第810号溝跡 (G-G')

- | | | |
|-------------|---------|---------------------------------------|
| 1 黒褐色土 | 10YR3/2 | 鉄分多量 黄褐色土粒子(φ1~2mm)・炭化物粒子(φ2~3mm)少量 |
| 2 オリーブ黒色シルト | 10Y3/1 | 緑灰色シルトブロック(φ3~10mm)少量 炭化物粒子(φ2~3mm)微量 |

第811号溝跡 (H-H')

- | | | |
|-------|--------|------|
| 1 灰色土 | 10Y4/1 | 鉄分多量 |
|-------|--------|------|

第812号溝跡 (I-I')

- | | | |
|--------|---------|------------------------------|
| 1 暗褐色土 | 10YR3/3 | 黄褐色土粒子(φ1~2mm)・炭化物粒子少量 しまりあり |
|--------|---------|------------------------------|

第813号溝跡 (J-J')

- | | | |
|---------|----------|--|
| 1 暗緑灰色土 | 7.5GY3/1 | 暗緑灰色の粘質土 暗緑灰色シルト少量 しまりなし 粘性あり |
| 2 暗緑灰色土 | 7.5GY3/1 | 1層よりやや明るめの暗緑灰色粘質土 炭化物粒子(φ3mm)微量 しまりなし 粘性あり |

第814号溝跡 (K-K')

- | | | |
|--------|---------|-----------------------------------|
| 1 褐灰色土 | 10YR4/1 | 鉄分・緑灰色土粒子(φ1~2mm)・炭化物粒子(φ2~3mm)少量 |
|--------|---------|-----------------------------------|

第815号溝跡 (L-L')

- | | | |
|-----------|-------|--|
| 1 オリーブ黒色土 | 5Y3/2 | 暗黄褐色色のしまりある土主体 黄褐色土粒子(φ1~2mm)斑に含む 暗黄褐色シルト少量 しまりあり 粘性なし |
|-----------|-------|--|

第816号溝跡 (M-M')

- | | | |
|---------|---------|-------------------------|
| 1 明黄褐色土 | 10YR7/6 | 黒褐色土ブロック(φ10mm)少量 しまりあり |
| 2 暗褐色土 | 10YR3/3 | 黄褐色土粒子(φ5mm)多量 しまり強い |
| 3 黒褐色土 | 10YR3/1 | 黄褐色土粒子(φ5mm)少量 粘性強い |

第817号溝跡 (N-N')

- | | | |
|-----------|---------|--|
| 1 暗褐色土 | 10YR3/4 | 炭化物粒子(φ1mm)多量 黄褐色土ブロック(φ20mm)・焼土粒子(φ1~2mm)含む |
| 2 暗褐色土 | 10YR3/3 | 黄褐色土ブロック(φ20mm)多量 しまり強い |
| 3 オリーブ黒色土 | 7.5Y3/2 | 緑灰色土ブロック(φ20~30mm)多量 粘性強い |

第818号溝跡 (M-M')

- | | | |
|-------|---------|-------------------------|
| 1 黒色土 | 10YR2/1 | 黄褐色土ブロック(φ10mm)少量 しまり強い |
|-------|---------|-------------------------|

第823号溝跡 (N-N')

- | | | |
|--------|---------|---------------------------|
| 1 黒褐色土 | 10YR2/2 | 黄褐色土ブロック(φ20mm)含む 微細土器片含む |
|--------|---------|---------------------------|

第371図 溝跡 (18)

第807号溝跡（第370図）

P-46グリッドで検出された。

谷部に向かって東西方向に伸びる細長く浅い溝跡であった。

北側で検出された第799号溝跡と類似していた。

規模は、全長5.1m、幅10～25cm、深さは7～10cmであった。

遺物は、中世の遺物が少量出土した。

第808号溝跡（第370図）

P-45グリッドで検出された。

南北方向に伸びる短い溝跡であった。北側に検出した第802号溝跡と連続する可能性がある。本溝跡の西側には谷地形が並行し、東側には第789号溝跡が並行していた。

規模は、全長5.13m、幅30～55cm、深さは3～6cmであった。

遺物は、土師器甕の破片が少量出土した。

第809号溝跡（第370図）

Q-46・47、R-46グリッドにかけて検出された。

北東から南西方向に斜めに伸びる溝跡であった。北側は第810号溝跡と重複し、南側には第422号井戸跡が位置していた。また、本溝跡の南4.5mほどの位置には第814号溝跡が並行していた。

規模は、全長6.88m、幅55～75cm、深さは6～15cmであった。

出土遺物は、第373図7・8に図示した。2点ともかわらけ皿である。

第810号溝跡（第370図）

Q・R-46グリッドにかけて検出された。

調査区南東コーナー付近に位置し、北西から南東方向に斜めに伸びる溝跡であった。

東側は調査区域外へ伸びていた。北側は2.3m程隔てた位置に、方向を同じくする第817号溝跡が位置し、この部分が区画溝の開口部の可能性がある。

規模は、全長3.75m、幅63～113cm、深さは39～52cmであった。

出土遺物は、第373図9・10に示した。9はかわらけ皿である。10は白磁皿の底部片である。

第811号溝跡（第370図）

Q-46・47グリッドにかけて検出された。

北東から南西方向に斜めに伸びる溝跡であった。北側で検出された第810号溝跡と直行し、区画溝の開口部分に並行する溝跡であった。開口部に伴う付属の溝跡と考えられる。

規模は、全長7.5m、幅35～55cm、深さは6～11cmであった。

遺物はほとんど出土しなかった。

第812号溝跡（第370図）

Q-45グリッドで検出された。

北東から南方向に湾曲して伸びる短い溝跡であった。北側は第392号住居跡と重複していた。

規模は、全長3m、幅45～55cm、深さは13cmであった。

遺物は、土師器甕の破片などが少量出土した。

第813号溝跡（第370図）

P-47・48グリッドで検出された。

調査区南端に位置し、南北方向に伸びる浅い溝跡であった。北側は第789号溝跡と重複し、南側は調査区域外に伸びていた。

規模は、全長8.25m、幅30～75cm、深さは12～19cmであった。

遺物はほとんど出土しなかった。

第814号溝跡（第370図）

Q-46・47、R-47グリッドにかけて検出された。

調査区の南東コーナー部に位置し、「L」字状に屈曲する溝跡であった。

南北方向は、南側に第820号溝跡と重複していたた

めコーナー部分が不明である。北側は第419・421号井戸跡に切られるが、第799・824号溝跡と連続していた可能性も考えられる。

規模は、全長南北方向8.4m、東西方向8m、幅25～85cm、深さは19～30cmであった。

遺物は、第373図12に図示した常滑甕を利用した砥石が出土した。

第815号溝跡（第370図）

P-48グリッドで検出された。

調査区南端に位置し、北西から南東方向に湾曲して延びる溝跡で、南側は調査区域外へ延びていた。

規模は、全長2.75m、幅25～40cm、深さは7～14cmであった。

遺物は、土師器甕の破片などが少量出土した。

第816号溝跡（第370図）

Q-45・46グリッドにかけて検出された。

調査区東寄りに位置し、北西から南東方向に延びる溝跡であった。

北側は第797号溝跡と連続し、南側は区画溝の開口部分で立ち上がっていた。また、本溝跡の南側には並行して、規模を同じくする第817・819号溝跡が位置していた。

規模は、全長13.75m、幅75～138cm、深さは20～45cmであった。

遺物は、かわらけの破片、桃の種などが出土した。

第817号溝跡（第370図）

Q-45・46グリッドにかけて検出された。

調査区東寄りに位置し、北西から南東方向に延びる溝跡であった。

北側は第416号井戸跡に分断されていたが、第819号溝跡と連続していたと考えられる。南側は区画溝の開口部分で立ち上がっていた。また、本溝跡の北東側には並行して、規模を同じくする第816号溝跡が位置していた。

規模は、全長5m、幅95～125cm、深さは30～43cmであった。

遺物は、平安時代の須恵器片が少量出土した。

第818号溝跡（第370図）

Q-45グリッドで検出された。

調査区東寄りに位置し、北西から南東方向に延びる幅の広い溝跡であった。

北側は第789・797号溝跡と重複し、南側は第412号住居跡と重複していた。また、第816号溝跡によって中央部分が切られていた。

規模は、全長5.75m、幅145～175cm、深さは8～10cmであった。

遺物は、中世の遺物が少量出土した。

第819号溝跡（第370図）

P・Q-45グリッドにかけて検出された。

北西から南東方向に斜めに延びる溝跡であった。南側に検出した第817号溝跡、直行する第797号溝跡と連続する可能性が高い。北東側の第816号溝跡とは並行していた。

規模は、全長2.75m、幅115～125cm、深さは27～39cmであった。

遺物は、かわらけの破片が少量出土した。また、溝跡の下層から桃の種が多量に出土している。

第820号溝跡（第370図）

Q-47グリッドで検出された。

調査区南東コーナー部に位置し、北西から南東方向に斜めに延びる溝跡であった。

北側には第814号溝跡、南側には第789号溝跡が位置していた。また、本溝跡の北側2.2mの位置に検出した第822号溝跡と開口部を隔てて、一体の溝跡の可能性はある。

規模は、全長7m、幅60～95cm、深さは29～43cmであった。

遺物はほとんど出土しなかった。

第821号溝跡 (第345図)

N-48グリッドで検出された。

南北方向に蛇行して延びる不整形の溝跡であった。北側は攪乱を受け、南側は第795号溝跡と重複していた。

規模は、全長2m、幅45～100cm、深さは9～15cmであった。

遺物は、中世の遺物が少量出土した。

第822号溝跡 (第370図)

P・Q-46グリッドにかけて検出された。

北西から南東方向に斜めに延びる溝跡であった。

北側は第789号溝跡と重複していた。南側は2.2mの開口部を隔てて第820号溝跡が位置していた。

規模は、全長5m、幅50～80cm、深さは34～45cmであった。

遺物は、第373図13に図示したかわらけ皿などが出土した。

第823号溝跡 (第370図)

Q-45グリッドで検出された。

南北方向に延びる短い溝跡であった。

北側は第418号井戸跡、南側は第419号井戸跡に切られていた。

規模は、全長2.5m、幅35～50cm、深さは13～16cmであった。

遺物は、中世の遺物が少量出土した。

第824号溝跡 (第370図)

P・Q-45グリッドにかけて検出された。

北西から南東方向に延びる短い溝跡であった。

北側は第789号溝跡を挟んで第799号溝跡に繋がり、南側は第419・421号井戸跡を挟んで第814号溝跡と連結すると考えられる。

規模は、全長3m、幅15～25cm、深さは2～15cmであった。

遺物は、中世の遺物が少量出土した。

第825号溝跡 (第370図)

P・Q-45グリッドにかけて検出された。

北東から南西方向に斜めに延びる溝跡であった。

北側は第823号溝跡、南側は第789号溝跡と重複していた。

規模は、全長3m、幅25～40cm、深さは5～13cmであった。

遺物は、中世の遺物が少量出土した。

第826号溝跡 (第370図)

Q-46グリッドで検出された。

北東から南西方向に直線的に延びる溝跡であった。

北東側で第817号溝跡に切られていた。

規模は、全長4.5m、幅20～45cm、深さは4～9cmであった。

遺物はほとんど出土しなかった。

第827号溝跡 (第341図)

Q-44グリッドで検出された。

第789号溝跡と第797号溝跡に挟まれた場所に位置し、東西方向に延びる溝跡であった。

本溝跡の南側には第829号溝跡が並行して検出されている。住居跡の壁溝の可能性が考えられる。

規模は、全長0.55m、幅20～25cm、深さは4cmであった。

遺物はほとんど検出されなかった。

第828号溝跡 欠番

第829号溝跡 (第341図)

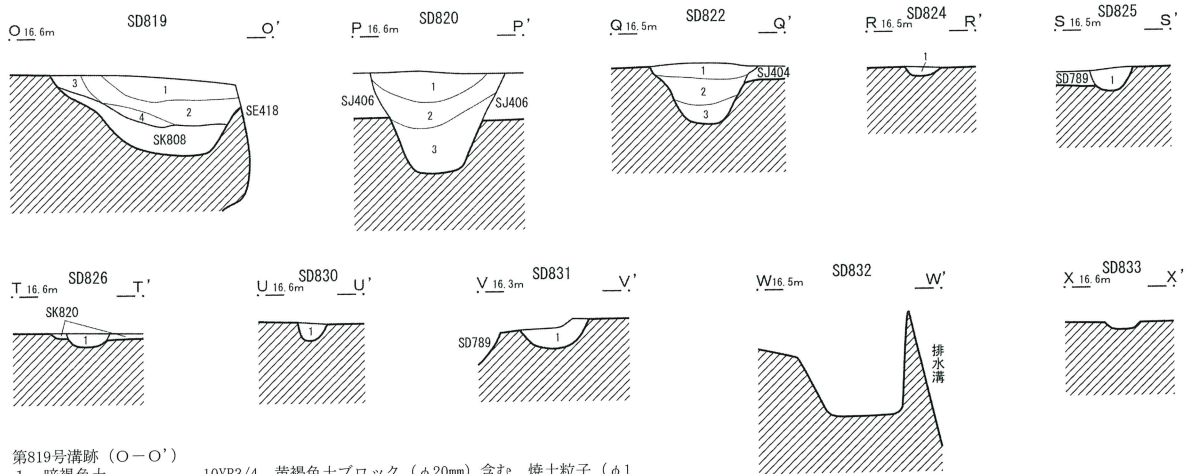
Q-44グリッドで検出された。

東西方向に延びる浅い溝跡であった。

本溝跡の北側には第827号溝跡が並行して検出されている。住居跡の壁溝の可能性が考えられる。

規模は、全長0.63m、幅10～20cm、深さは9cmであった。

遺物はほとんど出土しなかった。



- 第819号溝跡 (O-O')
- 1 暗褐色土 10YR3/4 黄褐色土ブロック (φ20mm) 含む 焼土粒子 (φ1mm) 少量
 - 2 暗褐色土 10YR3/4 黄褐色土ブロック (φ20mm) 多量 しまり強い
 - 3 褐色土 10YR4/6 黄褐色土ブロック (φ20mm) 少量
 - 4 暗褐色土 10YR3/4 黄褐色土ブロック (φ20mm) 多量 粘性の強い炭粒子のブロック (φ20~30mm) 少量
- 第820号溝跡 (P-P')
- 1 黒褐色土 2.5Y3/1 鉄分多量 緑灰色土粒子 (φ1~2mm) 少量
 - 2 黒色土 7.5Y2/1 緑灰色土粒子 (φ1~2mm)・焼土粒子 (φ1~2mm)・炭化物粒子 (φ1~2mm) 微量
 - 3 オリーブ黒色粘質土 10Y3/1 緑灰色土粒子 (φ1~2mm)・緑灰カブロック (φ3~5mm)・炭化物粒子 (φ1~3mm) 少量
- 第822号溝跡 (Q-Q')
- 1 黒褐色土 2.5Y3/2 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量
 - 2 オリーブ黒色土 7.5Y3/1 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~10mm) 多量 炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量
 - 3 黒色粘質土 N2/0 緑灰色土粒子 (φ1~2mm)・緑灰色土ブロック (φ3~10mm) 多量

- 第824号溝跡 (R-R')
- 1 暗褐色土 10YR3/4 黒色土ブロック (φ10mm) 含む
- 第825号溝跡 (S-S')
- 1 暗褐色土 10YR3/4 黄褐色土ブロック (φ20~30mm) 多量
- 第826号溝跡 (T-T')
- 1 暗褐色土 10YR3/4 黄褐色土ブロック (φ20~30mm) 多量 微細土器片多量
- 第830号溝跡 (U-U')
- 1 褐色土 10YR4/4 黄褐色土ブロック (φ10~20mm) 多量 しまりあり
- 第831号溝跡 (V-V')
- 1 黒色土 10Y2/1 緑灰色土ブロック (φ10mm) 少量 粘性あり

第372図 溝跡 (19)

第830号溝跡 (第370図)

Q-45グリッドで検出された。

北西から南東方向に斜めに延びる短い溝跡であった。

北側は第397号住居跡と重複していた。住居跡の壁溝の可能性も考えられたため、周辺を精査した結果、同様の遺構は検出できなかった。本溝跡の性格は不明である。

規模は、全長1.25m、幅25~30cm、深さは8~12cmであった。

遺物はほとんど出土しなかった。

第831号溝跡 (第370図)

P-45グリッドで検出された。

北東から南西方向に延びる短い溝跡であった。

西側は第789号溝跡に切られていた。南側には第825号溝跡が位置し、さらにその南側には第54号掘立柱建物跡が検出された。本溝跡周辺には類似した細

く浅い溝跡が集中して検出されたが、性格については不明な点が多い。

規模は、全長3.25m、幅25~50cm、深さは11~24cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第832号溝跡 (第370図)

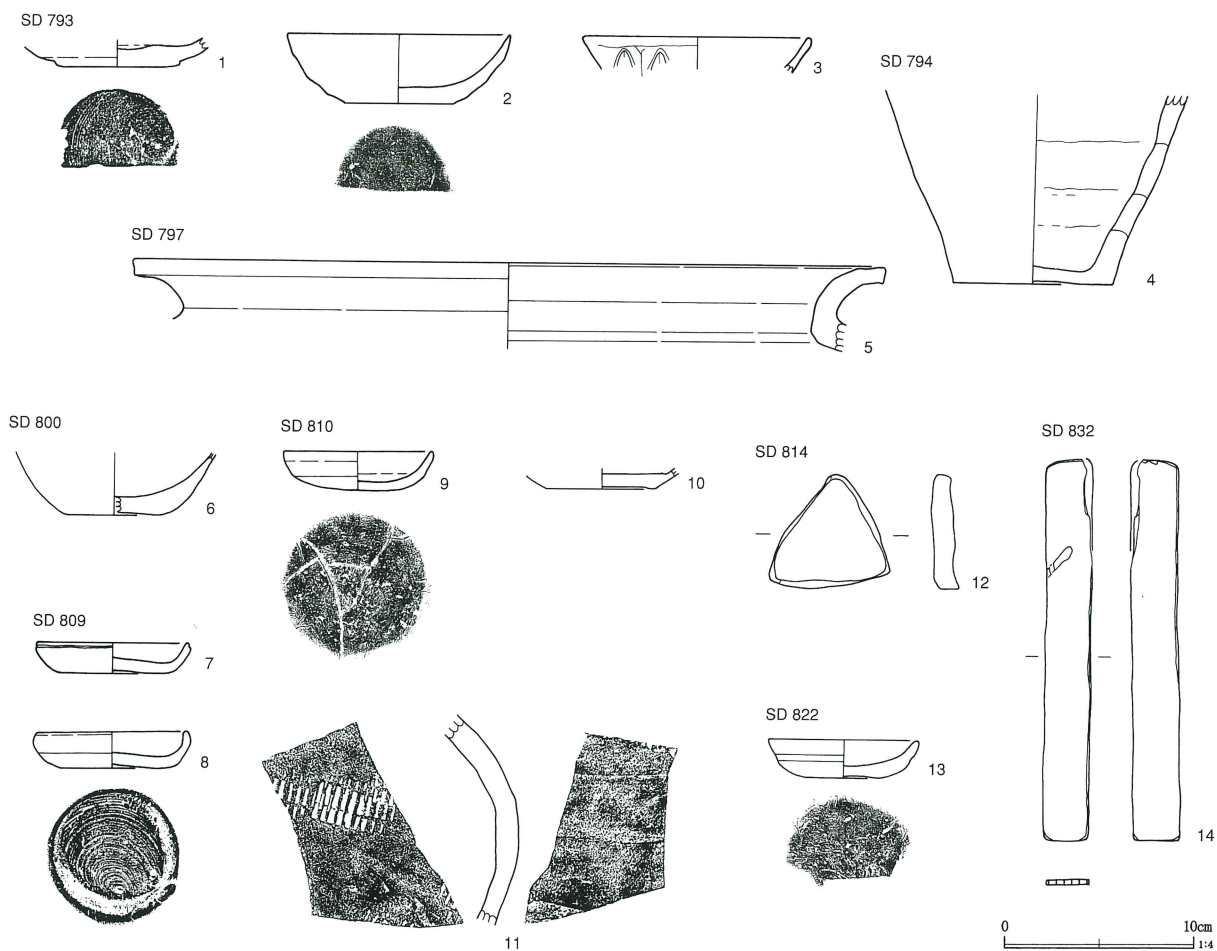
R-47グリッドで検出された。

調査区の南東隅に位置し、東西方向に延びる溝跡であった。

本溝跡は西側で検出された第789号溝跡と連続する可能性が高く、区画溝と考えられる。東側と南側は調査区域外へ延びていた。

規模は、全長2.5m、幅113cm、深さは35~46cmであった。

遺物は、第373図14に図示した木製品が出土した。14は木札である。一部墨痕がみられる。この他中世の遺物が少量出土した。



第373図 溝跡出土遺物 (33)

第833号溝跡 (第370図)

Q-46グリッドで検出された。
 南北方向に延びる短い溝跡であった。
 北側は第416号井戸跡によって切られていた。
 規模は、全長1.2m、幅20~30cm、深さは5cmであった。断面形態は皿状であった。
 遺物は、出土しなかった。

第834号溝跡 (第341図)

O-45グリッドで検出された。
 谷部西側斜面に検出した、南北方向に延びる短い溝跡であった。
 規模は、全長2m、幅55~65cm、深さは4~13cmであった。
 遺物は、出土しなかった。

第33表 溝跡出土遺物観察表(1)

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版
311 1	SD 655	須恵器	坏身	(13.0)	[2.9]	—	破片	白粒 黒粒	普通	灰		
311 2	SD 655	土師器	坏	11.6	3.8	—	完形	雲 角 白粒 黒粒	普通	黒褐	模倣坏	75-3
311 3	SD 655	石製模造品	有孔円板	幅3.0長さ2.9厚さ0.7重さ8.5			ほぼ完形					128-1
311 4	SD 655	石製模造品	有孔円板	幅3.1長さ2.8厚さ0.6重さ9.0			完形					128-1
311 5	SD 655	石製模造品	有孔円板	幅3.3長さ2.8厚さ0.6重さ8.2			完形					128-1
311 6	SD 664	土師器	鉢	(11.4)	7.4	5.6	1/4	雲 石英	普通	橙		
311 7	SD 664	土師器	甑	—	[4.7]	(8.0)	破片	雲 赤粒 白粒	普通	黒		
311 8	SD 666	須恵器	坏	—	[0.9]	7.2	1/5	石英 針 黒粒	普通	灰白	刻書	
311 9	SD 666	須恵器	坏	—	[1.1]	(7.2)	破片	石英 白粒 針 黒粒	普通	灰	刻書	
311 10	SD 666	須恵器	坏	(11.8)	4.0	6.0	2/3	雲 白粒 針 黒粒	普通	灰白		
311 11	SD 666	須恵器	坏	—	[0.9]	(6.2)	破片	石英 針	普通	灰	墨書	119-2
311 12	SD 666	灰釉陶器	皿	—	[1.7]	(6.3)	破片	白粒 黒粒	良好	灰白、釉灰白		122-2
311 13	SD 666	灰釉陶器	皿	(13.4)	[1.5]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰白、釉灰白		122-2
311 14	SD 666	須恵器	羽釜	(19.0)	[7.0]	—	破片	角 赤粒 白粒 黒粒	普通	灰		
311 15	SD 667	土師器	坏	(15.4)	[3.6]	—	破片	角 赤粒 白粒	普通	明赤褐		
311 16	SD 667	須恵器	坏	(10.8)	[4.6]	—	破片	石英 赤粒	良好	灰		
311 17	SD 667	須恵器	坏	—	[2.2]	7.8	底部のみ	石英 赤粒 白粒 針	普通	灰白		
311 18	SD 667	須恵器	甕	—	—	—	破片	石英 白粒 針	普通	灰		
311 19	SD 670	鉄製品	棒状品	幅0.5長さ[7.5]			両端欠損					
311 20	SD 670	鉄製品	刀子	刃幅1.0長さ[5.7]			1/3					
311 21	SD 670	鉄製品	棒状品	幅0.3長さ[4.5]			両端欠損					
312 1	SD 671	石製品	子持勾玉	幅3.1長さ7.5厚さ2.0重さ81.5			完形				滑石製	127-1
312 2	SD 671	須恵器	坏身	(10.2)	[2.9]	—	1/4	白粒	良好	灰	湖西産	
312 3	SD 671	須恵器	坏身	(10.7)	[2.8]	—	1/2	白粒	良好	黒灰	湖西産	
312 4	SD 671	須恵器	甕	—	[6.0]	—	破片	白粒 黒粒	普通	灰赤		
312 5	SD 671	須恵器	甗	—	[7.4]	—	1/2	砂粒	良好	暗灰	末野産	92-6
312 6	SD 671	須恵器	大甕	—	[6.0]	—	底部のみ	白粒	普通	灰		
312 7	SD 671	須恵器	大甕	—	[14.5]	—	破片	石英 白粒	普通	黒褐		93-1
312 8	SD 671	須恵器	坏	(13.0)	3.6	(7.1)	1/3	石英 赤粒 白粒 針 黒粒	普通	灰	へら描き	119-3
312 9	SD 671	須恵器	坏	—	[2.0]	8.6	破片	石英 赤粒 針 黒粒	良好	灰白	刻書	
312 10	SD 671	須恵器	坏	(13.4)	3.8	(7.7)	1/3	雲 白粒 針	普通	灰		
312 11	SD 673	須恵器	坏身	13.6	4.3	—	1/4	白粒 黒粒	普通	灰		75-4
313 1	SD 674	須恵器	高坏	(15.6)	[5.7]	—	破片	白粒	良好	灰		
313 2	SD 674	土師器	坏	(12.0)	4.0	—	1/4	雲 砂粒 赤粒	普通	にぶい橙	赤彩	
313 3	SD 674	土師器	坏	10.0	5.5	—	3/5	赤粒 白粒	普通	明黄橙		
313 4	SD 674	土師器	坏	(13.1)	[4.9]	—	1/5	雲 角 黒粒	良好	橙	模倣坏	
313 5	SD 674	土師器	坏	(16.0)	[6.1]	—	口縁破片	赤粒 白粒	普通	橙	模倣坏	
313 6	SD 674	土師器	坏	(12.8)	4.9	(4.7)	1/4	角 赤粒 白粒	普通	にぶい橙	赤彩、平底	
313 7	SD 674	土師器	坏	(18.4)	[5.0]	—	1/3	雲 角 赤粒 白粒	普通	赤褐	赤彩	
313 8	SD 674	土師器	壺	(13.4)	[5.2]	—	口縁破片	雲 白粒 黒粒	普通	にぶい赤褐		
313 9	SD 674	土師器	壺	(14.6)	[6.7]	—	1/4	雲 長石 白粒 針 黒粒	普通	橙		
313 10	SD 674	土師器	壺	(11.6)	[5.5]	—	口縁破片	赤粒 白粒 黒粒	普通	橙	赤彩	
313 11	SD 674	土師器	壺	(11.0)	[5.9]	—	口縁破片	砂粒 白粒 黒粒	普通	にぶい橙		
313 12	SD 674	土師器	高坏	(15.0)	[4.8]	—	1/2	雲 角 赤粒	普通	にぶい橙	赤彩	
313 13	SD 674	土師器	高坏	(14.0)	[5.1]	—	坏部	雲 白粒 黒粒	良好	赤		
313 14	SD 674	土師器	高坏	13.8	[6.4]	—	坏部	雲 角 赤粒 白粒	普通	浅黄橙	赤彩	75-5
313 15	SD 674	土師器	高坏	14.4	[5.1]	—	坏部破片	雲 黒粒	普通	淡赤橙	赤彩	
313 16	SD 674	土師器	高坏	14.6	6.6	—	坏部	雲 角 赤粒 白粒	普通	淡橙	赤彩	
313 17	SD 674	土師器	高坏	(14.6)	[5.7]	—	2/3	雲 角 赤粒	普通	にぶい橙	赤彩	75-6
313 18	SD 674	土師器	高坏	(17.4)	[6.1]	—	1/2	雲 石英	普通	灰褐	赤彩	
313 19	SD 674	土師器	高坏	—	[7.4]	(9.7)	脚部	雲 赤粒	普通	にぶい橙	赤彩	93-2
313 20	SD 674	土師器	壺	(8.9)	[11.0]	—	1/2	雲 赤粒 針	普通	にぶい褐	赤彩	93-3
313 21	SD 674	土師器	甕	(14.6)	[15.1]	—	口縁破片	角 長石 砂粒 赤粒 白粒 黒粒 小石	普通	にぶい橙~褐灰		
313 22	SD 674	土師器	甕	(18.8)	[12.0]	—	口縁破片	雲 石英 赤粒	普通	にぶい赤褐		

第34表 溝跡出土遺物観察表(2)

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版
313	23	SD 674	土師器 甕	(13.8)	[5.1]	—	口縁破片	雲 砂粒	普通	暗褐		
313	24	SD 674	土師器 甕	—	[1.8]	4.8	底部	雲	普通	灰白		
313	25	SD 674	土師器 甕	—	5.5	7.0	底部	白粒	普通	にぶい橙		
313	26	SD 674	土師器 甗	(23.0)	26.4	(9.1)	1/2	雲 赤粒 白粒	良好	橙		
313	27	SD 674	石製模造品 有孔円板	幅2.4長さ2.2厚さ0.3重さ2.6			ほぼ完形					128-1
313	28	SD 674	石製模造品 有孔円板	幅4.0長さ4.0厚さ0.5重さ15.0			4/5					
313	29	SD 674	石製品 紡錘車	孔径0.8径4.2厚さ1.7重さ38.7			完形				滑石製	120-1
314	1	SD 675	須恵器 坏	(12.2)	3.6	(5.2)	1/2	雲 白粒	普通	灰白		
314	2	SD 675	須恵器 高台付埴	13.3	4.6	6.3	4/5	雲 砂粒	良好	灰白		75-7
314	3	SD 675	須恵器 高台付埴	13.3	4.9	6.5	ほぼ完形	雲 角 黒粒	普通	にぶい橙		75-8
314	4	SD 675	須恵器 高台付埴	(13.8)	5.3	(7.1)	2/3	雲 白粒 黒粒	普通	灰白		
314	5	SD 675	土師器 甗	—	[7.9]	(15.2)	破片	角 石英 黒粒	良好	橙		
314	6	SD 675	土師器 羽釜	(22.0)	[5.6]	—	破片	雲 角 黒粒	普通	にぶい赤褐		
314	7	SD 676	須恵器 坏身	(11.7)	[3.2]	—	破片	砂粒 白粒	普通	灰		
314	8	SD 676	土師器 甕	19.5	[27.8]	—	2/3	角 石英 赤粒 白粒	良好	橙		111-1
314	9	SD 676	木製品 板	幅10.3長さ[29.9]厚さ4.0			—					
316	1	SD 680	須恵器 高台付埴	(15.0)	6.2	8.4	1/3	雲 石英	普通	褐灰		
316	2	SD 680	須恵器 坏	—	[2.5]	(6.2)	1/5	白粒 針	普通	灰		
316	3	SD 680	須恵器 壺	—	[4.0]	(7.0)	1/5	石英 赤粒 白粒 針 黒粒	普通	灰		
316	4	SD 680	灰釉陶器 長頸瓶	—	[1.9]	(10.7)	破片	白粒 黒粒	良好	灰白、釉灰白		122-2
316	5	SD 680	灰釉陶器 埴	—	[2.4]	(7.6)	1/2	白粒 黒粒	普通	灰白		122-2
316	6	SD 680	灰釉陶器 埴	—	[2.3]	(6.7)	破片	白粒 黒粒	普通	灰白、釉灰白	ツケガケ	122-2
316	7	SD 680	灰釉陶器 埴	—	[1.9]	(8.3)	破片	白粒 黒粒	良好	灰白		122-2
316	8	SD 680	緑釉陶器 埴	—	[1.6]	(6.6)	破片	白粒 黒粒	普通	灰、釉灰黄		123
316	9	SD 680	灰釉陶器 埴	—	[2.8]	(6.2)	1/4	白粒 黒粒	良好	灰白		
316	10	SD 680	緑釉陶器 皿	(12.2)	[1.8]	—	破片	白粒	普通	灰、釉浅黄		123
316	11	SD 680	須恵器 坏	—	—	—	破片	白粒 針	普通	灰	墨書	119-4
316	12	SD 680	土師器 甕	(20.0)	[6.3]	—	破片	雲 石英 砂粒 白粒	普通	橙		
316	13	SD 680	須恵器 羽釜	(20.0)	[7.2]	—	破片	雲 角 白粒 黒粒	普通	にぶい橙		
316	14	SD 680	須恵器 坏	13.2	4.0	6.8	2/3	針	良好	灰	墨書「十」	75-9
316	15	SD 680	灰釉陶器 埴	(16.7)	[5.0]	—	1/4	砂粒 黒粒	良好	灰白		
316	16	SD 680	緑釉陶器 埴	(16.2)	[3.6]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰、釉灰白		123
316	17	SD 680	灰釉陶器 長頸瓶	(14.6)	[8.7]	—	1/2	白粒 黒粒	良好	灰白、釉灰白	ハケヌリ	122-2
316	18	SD 680	土製品 土錘	孔径1.1長さ5.5厚さ3.4重さ56.9			完形					129-2
316	19	SD 680	石製模造品 不明品	幅1.5長さ4.5厚さ0.6重さ4.6			—					
316	20	SD 688	土師器 坏	11.7	2.9	—	3/4	角 石英 砂粒	普通	にぶい橙	北武蔵型坏	75-10
316	21	SD 689	須恵器 坏	(12.6)	3.5	—	破片	針	普通	灰	墨書「里中」	119-5
316	22	SD 691	石製品 未製品	幅3.8長さ3.5厚さ1.2重さ15.0			—					
316	23	SD 695	須恵器 高台付埴	13.2	4.5	6.6	2/3	砂粒 黒粒	普通			
316	24	SD 695	須恵器 高台付埴	13.6	5.0	6.6	ほぼ完形	砂粒 白粒 黒粒	不良	にぶい褐		
316	25	SD 696	須恵器 甕	(23.0)	[15.7]	—	1/5	石英	普通	灰		
316	26	SD 696	須恵器 甕	—	[16.6]	—	破片	雲 白粒	普通	灰	末野産	
318	1	SD 697	土師器 坏	(11.6)	[3.8]	—	1/2	雲 赤粒	普通	にぶい橙		
318	2	SD 697	土師器 坏	(11.8)	3.9	—	1/3	雲 白粒 黒粒	普通	にぶい黄橙	北武蔵型坏	
318	3	SD 697	土師器 坏	(13.4)	5.1	—	1/3	雲 赤粒 白粒	普通	橙	放射状暗文	
318	4	SD 697	土師器 台付甕	—	[7.6]	(12.0)	4/5	雲 赤粒 白粒	普通	明赤褐		
318	5	SD 702	土師器 坏	13.2	5.1	—	完形	雲 角 赤粒 白粒	普通	にぶい橙	放射状暗文	76-1
318	6	SD 706	須恵器 甕	21.8	49.5	—	3/4	石英片 白粒	良好	灰白		111-2
318	7	SD 706	須恵器 甕	—	[24.2]	—	底部	白粒	良好	灰		
322	1	SD 731	須恵器 高坏	12.3	[11.9]	—	1/2	雲 白粒	普通	淡灰	長脚二段三方透	93-4
322	2	SD 731	須恵器 高坏	—	[12.4]	13.2	脚部	赤粒 白粒	普通	灰白	長脚二段三方透	93-5
322	3	SD 731	須恵器 壺	(18.8)	[3.9]	—	口縁破片	石英 黒粒	普通	灰白	末野産	
322	4	SD 731	石製品 紡錘車	孔径0.7径4.3厚さ1.5重さ53.0			完形					120-1
322	5	SD 732	土師器 坏	(12.0)	4.8	—	1/3	雲 黒粒	普通	橙	赤彩	

第35表 溝跡出土遺物観察表(3)

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版
322 6	SD 733	須恵器	坏	—	[1.2]	(4.6)	底部破片	針	良好	灰		
322 7	SD 747	土師器	坏	11.6	3.5	—	1/2	雲 石英 赤粒	普通	浅黄橙	比企型坏、赤彩	76-2
322 8	SD 747	土師器	小型壺	(10.6)	[8.4]	—	1/5	砂粒 赤粒	普通	赤褐		
322 9	SD 747	土師器	甕	(20.6)	[16.4]	—	1/2	雲 白粒 黒粒	普通	にぶい橙		93-6
322 10	SD 747	鉄製品	鎌	刃幅1.7~1.2背幅0.2長さ[16.0]			ほぼ完形					130-1
322 11	SD 747	石製模造品	不明品	幅0.8長さ1.5厚さ0.2重さ0.6			—					
322 12	SD 754	須恵器	坏	(13.6)	3.5	—	1/5	白粒 針	普通	明青灰		
322 13	SD 760	須恵器	坏	(11.6)	3.8	6.6	1/3	石英 白粒	普通	灰白	末野産	
322 14	SD 760	かわらけ	皿	—	[2.0]	2.7	底部1/2	赤粒	不良	にぶい橙		
322 15	SD 763	土師器	埴	(9.0)	[5.1]	—	口縁破片	赤粒 白粒	普通	橙	赤彩	
322 16	SD 763	石製品	白玉	径1.2長さ0.6重さ1.1			1/2					
322 17	SD 763	石製品	勾玉	幅1.7長さ3.0厚さ0.7重さ7.5			ほぼ完形					127-1
322 18	SD 764	鉄製品	釘	頭幅0.6長さ4.9			完形					130-1
322 19	SD 779	石製品	白玉	径1.6長さ0.6重さ2.5			4/5				滑石製	128-2
322 20	SD 783	土師器	鉢	(10.8)	11.0	—	2/3	石英 砂粒 赤粒	普通	灰白		95-5
324 1	SD 753	土師器	坏	10.7	3.8	5.6	1/2	砂粒 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
324 2	SD 753	須恵器	坏	11.4	3.7	5.8	1/2	石英 赤粒	不良	にぶい橙		
324 3	SD 753	須恵器	坏	(11.4)	3.6	—	2/5	角 赤粒 白粒	不良	明赤褐		
324 4	SD 753	須恵器	坏	(11.5)	4.1	(5.5)	1/4	角 白粒 赤粒 黒粒	普通	にぶい橙		
324 5	SD 753	須恵器	坏	(11.8)	3.5	—	ほぼ完形	石英 赤粒	普通	褐灰		76-3
324 6	SD 753	須恵器	坏	11.4	3.8	4.9	完形	白粒 針	普通	灰	油煙付着	76-4
324 7	SD 753	須恵器	坏	11.6	3.4	6.0	3/5	石英 白粒 針	普通	灰		76-5
324 8	SD 753	須恵器	坏	(14.0)	[3.9]	—	1/4	砂粒 赤粒	不良	橙		
324 9	SD 753	内黒土器	坏	17.3	4.8	—	1/3	雲 赤粒	普通	灰白		
324 10	SD 753	須恵器	高台付埴	13.4	4.4	—	2/3	針	普通	灰白		76-6
324 11	SD 753	須恵器	高台付埴	(14.2)	4.7	—	2/5	雲 白粒 黒粒	普通	灰白		
324 12	SD 753	須恵器	高台付埴	13.0	5.1	6.7	2/3	白粒	普通	橙		76-7
324 13	SD 753	須恵器	高台付埴	(13.0)	5.5	—	1/3	白粒	普通	橙		
324 14	SD 753	須恵器	高台付埴	14.8	7.0	9.3	ほぼ完形	白粒	普通	灰白		94-1
324 15	SD 753	須恵器	高台付埴	(11.4)	5.0	9.2	3/4	赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
324 16	SD 753	須恵器	高台付埴	—	[2.2]	6.9	底部	赤粒 白粒 針	良好	浅黄	墨痕「-」	119-6
324 17	SD 753	須恵器	耳皿	10.0	3.1	6.0	2/3	雲 赤粒 白粒 黒粒	普通	にぶい橙		76-8
324 18	SD 753	須恵器	小型壺	—	[12.4]	—	3/4	白粒	普通	褐灰	漆付着	94-2
324 19	SD 753	須恵器	壺	—	[11.9]	—	胴部2/5	白粒	良好	灰		
324 20	SD 753	須恵器	壺	—	[6.7]	—	胴部破片	白粒	良好	灰白		121-2
324 21	SD 753	須恵器	壺	—	[5.7]	[11.6]	1/4	石英 白粒	普通	灰白		
324 22	SD 753	須恵器	甕	—	[6.2]	14.0	底部	砂粒 白粒	良好	灰	末野産	
325 23	SD 753	灰釉陶器	皿	(14.4)	[2.7]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰白、釉灰白	ハケヌリ	122-1
325 24	SD 753	灰釉陶器	埴	(14.7)	[3.1]	—	破片	白粒 小礫	良好	黄灰		122-1
325 25	SD 753	灰釉陶器	皿	(13.3)	2.6	(7.5)	1/3	白粒 黒粒	良好	灰白、釉灰白	ツケガケ	122-1
325 26	SD 753	灰釉陶器	埴	(14.8)	4.2	(7.0)	3/4	白粒 黒粒	良好	黄白、釉灰白	ツケガケ	76-9
325 27	SD 753	灰釉陶器	埴	—	[1.8]	(6.9)	底部1/4	白粒 黒粒	良好	灰白		122-1
325 28	SD 753	灰釉陶器	埴	—	[1.2]	(6.8)	破片	白粒 黒粒	良好	灰白		122-1
325 29	SD 753	灰釉陶器	埴	—	[1.6]	6.4	底部完存	白粒	普通	灰白		122-1
325 30	SD 753	灰釉陶器	埴	—	[2.0]	(6.5)	破片	白粒 黒粒	良好	灰白		122-1
325 31	SD 753	灰釉陶器	埴	—	[1.8]	(7.2)	破片	白粒 黒粒	普通	灰白		122-1
325 32	SD 753	灰釉陶器	小瓶	—	[7.5]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰白、釉灰白	ハケヌリ	
325 33	SD 753	緑釉陶器	皿	(12.0)	[2.0]	—	破片	白粒 黒粒	普通	灰白、釉浅黄		123
325 34	SD 753	在地	甕	(19.6)	[12.0]	—	破片	白粒	普通	褐灰		
325 35	SD 753	在地	羽釜	(17.8)	[10.1]	—	1/4	砂粒 白粒	普通	にぶい橙		
325 36	SD 753	在地	羽釜	(22.0)	[13.7]	—	破片	雲 石英 黒粒	普通	赤灰		
325 37	SD 753	土製品	土錘	孔径0.4径2.8長さ5.9重さ43.6			ほぼ完形					129-2
325 38	SD 753	土製品	土錘	孔径0.5径3.1長さ[7.0]重さ60.4			ほぼ完形					129-2
334 1	SD 762	須恵器	蓋	—	[1.8]	—	つまみ部	角 白粒 黒粒	普通	灰		76-10

第36表 溝跡出土遺物観察表(4)

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版
334	2	SD 762	須恵器 蓋	14.6	[3.1]	—	3/4	角 白粒 針 小礫	良好	褐灰		77-1
334	3	SD 762	須恵器 坏	—	[1.6]	7.5	底部	角 石 赤粒 白粒 針	普通	にぶい橙	南比企産	
334	4	SD 762	須恵器 坏	—	[2.6]	(8.4)	破片	石英 白粒 針	良好	灰	南比企産	
334	5	SD 762	須恵器 坏	—	[2.8]	9.3	底部	石英 砂粒 白粒 針 小礫	良好	灰	南比企産	
334	6	SD 762	須恵器 坏	(15.6)	3.8	11.4	2/5	白粒 針	良好	灰	南比企産	
334	7	SD 762	須恵器 鉢	(24.3)	[6.6]	—	口縁破片	石英 針	良好	黄灰		
334	8	SD 762	須恵器 壺	(12.2)	[2.9]	—	口縁破片	白粒	普通	灰	末野産	
334	9	SD 762	須恵器 短頸壺	8.7	14.2	—	ほぼ完形	石英 赤粒 白粒 小礫	良好	褐灰	末野産	94-3
334	10	SD 762	須恵器 長頸壺	(8.6)	23.9	—	3/4	片 長石 石英 黒粒	普通	灰	末野産	111-3
334	11	SD 762	須恵器 長頸壺	—	—	—	1/2	針	良好	灰	漆付着	94-4
334	12	SD 762	須恵器 壺	—	[9.7]	—	頸部	長石 石英 白粒 黒粒	普通	褐灰		
334	13	SD 762	灰釉陶器 長頸瓶	—	[3.9]	8.2	底部	白粒 黒粒	良好	灰白		122-1
334	14	SD 762	須恵器 壺	—	[2.7]	8.0	底部破片	白粒	良好	灰		
334	15	SD 762	須恵器 壺	—	—	—	破片	黒粒	良好	黄灰	秋間産	
334	16	SD 762	須恵器 壺	—	[5.0]	—	頸部破片	角 石 白粒 針	良好	灰白		
335	17	SD 762	須恵器 甕	(39.0)	[13.9]	—	口縁破片	石英 白粒 小礫	良好	灰	波状文三段	77-2
335	18	SD 762	須恵器 甕	22.0	50.2	—	ほぼ完形	白粒 黒粒	良好	灰白		111-4
336	19	SD 762	須恵器 甕	23.0	41.0	—	2/3	白粒	良好	灰		112-1
336	20	SD 762	土師器 坏	(12.8)	[3.6]	—	1/3	角 石 砂粒 白粒 黒粒	不良	灰白	模倣坏	
336	21	SD 762	土師器 坏	14.1	[3.8]	—	1/5	角 石 赤粒 白粒	不良	にぶい橙	有段口縁坏	
336	22	SD 762	土師器 坏	(15.2)	[3.9]	—	1/3	角 石 赤粒 白粒	普通	明赤褐	模倣坏	
336	23	SD 762	土師器 坏	(17.5)	[4.9]	—	1/3	石英 赤粒 白粒 黒粒	普通	にぶい橙	模倣坏	
336	24	SD 762	土師器 坏	(12.6)	[3.5]	—	1/3	石英 赤粒 白粒 黒粒	普通	にぶい黄橙	黒色有段口縁坏	
336	25	SD 762	土師器 坏	(13.6)	[3.7]	—	1/5	角 石 赤粒 白粒	普通	にぶい橙	有段口縁坏	
336	26	SD 762	土師器 坏	(13.4)	[4.0]	—	1/3	角 石 砂粒 赤粒 白粒	普通	灰黄褐	黒色有段口縁坏	
336	27	SD 762	土師器 坏	(13.5)	4.7	—	1/4	石英 白粒	良好	褐灰	黒色有段口縁坏	
336	28	SD 762	土師器 坏	12.2	4.1	—	ほぼ完形	角 石 砂粒 赤粒 白粒	不良	にぶい橙	黒色有段口縁坏	77-3
336	29	SD 762	土師器 坏	13.0	3.6	—	完形	角 砂粒 赤粒 白粒	良好	黒褐	黒色有段口縁坏	77-4
336	30	SD 762	土師器 坏	11.5	4.1	—	3/4	角 砂粒 白粒 黒粒	不良	にぶい黄橙	黒色身模倣坏	77-5
336	31	SD 762	土師器 坏	12.8	4.1	—	ほぼ完形	雲 石 砂粒 赤粒 白粒	普通	にぶい橙	北武蔵型坏	77-6
336	32	SD 762	土師器 坏	12.2	3.5	—	3/4	角 石 砂粒 赤粒 黒粒 小礫	普通	にぶい橙	比企型坏、木葉痕	77-7
336	33	SD 762	土師器 坏	(13.3)	[2.9]	—	口縁破片	角 石 赤粒 白粒 小礫	普通	にぶい赤褐	比企型坏	
336	34	SD 762	土師器 坏	13.6	3.6	—	完形	角 赤粒 白粒 小礫	良好	にぶい橙	比企型坏、赤彩	77-8
337	35	SD 762	土師器 坏	10.5	3.2	—	3/4	角 石 白粒	普通	にぶい橙	北武蔵型坏	77-9
337	36	SD 762	土師器 坏	(12.1)	[2.7]	—	1/5	角 石 砂粒 白粒	普通	にぶい橙	北武蔵型坏	
337	37	SD 762	土師器 壺	(13.8)	[4.5]	—	口縁破片	石英 砂粒 白粒	普通	にぶい橙	赤彩	
337	38	SD 762	土師器 壺	(19.1)	[7.8]	—	1/3	石英 赤粒 白粒 小礫	普通	橙		
337	39	SD 762	土師器 鉢	(18.0)	[7.8]	—	口縁破片	雲 白粒	普通	灰褐		
337	40	SD 762	土師器 鉢	(23.0)	[11.8]	—	口縁破片	石英 砂粒	普通	にぶい橙		
337	41	SD 762	土師器 鉢	(25.2)	[7.7]	—	破片	角 長石 赤粒 白粒 針	普通	にぶい橙		
337	42	SD 762	土師器 高坏	(26.4)	[4.1]	—	口縁破片	雲 赤粒 白粒	普通	橙		
337	43	SD 762	土師器 高坏	—	[5.5]	—	坏部破片	雲 赤粒 白粒	普通	橙	赤彩、煤付着	
337	44	SD 762	土師器 高坏	—	[2.5]	—	2/3	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい橙	赤彩	
337	45	SD 762	土師器 高坏	—	[4.8]	—	頸部	雲 角 赤粒 白粒 針 黒粒	普通	淡橙	赤彩	
337	46	SD 762	土師器 高坏	—	[6.5]	—	脚部	赤粒 白粒	普通	にぶい橙	赤彩	
337	47	SD 762	土師器 高坏	—	[8.8]	—	脚部破片	角 赤粒 白粒 黒粒	良好	赤橙	赤彩	
337	48	SD 762	土師器 高坏	—	[7.6]	—	脚部破片	雲 長石 石英 赤粒 白粒	普通	淡橙		
337	49	SD 762	土師器 高坏	—	[8.2]	—	脚部	雲 角 長石 石英	普通	にぶい橙~褐灰		
337	50	SD 762	土師器 高坏	—	[3.6]	(7.4)	底部	雲 赤粒 白粒	良好	にぶい赤橙	赤彩	
337	51	SD 762	土師器 ミニチュア	—	[4.3]	2.2	4/5	雲 角 石英 赤粒 白粒 小礫	普通	にぶい黄橙		119-7
337	52	SD 762	土師器 小型甕	(11.9)	13.4	—	1/2	角 石 砂粒 赤粒 黒粒 小礫	良好	にぶい赤褐		94-5
337	53	SD 762	土師器 台付甕	—	[6.8]	(9.2)	脚部2/5	雲 角 石英 砂粒 赤粒 白粒 針 黒粒 小礫	良好	灰褐		
337	54	SD 762	土師器 小型甕	(13.0)	[7.4]	—	口縁のみ	雲 赤粒	普通	にぶい橙		
337	55	SD 762	土師器 小型甕	(13.5)	[11.9]	—	1/3	角 赤粒 白粒	普通	褐		

第37表 溝跡出土遺物観察表(5)

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版
337	56	SD 762	土師器 小型甕	(15.8)	21.4	(8.0)	1/4	砂粒 赤粒 白粒 小礫	普通	灰黄褐		112-2
338	57	SD 762	土師器 甕	(17.6)	[7.6]	—	口縁破片	赤粒 黒粒	普通	にぶい橙		
338	58	SD 762	土師器 甕	(17.4)	[5.3]	—	口縁破片	長石 赤粒 白粒	普通	浅黄橙		
338	59	SD 762	土師器 甕	(18.6)	[7.4]	—	口縁破片	角 赤粒 白粒 黒粒	良好	淡橙		
338	60	SD 762	土師器 甕	(18.6)	[8.6]	—	1/4	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙		
338	61	SD 762	土師器 甕	18.0	[7.8]	—	3/4	石英 砂粒 赤粒 白粒	良好	にぶい橙		94-6
338	62	SD 762	土師器 甕	22.4	[10.2]	—	1/2	雲 石英 砂粒 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		95-1
338	63	SD 762	土師器 甕	20.8	[11.5]	—	口縁4/5	角 石 砂粒 赤粒 白粒	普通	黄灰		95-2
338	64	SD 762	土師器 甕	(22.4)	[13.8]	—	口縁3/4	赤粒 黒粒	良好	にぶい橙		95-3
338	65	SD 762	土師器 甕	(20.4)	[13.5]	—	口縁破片	雲 赤粒	良好	にぶい橙		
338	66	SD 762	土師器 甕	(21.4)	[19.7]	—	1/4	赤粒 白粒 黒粒	普通	灰白		
338	67	SD 762	土師器 甕	18.3	[23.2]	—	2/5	石英 砂粒 赤粒 白粒 黒粒 小礫	良好	にぶい褐		112-3
338	68	SD 762	土師器 甕	19.0	[22.5]	—	2/3	雲 砂粒 赤粒	普通	にぶい黄橙		112-4
338	69	SD 762	土師器 甕	18.0	[20.2]	—	3/4	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		113-1
339	70	SD 762	土師器 甕	(19.6)	[8.9]	—	1/5	雲 角 石英 砂粒 赤粒 白粒 黒粒 小礫	普通	黄灰		
339	71	SD 762	土師器 甕	(20.4)	[6.9]	—	口縁破片	雲 角 赤粒 白粒 黒粒	普通	橙		
339	72	SD 762	土師器 甕	(19.0)	[8.8]	—	口縁のみ	雲 砂粒	普通	橙		
339	73	SD 762	土師器 甕	20.8	[21.7]	—	3/4	砂粒 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		95-4
339	74	SD 762	土師器 甕	(24.0)	[6.0]	—	口縁破片	雲 石英 砂粒	普通	浅黄橙		
339	75	SD 762	土師器 甕	(28.6)	[7.3]	—	口縁破片	雲 石 砂粒 赤粒	普通	橙		
339	76	SD 762	土師器 甕	(34.0)	[4.8]	—	口縁破片	赤粒 白粒	普通	明赤褐		
339	77	SD 762	土師器 甕	—	[1.9]	6.1	底部	雲 角 砂粒 白粒	普通	明赤褐		
339	78	SD 762	土師器 甕	—	[1.5]	(5.6)	底部1/2	角 石 赤粒 白粒	良好	褐灰	木葉痕	
339	79	SD 762	土師器 甕	—	[2.1]	5.0	底部	雲 片 角 石英 砂粒 赤粒	普通	橙	小礫多	
339	80	SD 762	土師器 甕	—	[2.5]	(6.5)	底部3/5	雲 角 砂粒 白粒 小礫	良好	灰褐		
339	81	SD 762	土師器 甕	—	[4.8]	(5.7)	底部3/4	石英 砂粒 赤粒 白粒 小礫	良好	灰褐		
339	82	SD 762	土師器 甕	—	[5.9]	(5.7)	底部3/5	角 石 砂粒 赤粒 白粒	良好	にぶい赤褐		
339	83	SD 762	土師器 甕	—	[4.7]	(8.8)	3/4	角 砂粒 赤粒 小礫	普通	にぶい黄橙		
339	84	SD 762	土師器 甕	—	[8.5]	—	3/5	雲 角 石英 赤粒 小礫	普通	灰白	赤彩	
339	85	SD 762	土師器 甕	—	[3.7]	(7.6)	1/4	砂粒 白粒	普通	灰		
339	86	SD 762	土師器 甕	—	[5.5]	(11.6)	底部破片	雲 長石 石英 赤粒 白粒	普通	浅黄橙		
339	87	SD 762	土師器 甕	—	[21.5]	5.2	胴部~底部	雲 石英 赤粒	普通	明褐灰		
340	88	SD 762	土師器 壺	—	[35.8]	17.6	3/4	砂粒 白粒	普通	黄橙		113-2
340	89	SD 762	土師器 甌	(20.8)	[6.0]	—	口縁破片	雲 砂粒 赤粒 小礫	不良	明褐灰		
340	90	SD 762	土師器 甌	(18.8)	[7.2]	—	口縁破片	白粒 黒粒	普通	淡橙		
340	91	SD 762	土師器 甌	—	[6.9]	(7.8)	破片	石英 砂粒 白粒 小礫	良好	にぶい黄橙		
340	92	SD 762	土師器 甌	—	—	—	破片	角 石 赤粒 白粒 小礫	良好	灰黄褐		
340	93	SD 762	土師器 甌	—	—	—	破片	石英 砂粒 赤粒 白粒 黒粒	良好	灰黄褐		
340	94	SD 762	石製品 砥石	幅7.0長さ11.2厚さ3.7			完形					129-1
340	95	SD 762	石製模造品 有孔円板	幅2.1長さ1.9厚さ0.4重さ1.9			3/4					
340	96	SD 762	石製模造品 剣形品	幅1.3長さ2.9厚さ0.5重さ2.4			1/4					
340	97	SD 762	石製模造品 剣形品	幅2.5長さ3.0厚さ0.7重さ8.0			1/2					
340	98	SD 762	石製模造品 剣形品	幅2.2長さ1.9厚さ0.6重さ3.4			1/3					
340	99	SD 762	石製模造品 剣形品	幅2.2長さ2.2厚さ0.4重さ2.9			1/3					
340	100	SD 762	石製模造品 剣形品	幅1.9長さ3.8厚さ0.6重さ5.2			ほぼ完形					127-2
340	101	SD 762	石製模造品 剣形品	幅2.4長さ4.8厚さ0.5重さ7.0			1/4					
340	102	SD 762	石製模造品 不明品	幅1.7長さ2.2厚さ0.4重さ1.4			—					
340	103	SD 762	石製模造品 不明品	幅1.9長さ1.9厚さ0.4重さ2.5			—					
340	104	SD 762	石製模造品 未製品	幅2.0長さ3.6厚さ0.5重さ4.0			2/3				滑石製	
340	105	SD 762	石製模造品 勾玉形	幅3.8長さ5.9厚さ0.8重さ23.5			—					
340	106	SD 762	鉄製品 鑿	刃幅3.6長さ[3.9]			刃部破片					
340	107	SD 762	石製品 白玉	径0.6長さ0.3重さ0.1			完形					128-2
340	108	SD 762	石製品 白玉	径1.5長さ0.7重さ2.5			ほぼ完形					128-2
340	109	SD 762	石製品 紡錘車	孔径0.6径(6.8)厚さ1.0重さ39.1			1/2					

第38表 溝跡出土遺物観察表(6)

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版
343	1	SD 789	青磁 碗	—	[1.5]	—	口縁破片		良好	明オリブ灰		124-1
343	2	SD 789	青磁 碗	—	[4.6]	—	破片		良好	明オリブ灰		124-1
343	3	SD 789	青白磁 碗	—	[3.2]	(7.4)	破片	砂粒	良好	灰白		124-1
343	4	SD 789	常滑 甕	—	[4.1]	—	口縁破片	長石 赤粒 白粒	良好	赤灰		125-2
343	5	SD 789	常滑 甕	—	[7.1]	—	口縁破片	白粒	良好	にぶい赤褐		125-1
343	6	SD 789	常滑 甕	—	[3.4]	(14.8)	底部	白粒	普通	にぶい橙		
343	7	SD 789	常滑 甕	—	—	—	肩部破片	白粒 黒粒	普通	褐灰		126-1
343	8	SD 789	在地 片口鉢	(27.6)	[8.2]	—	口縁破片	白粒	普通	褐灰		
343	9	SD 789	在地 片口鉢	(27.4)	8.7	—	口縁破片	雲	普通	灰白		
343	10	SD 789	石製品 砥石	幅(5.7)長さ(0.7)厚さ(3.3)			1/2					129-1
343	11	SD 795	鉄製品 釘	頭幅0.6×1.0長さ7.0			完形					130-1
343	12	SD 789	木製品 楔	幅2.0長さ10.6厚さ1.2			ほぼ完形					
343	13	SD 789	銭貨 銭種不明	径2.5重さ12.6							3枚癒着	130-2
343	14	SD 789	銭貨 開禧通寶	径2.5重さ45.5							南宋1205年、15枚癒着	130-2
344	15	SD 789	銭貨 周通元寶	径2.4重さ2.7							後周955年	130-2
344	16	SD 789	銭貨 景德元寶	径2.5重さ3.6							北宋1004年	130-2
344	17	SD 789	銭貨 皇宋通寶	径2.5重さ3.8							北宋1038年、真書	130-2
344	18	SD 789	銭貨 皇宋通寶	径2.5重さ2.9							北宋1038年	130-2
344	19	SD 789	銭貨 皇宋通寶	径2.4重さ3.2							北宋1038年、蒙書	130-2
344	20	SD 789	銭貨 治平元寶	径2.5重さ4.6							北宋1064年、蒙書	130-2
344	21	SD 789	銭貨 元豊通寶	径2.4重さ3.4							北宋1078年	130-2
344	22	SD 789	銭貨 元豊通寶	径2.5重さ3.9							北宋1078年	130-2
344	23	SD 789	銭貨 元祐通寶	径2.4重さ2.7							北宋1086年、蒙書	130-2
344	24	SD 789	銭貨 招聖元寶	径2.5重さ2.6							北宋1094年、行書	130-2
344	25	SD 789	銭貨 聖宋元寶	径2.4重さ3.6							北宋1101年、行書	130-2
344	26	SD 789	銭貨 開禧通寶	径2.5重さ3.4							南宋1205年	130-2
344	27	SD 789	銭貨 元祐通寶	径2.6重さ10.5							3枚癒着	130-2
344	28	SD 789	銭貨 銭種不明	径2.5重さ3.9								130-2
356	1	SD 792	かわらけ 皿	(8.2)	[2.0]	(5.2)	1/4	雲	普通	灰白		
356	2	SD 792	かわらけ 皿	(8.0)	[1.7]	—	1/4	赤粒 白粒	普通	灰白		
356	3	SD 792	かわらけ 皿	(8.8)	1.5	(4.9)	1/3	赤粒	普通	灰白		
356	4	SD 792	かわらけ 皿	9.0	1.7	5.2	3/4	白粒	普通	灰白		77-10
356	5	SD 792	かわらけ 皿	(10.0)	1.5	—	2/5	赤粒	普通	灰白		
356	6	SD 792	かわらけ 皿	10.4	1.9	6.3	1/4	赤粒	普通	灰白		78-1
356	7	SD 792	かわらけ 皿	9.2	1.4	5.0	完形	赤粒	普通	灰白		78-2
356	8	SD 792	かわらけ 皿	(10.0)	[1.7]	—	1/3	赤粒 白粒 針	普通	灰白		
356	9	SD 792	かわらけ 皿	9.1	2.0	4.9	ほぼ完形	赤粒	普通	灰白		
356	10	SD 792	かわらけ 皿	8.6	2.0	4.7	1/2	白粒 針	普通	灰白		
356	11	SD 792	かわらけ 皿	8.8	2.1	5.8	ほぼ完形	赤粒 白粒 黒粒	普通	灰白		78-3
356	12	SD 792	かわらけ 皿	—	0.7	5.2	底部	赤粒	普通	灰白		
356	13	SD 792	かわらけ 皿	—	[0.9]	5.1	底部	赤粒	普通	灰白		
356	14	SD 792	かわらけ 皿	—	[1.9]	4.0	底部	赤粒	普通	灰白		
356	15	SD 792	かわらけ 皿	—	[2.0]	7.2	底部	黒粒	普通	明褐灰		
356	16	SD 792	かわらけ 皿	—	[1.0]	10.0	底部の破片	赤粒	普通	灰白		
356	17	SD 792	かわらけ 皿	(18.2)	3.9	7.0	1/3	赤粒 針	普通	灰白		
356	18	SD 792	かわらけ 皿	13.4	3.2	6.7	3/4	白粒	普通	にぶい黄橙		78-4
356	19	SD 792	かわらけ 皿	13.8	3.8	8.0	1/3	赤粒 針 黒粒	良好	灰黄		78-5
356	20	SD 792	かわらけ 皿	14.4	4.0	—	2/3	雲	普通	灰白		78-6
356	21	SD 792	かわらけ 皿	(13.1)	[3.5]	—	1/4	赤粒 黒粒	普通	浅黄橙		
356	22	SD 792	かわらけ 皿	(14.0)	3.7	3.6	1/3	赤粒 白粒 黒粒	普通	灰白		
356	23	SD 792	かわらけ 皿	13.8	3.9	7.6	ほぼ完形	赤粒 針	良好	灰黄		78-7
356	24	SD 792	かわらけ 皿	14.1	3.6	8.5	ほぼ完形	赤粒 白粒 針	普通	淡黄		78-8
356	25	SD 792	かわらけ 皿	14.5	3.4	9.6	2/3	白粒	普通	灰		78-9
356	26	SD 792	かわらけ 皿	—	[1.2]	8.4	底部	赤粒 白粒	普通	灰白		

第39表 溝跡出土遺物観察表(7)

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版
356	27	SD 792	かわらけ	皿	—	[2.2]	8.0	底部	赤粒	普通	灰白	
356	28	SD 792	かわらけ	皿	—	[1.7]	9.0	底部	赤粒	普通	灰白	
356	29	SD 792	かわらけ	皿	—	[1.5]	8.0	底部	赤粒	普通	灰白	
357	30	SD 792	かわらけ	皿	(13.4)	[3.3]	—	破片	赤粒 白粒	普通	灰黄	
357	31	SD 792	かわらけ	皿	(13.4)	3.9	(7.9)	1/2	赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙	78-10
357	32	SD 792	かわらけ	皿	(13.7)	[3.5]	—	1/5	砂粒 赤粒	普通	灰白	
357	33	SD 792	かわらけ	皿	(15.0)	[3.3]	—	破片	赤粒	普通	にぶい黄橙	
357	34	SD 792	かわらけ	皿	14.2	3.5	9.5	2/3	赤粒 白粒	普通	灰白	79-1
357	35	SD 792	かわらけ	皿	14.4	3.5	9.6	2/3	白粒	普通	灰	79-2
357	36	SD 792	かわらけ	皿	14.2	3.8	6.8	3/4	砂粒	普通	灰白	79-3
357	37	SD 792	かわらけ	皿	14.6	3.7	8.4	3/4	雲 白粒	普通	灰白	79-4
357	38	SD 792	かわらけ	皿	(14.4)	[2.8]	—	口縁破片	赤粒 黒粒	普通	にぶい橙	79-5
357	39	SD 792	かわらけ	皿	14.8	3.1	—	ほぼ完形	角 白粒	普通	明褐灰	79-6
357	40	SD 792	かわらけ	皿	(15.0)	[3.4]	—	口縁破片	赤粒	普通	灰白	
357	41	SD 792	かわらけ	皿	—	[2.0]	5.0	底部破片	赤粒 白粒 黒粒	普通	灰白	
357	42	SD 792	かわらけ	皿	—	[2.4]	(8.4)	底部	赤粒	普通	灰白	
357	43	SD 792	かわらけ	皿	—	2.3	9.0	底部	赤粒	普通	灰白	
357	44	SD 792	常滑	甕	—	—	—	胴部破片	黒粒	良好	青灰	126-1
357	45	SD 792	石製品	管玉	長さ0.7厚さ[1.5]重さ1.0		2/3					127-1
357	46	SD 792	木製品	板材	幅4.3長さ36.0厚さ2.10		—				被熱	
357	47	SD 792	木製品	杭	幅[7.9]長さ[38.6]厚さ2.0		ほぼ完形					133-9
358	1	SD 795	青磁	碗	(17.6)	—	—	破片		良好	緑灰	124-1
358	2	SD 795	手づくね	皿	(8.1)	[2.9]	—	1/3	雲 白粒 黒粒	普通	にぶい橙	
358	3	SD 795	手づくね	皿	(8.2)	2.0	—	2/3	黒粒	普通	にぶい橙	79-8
358	4	SD 795	手づくね	皿	(10.0)	[1.7]	—	1/3	赤粒 白粒	普通	にぶい橙	
358	5	SD 795	かわらけ	皿	(9.2)	[1.5]	(5.6)	1/3	赤粒 白粒	普通	にぶい橙	
358	6	SD 795	かわらけ	皿	(8.0)	1.9	—	4/5	雲 黒粒	普通	灰白	79-9
358	7	SD 795	かわらけ	皿	—	[2.1]	6.4	底部	赤粒	普通	灰白	
358	8	SD 795	かわらけ	皿	—	[1.9]	7.5	底部	雲 赤粒	普通	明褐灰	
358	9	SD 795	かわらけ	皿	—	[1.6]	7.0	底部	赤粒	普通	にぶい黄橙	
358	10	SD 795	東海	片口鉢	(9.5)	[5.5]	—	口縁破片	白粒	良好	灰	
358	11	SD 795	常滑	甕	—	[3.5]	14.0	底部破片	雲 石英 赤粒	普通	灰白	
358	12	SD 795	鉄製品	釘	頭幅0.7×0.7長さ[5.0]		ほぼ完形					130-1
358	13	SD 795	鉄製品	釘	頭幅0.9×0.7長さ[4.9]		ほぼ完形					130-1
358	14	SD 795	鉄製品	釘	頭幅[0.6×0.9]長さ5.9		ほぼ完形					130-1
358	15	SD 795	鉄製品	釘	長さ[6.1]		頭部欠損					130-1
358	16	SD 795	鉄製品	釘	長さ[7.2]		頭部欠損					130-1
358	17	SD 795	鉄製品	釘	長さ[7.6]		頭部欠損					130-1
358	18	SD 795	鉄製品	釘	長さ[10.1]		頭部欠損					130-1
358	19	SD 795	鉄製品	釘	頭幅1.2×1.0長さ12.6		完形					130-1
358	20	SD 795	銭貨	熙寧元寶	径2.4重さ3.1						北宋1086年、2枚	
358	21	SD 795	銭貨	熙寧元寶	径2.4重さ3.8						北宋1068年、蒙書	
358	22	SD 795	銭貨	元祐通寶	径2.5重さ3.6						北宋1086年	
359	23	SD 795	木製品	部材	幅4.7長さ[51.0]厚さ2.5		—					
359	24	SD 795	木製品	部材	幅4.4長さ(10.7)厚さ2.0		—					133-5
359	25	SD 795	木製品	部材	幅4.3長さ(22.3)厚さ1.6		—					133-6
359	26	SD 795	木製品	部材	幅22.1長さ34.7厚さ2.1		ほぼ完形					135-3
360	27	SD 795	木製品	建築材	幅12.1長さ[61.5]厚さ12.1		—					
360	28	SD 795	木製品	建築材	幅12.4長さ[10.2]厚さ11.0		—				柄穴2	133-10
360	29	SD 795	木製品	杭	幅4.6長さ44.8厚さ4.0		—					
361	30	SD 795	木製品	杭	幅7.0長さ[52.4]厚さ4.6		—					
361	31	SD 795	木製品	杭	幅4.6長さ72.4厚さ3.5		ほぼ完形					134-1
361	32	SD 795	木製品	杭	幅8.4長さ[65.72]厚さ6.2		ほぼ完形					134-2
361	33	SD 795	木製品	杭	幅7.4長さ[76.1]厚さ6.2		—					134-3

第40表 溝跡出土遺物観察表(8)

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版
362 34	SD 795	木製品	杭	幅7.6長さ[47.8]厚さ7.3			—					
362 35	SD 795	木製品	杭	幅6.6長さ71.7厚さ5.9			ほぼ完形					
362 36	SD 795	木製品	杭	幅6.7長さ73.5厚さ7.1			ほぼ完形					
362 37	SD 795	木製品	杭	幅6.0長さ63.2厚さ4.4			ほぼ完形					
363 38	SD 795	木製品	杭	幅6.8長さ[58.2]厚さ4.3			—					
363 39	SD 795	木製品	杭	幅11.2長さ[17.9]厚さ10.2			—					
363 40	SD 795	木製品	杭	幅11.4長さ64.9厚さ8.9			ほぼ完形				転用	134-4
364 41	SD 795	木製品	杭	幅6.8長さ[94.1]厚さ7.2			—					
364 42	SD 795	木製品	杭	幅7.0長さ101.8厚さ6.6			—					134-5
364 43	SD 795	木製品	杭	幅6.2長さ101.5厚さ5.0			ほぼ完形					
364 44	SD 795	木製品	杭	幅6.4長さ107.1厚さ6.4			ほぼ完形					
364 45	SD 795	木製品	杭	幅7.0長さ88.1厚さ5.0			ほぼ完形					
365 46	SD 795	木製品	杭	幅7.3長さ132.1厚さ7.0			—					
365 47	SD 795	木製品	板材	幅13.0長さ113.9厚さ2.0			完形					134-6
365 48	SD 795	木製品	建築材	幅14.7長さ[101.5]厚さ1.7			—				柄穴1	
366 49	SD 795	木製品	板材	幅14.2長さ[74.2]厚さ1.9			—				金釘1	
366 50	SD 795	木製品	板材	幅13.3長さ(41.8)厚さ1.5			—					
366 51	SD 795	木製品	板材	幅10.8長さ38.2厚さ1.8			完形					
367 52	SD 795	木製品	板材	幅[6.9]長さ[71.6]厚さ0.8			—					
367 53	SD 795	木製品	建築材	幅6.5長さ[83.0]厚さ4.8			—				金釘、釘穴2	134-7
367 54	SD 795	木製品	建築材	幅5.3長さ(69.7)厚さ4.2			—					134-8
367 55	SD 795	木製品	建築材	幅6.6長さ94.8厚さ4.9			ほぼ完形				釘穴9	135-1
368 56	SD 795	木製品	建築材	幅5.7長さ41.6厚さ4.9			ほぼ完形					135-2
368 57	SD 795	木製品	板材	幅(6.3)長さ(49.3)厚さ1.2			—					
368 58	SD 795	木製品	板材	幅8.8長さ[23.7]厚さ0.5			—					
368 59	SD 795	木製品	板材	幅12.4長さ(31.4)厚さ0.5			—					
369 1	SD 796	かわらけ	皿	(9.4)	[1.5]	(5.0)	1/2	赤粒 白粒	普通	にぶい橙		79-10
369 2	SD 796	手づくね	皿	(11.6)	1.6	—	1/5	赤粒	普通	灰白		
369 3	SD 796	手づくね	皿	(11.9)	[2.6]	—	1/4	砂粒	普通	淡橙		
369 4	SD 796	かわらけ	皿	—	[1.8]	—	底部	赤粒	普通	灰黄		
369 5	SD 796	かわらけ	皿	—	[2.6]	(6.8)	底部	赤粒	普通	灰白		
369 6	SD 796	かわらけ	皿	12.6	3.7	—	2/3	赤粒	普通	淡黄		80-1
369 7	SD 795・796	かわらけ	皿	(6.7)	1.6	(4.2)	1/3	雲 赤粒	普通	にぶい黄橙		
369 8	SD 795・796	かわらけ	皿	(9.2)	[1.8]	—	口縁破片	雲 砂粒	普通	にぶい褐		
369 9	SD 795・796	かわらけ	皿	(9.2)	2.1	(6.0)	1/3	赤粒	普通	浅黄		
369 10	SD 795・796	手づくね	皿	(11.8)	[2.1]	—	破片	赤粒 黒粒	普通	にぶい黄橙		
369 11	SD 795・796	かわらけ	皿	(9.2)	[2.7]	(5.1)	1/5	雲 赤粒	普通	灰白		
369 12	SD 795・796	かわらけ	皿	12.4	[3.2]	—	破片	赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙		
369 13	SD 795・796	灰釉陶器	壺	—	[2.8]	—	頸部破片	白粒 黒粒	普通	オリーブ灰		
369 14	SD 795・796	在地	甕	—	[4.0]	(15.2)	底部破片	白粒	良好	灰白		
369 15	SD 795・796	常滑	甕	—	[3.7]	—	底部破片	砂粒 白粒	良好	灰赤		
373 1	SD 793	かわらけ	皿	—	[1.5]	6.5	底部	雲 赤粒	普通	にぶい橙		
373 2	SD 793	かわらけ	皿	(11.8)	3.6	(5.8)	1/5	赤粒 白粒	普通	にぶい橙		79-7
373 3	SD 793	青磁	碗	(12.2)	—	—	破片		良好	オリーブ灰		124-1
373 4	SD 794	常滑	壺	—	[20.0]	8.5	底部	白粒 黒粒	良好	灰赤	釉付着	95-6
373 5	SD 797	渥美	大甕	(40.0)	[4.5]	—	口縁破片	白粒	普通	青灰		125-2
373 6	SD 800	かわらけ	皿	—	[3.3]	5.0	1/3	雲 砂粒	普通	にぶい黄橙		
373 7	SD 809	かわらけ	皿	8.0	1.5	6.6	完形	砂粒 赤粒	良好	灰白		80-2
373 8	SD 809	かわらけ	皿	8.0	1.9	5.5	完形	雲 赤粒 黒粒	普通	橙		80-3
373 9	SD 810	かわらけ	皿	8.0	2.0	—	完形	赤粒	普通	にぶい黄橙		80-4
373 10	SD 810	白磁	小皿	—	[1.1]	5.8	底部		良好	明緑灰		124-1
373 11	SD 810	渥美	甕	—	[11.3]	—	胴部破片	白粒	良好	灰		126-1
373 12	SD 814	常滑	甕	幅(6.3)長さ(5.9)厚さ(1.1)			破片	石英 砂粒	良好	黄灰	転用	126-1
373 13	SD 822	かわらけ	皿	(8.0)	2.0	—	1/3	赤粒 黒粒	普通	灰白		80-5
373 14	SD 832	木製品	木札	幅2.3長さ20.0厚さ0.3			完形					

9. 道路状遺構

波板状の痕跡と考えられる遺構が連続して検出されたことから、本書では道路状遺構として報告することにした。

本遺構の西には平安時代の第753号溝跡が走行するが、ピット列とは平行しておらず、また東側には当該期の溝跡が検出されなかったことから、側溝を伴うものではなかったと推測される。検出された範囲が狭く、出土遺物もないため、時期・走行方向・規模などの詳細は不明である。

第3次調査においても南北方向に延びる、波板状の痕跡が2箇所検出されている。走行方向がほぼ一致することから、同一遺構であった可能性も考えられる。第1号道路状遺構の時期は、回転糸切り離しの須恵器坏底部が出土していることから、9世紀代と考えられている。

第3号道路状遺構（第374図）

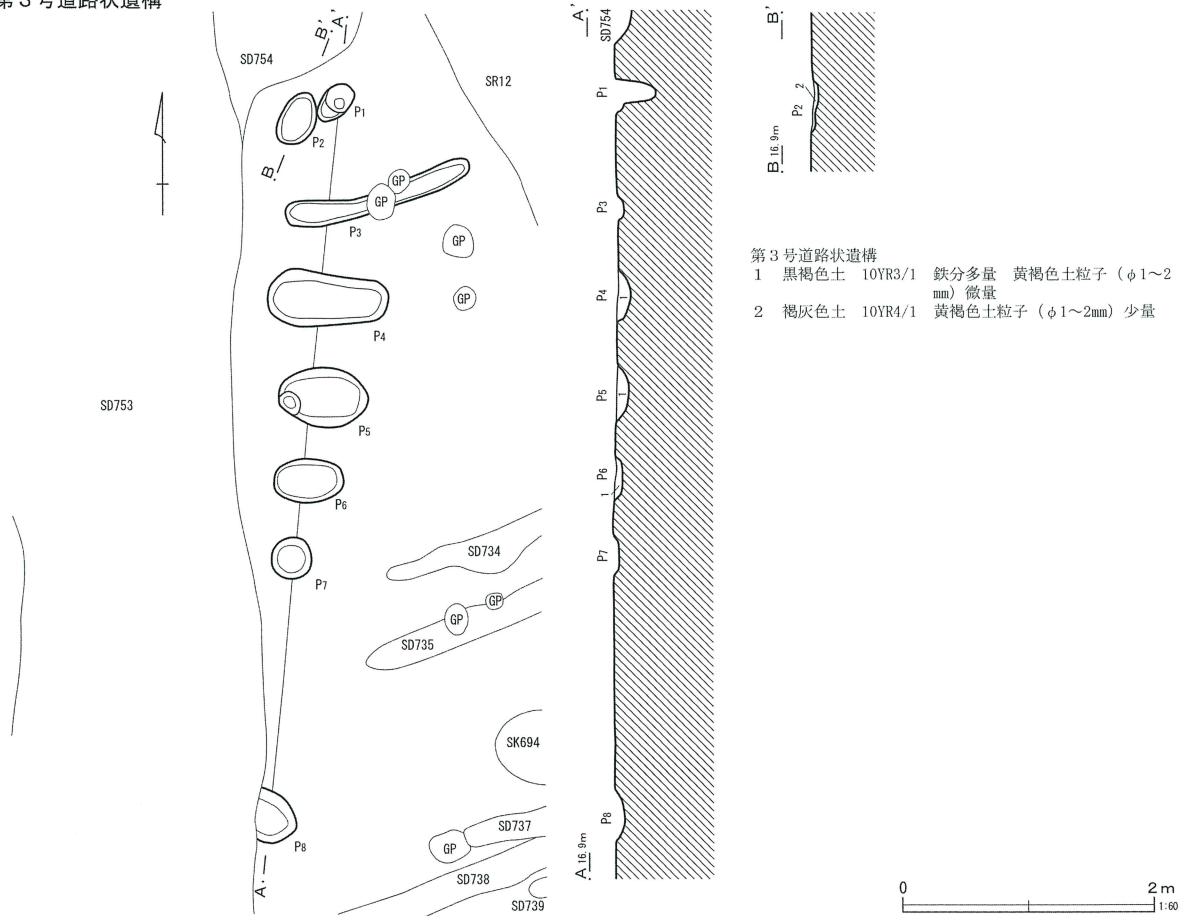
L-32グリッドで検出された。南北方向に伸びる道路状遺構の痕跡である。西側には第753号溝跡が走行し、本遺構の南端で重複していたが、新旧関係は不明である。ピット周辺の地山面が硬く踏み固められた状況は認められなかった。

検出された範囲は、南北6.03mの範囲で、主軸方向はN-6°-Eであった。

波板状の痕跡は8本が、ほぼ等間隔で検出された。各ピットの規模は、P1が $35 \times 22 \times 32$ cm、P2が $45 \times 28 \times 6$ cm、P3が $152 \times 21 \times 7$ cm、P4が $96 \times 45 \times 10$ cm、P5が $72 \times 48 \times 11$ cm、P6が $55 \times 35 \times 6$ cm、P7が 33×4 cm、P8が $35 \times 38 \times 8$ cmであった。各ピットの規模・形態はまちまちであった。

遺物が出土しなかったため、時期は不明である。

第3号道路状遺構



第374図 第3号道路状遺構

10. 谷部

第4次調査の南端で検出された延長部分が第5次調査でも検出された。調査区の中央部を大きく占め、南西方向から北東方向に蛇行しながら入り込んでいた。最大幅で約80mを測り、北側と南側の自然堤防を大きく分断していた。南北の自然堤防上には弥生時代中期から中世にかけての集落がひろがる。

谷部北側の地形は、自然堤防の先端部に当たり、東側は現状においては荒川の堤防下や堤外に続くが、古代には旧河川の流路が存在していたと思われる。

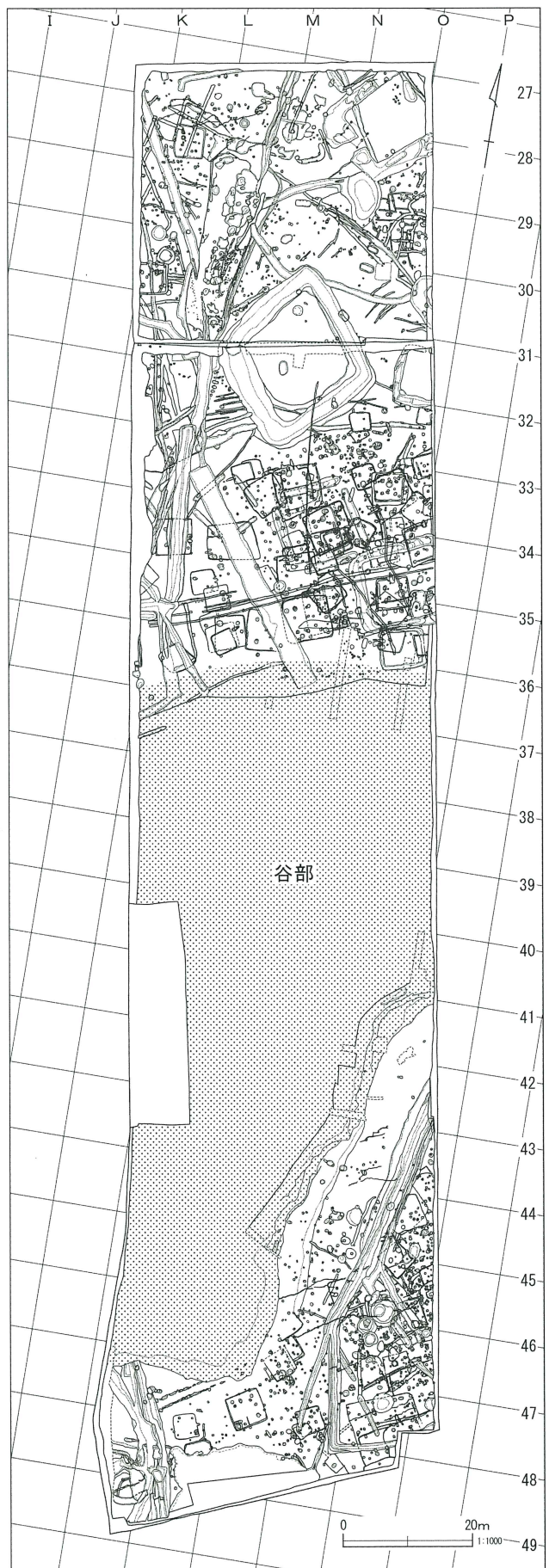
谷部南側は、自然堤防の縁辺部が検出されたにすぎず、地形がどのようなになっているかは不明である。ただ、調査区南西隅は標高がやや低くなっており、住居跡の密度も薄くなっていたため、微高地が切れている可能性が高い。

谷部の調査は調査期間との兼ね合いもあり、全面的な調査が行なえるような状況になかったため、立ち上がり部分の検出に努めた。また、肩部に直行するような形で長いトレンチを数本設定し、土層断面の記録を残すことも心がけた。遺物が多量に出土した場合はトレンチを拡げて、出土状況の記録を残し、遺物の取り上げを行った。

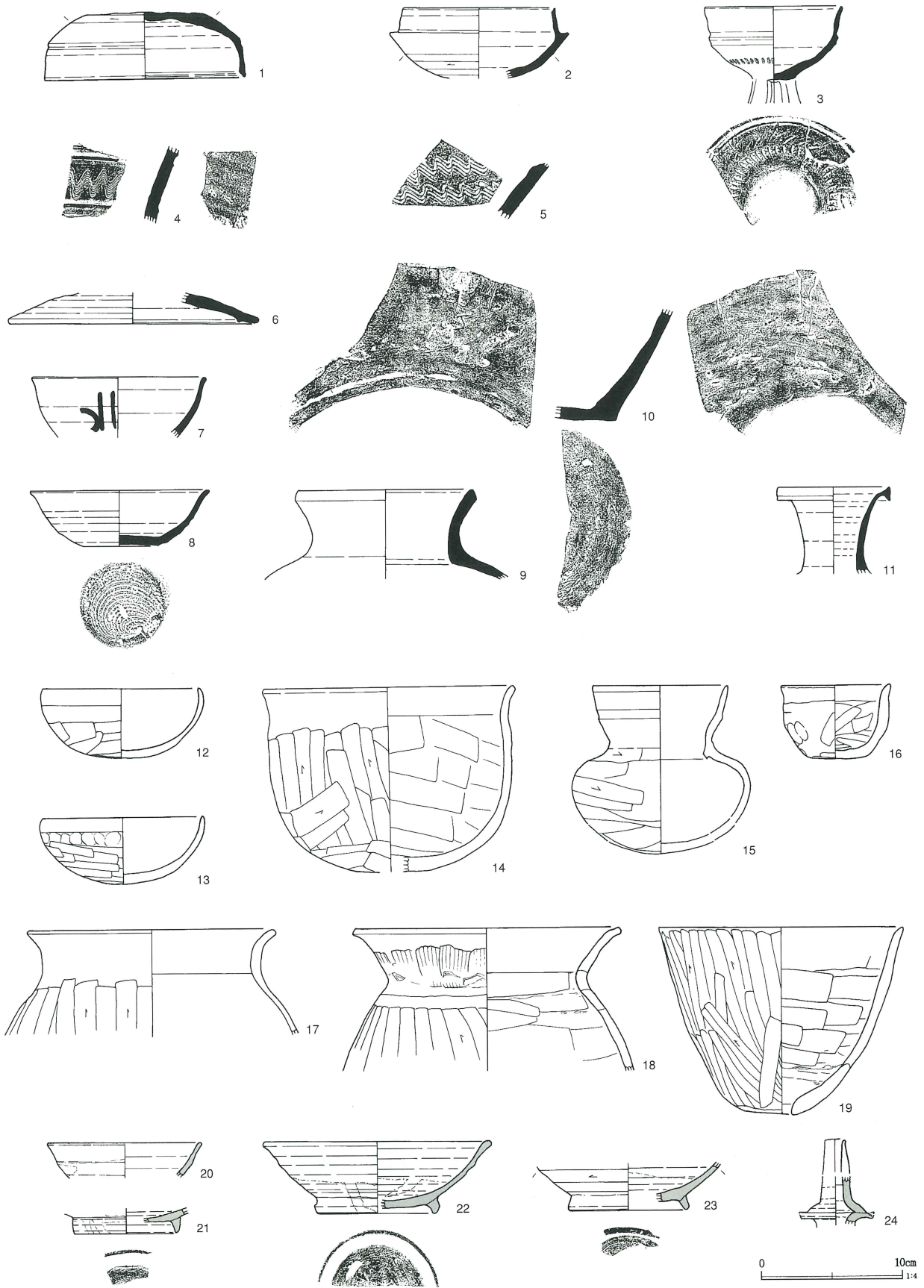
谷部北側では、南側と比べ立ち上がりが緩やかであった。堆積土の上面で中世の第784・786号溝跡などの遺構が検出されていることから、平安時代から中世までの間に完全に埋没していたことがわかった。東西約45mにわたって調査を行ったが、遺物は摩滅したものが多く、まとまった量が出土しなかった。

第376・377図が谷部北側から出土した遺物である。弥生時代から古墳時代前期にかけての遺物はほとんど出土していない。

第376図1～5は、古墳時代後期の須恵器である。1は蓋で、口縁端部に浅い沈線が巡る。外面の天井部と口縁部の境には明瞭な稜をもつ。2は坏身で、口縁端部に浅い沈線が巡る。体部下半はヘラケズリが施される。3は、須恵器高坏の坏部片である。坏部外面に櫛歯による列点文が巡る。脚部との接合面



第375図 谷部位置図



第376図 谷部北側出土遺物 (1)



第377图 谷部北側出土遺物 (2)

から三方透かしと考えられる。4・5は甕の口縁部破片で、波状文が施される。

6～11は、奈良時代から平安時代にかけての須恵器である。6は蓋で、天井部が欠損する。秋間産と考えられる。7は、南比企産の坏である。外面に記号と思われる判読不明の墨書が認められる。8は南比企産の坏で、底部に回転糸切り痕が残る。9はやや小型の壺で、口縁端部は面取りされる。10は、甕の底部片である。内外面ともナデ調整である。11は、南比企産の長頸壺である。

12～19は、古墳時代後期の土師器である。12・13は、口縁部が内湾する坏である。14は、鉢である。15は小型壺で、須恵器甕を模倣したものである。16は、手づくねの鉢である。17・18は、甕の口縁部片である。18の外面にはハケ目が残る。19は鉢形の甕で、ほぼ完形である。

20～24・31は、灰釉陶器である。20～23は埴で、24は浄瓶で、31は長頸瓶である。23・31は内面にのみ釉が付着する。

第377図25～30は、緑釉陶器である。25は皿の口縁部片で、26～30は埴の底部片である。28は、高台部が剥離している。

32は、中世の常滑甕の胴部片である、外面に平行叩き目が残る。

33は、石製の砥石である。明瞭な擦痕は認められない。

34～42は、石製模造品である。36・39～41は剣形品、37・38は有孔円板である。34・35・42は用途不明品である。34・35は形状が不整形を呈し、穿孔には規則性が認められない。

43～47は、滑石製の白玉である。

48は、扁平な石製の紡錘車の破片である。

49は、土錘である。

50は、元符通寶である。北宋銭で、初鑄は1098年である。行書。

これらの遺物は埋没過程にある谷部へ投棄されたものである。

谷部南側の調査は、大きく蛇行した範囲にあたり、堆積土や遺物の出土状況が北側とは違った様相を呈していた。

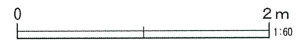
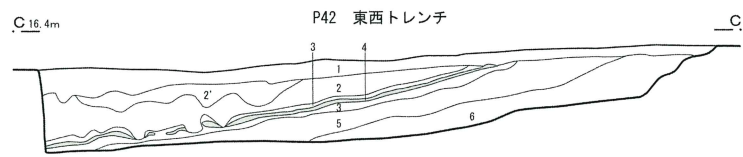
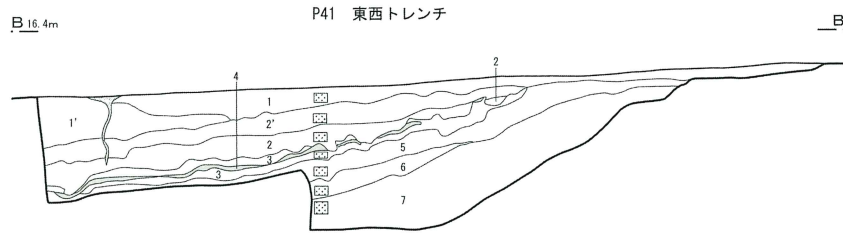
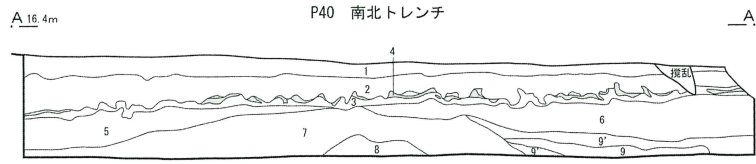
谷部の底面までは湧水が著しく調査ができなかったが、南西から北東にわたって直線距離で約80mの範囲について掘り下げを行った。谷部の立ち上がりは、等高線でみてもわかるように、北側と比べ傾斜がきつくなっていた。立ち上がりが急なのは、蛇行した地点という地形的なものに依るものと思われる。

各トレンチの堆積土の観察から、北側と同じように平安時代から中世の間にはほぼ埋没していたことが判明した。遺構確認面の30～80cm下からは、1108(天仁元)年に浅間火山から噴出した浅間Bのテフラ層(4層)が各トレンチで検出された。火山灰層の上下には、炭化物を多量に含む泥炭質の黒色粘質土(3層)がみられたことから、12世紀第一四半期には、水草などが生え茂ったような湿地の状況にあったことが考えられる。また、N-46・47トレンチでは4層の下層でも腐敗途中の植物片や木材片などの有機物が堆積しており、谷部の環境は埋没するまでは湿地の状態にあったことがわかった。P-41、O-44グリッドでは、浅間Bテフラ層の下層から流木が多量に検出された。

遺物は、各トレンチで投棄された土器、石製品、木製品などが大量に出土している。古墳時代後期の遺物が一番多くみられ、中世の遺物はほとんど出土しなかった。谷部南側の特徴として、各時期において遺物の出土地点が異なることがあげられる。古墳時代前期の遺物は、O-43、P-41～43などの北部にまとまって出土している。他のグリッドからは当該期の遺物がほとんど出土しておらず、周辺にも遺構は検出されていない。古墳時代後期の遺物は、P-42・43グリッドの範囲に集中していた。平安時代の遺物は、南部のO-46グリッドを中心にした範囲から出土している。これらのことから、各時期において遺物を廃棄する地点がある程度決まっていた可能性が考えられる。

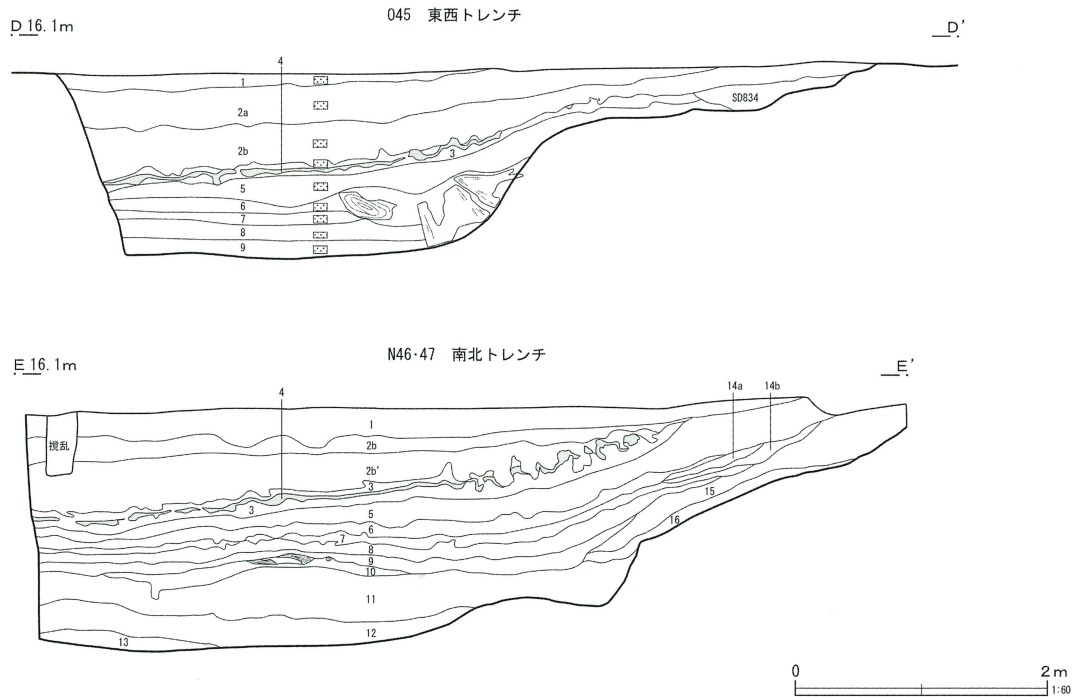


第378图 谷部南侧区割图



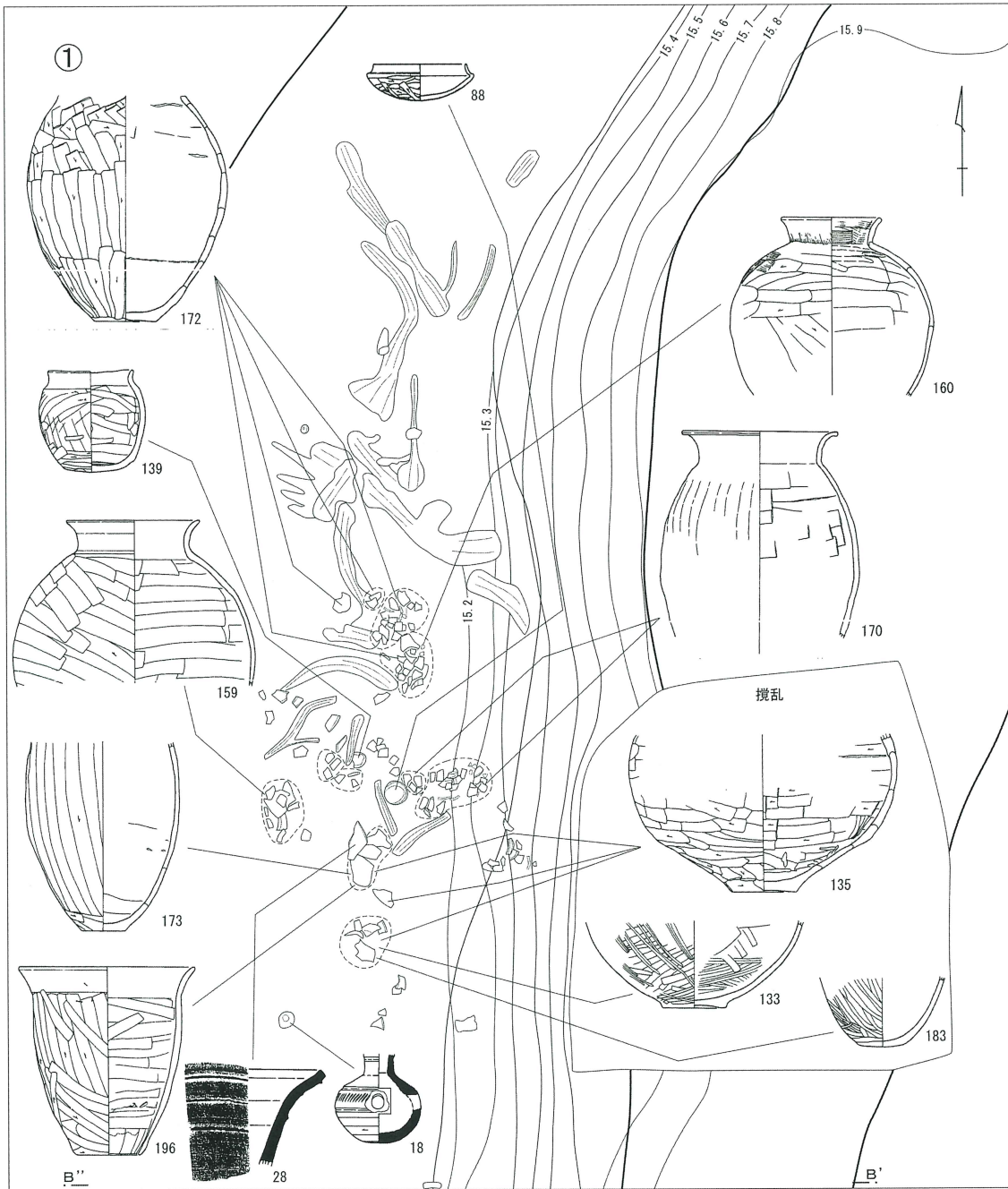
P40 南北トレンチ			P41 東西トレンチ			P42 東西トレンチ												
1	オリーブ黒色土	5Y3/2	暗い黄土色のしまりある粘質土	しまりあり	粘性弱い (平安~中世の間の堆積)	1	オリーブ黒色土	5Y3/2	暗い黄土色のしまりある粘質土	しまりあり	粘性弱い							
2	暗灰色土	N2/0	暗灰色粘質土	青灰色土粒子 (φ1mm) 微量	しまりややあり 粘性あり (平安~中世の間の堆積)	1'	オリーブ黒色土	7.5Y3/1	濃い暗灰色のしまりある粘質土	しまりあり	粘性ややあり							
2'	暗灰色土	N2/0	青灰色粘質土斑に含む	青灰色土粒子 (φ1mm) 微量	しまりややあり 粘性あり (平安~中世の間の堆積)	2	暗灰色土	N2/0	暗灰色粘質土	青灰色土粒子 (φ1mm)・青灰色粘質土 (φ5~30mm)・灰色シルト (φ2~5mm)・炭化物粒子 (φ2mm) 微量	しまりややあり							
3	黒色土	10YR1.7/1	黒色粘質土層	炭化物を多量に含む泥炭層	2層との境界面はこげ茶色に変色	しまりややあり 粘性弱い (平安の埋土)	2'	暗灰色土	N2/0	青灰色粘質土 (φ5~30mm) 含む	層中程に帯状に	灰色シルト (φ2~5mm) 少~中量						
4	黒褐色土	2.5Y3/2	こげ茶色の火山灰層	あらい砂質	しまり・粘性なし (浅間B)	3	黒色土	10YR1.7/1	黒色粘質土層	炭化物を多量に含む泥炭層	2層との境界面はこげ茶色に変色	しまりややあり						
5	オリーブ黒色土	5Y3/1	暗灰色 (やや明るい) 粘質土	炭化物粒子 (φ2~3mm) 微量	全体的に斑に散る	しまりなし 粘性あり	4	黒褐色土	2.5Y3/2	こげ茶色の火山灰層	あらい砂質	しまり・粘性なし (浅間B)						
6	黒色土	5Y2/1	5層より暗い暗灰色粘質土	炭化物粒子 (φ1~5mm)・青灰色土粒子 (φ1~5mm)	層全体に斑に含む	しまり・粘性ややあり	5	オリーブ黒色土	5Y3/1	暗灰色 (やや明るい) 粘質土	炭化物粒子 (φ2~3mm)	層上部に少量帯状に入る	層中程に斑に散る					
7	黒色土	7.5Y2/1	暗灰色 (群青色っぽい) 粘質土	青灰色土粒子 (φ1~5mm)	層全体に斑に含む	炭化物粒子 (φ2~5mm)	層上部に斑に微量	6	黒色土	5Y2/1	5層より暗い暗灰色粘質土	炭化物ブロック (φ5mm)	層中程に帯状に含む	しまりなし 粘性あり				
8	オリーブ黒色土	5Y3/2	暗褐色粘質土	褐色土粒子 (φ5~10mm)	斑に含む	しまり弱い 粘性強い	7	黒色土	7.5Y2/1	暗灰色粘質土	青灰色土粒子 (φ1~5mm)	層全体に斑に含む	炭化物粒子 (φ2~5mm)	層上部に斑に微量				
9'	黒褐色土	2.5Y3/1	炭化物主体の層 (層中央部に帯状に入る)	暗灰色粘質土・青灰色土粒子 (φ2~10mm) 少~中量	しまりなし 粘性強い													
9	オリーブ黒色土	5Y2/2	暗灰色粘質土	炭化物粒子 (φ1~3mm) 少量	青灰色土ブロック (φ5mm) 微量	しまり弱い 粘性あり												
※9層は9'層の炭化物が堆積しなかった時期と考えられる			※9'層からは多量の遺物が出土しており、包含層と考えられる			P42 東西トレンチ			1			オリーブ黒色土	5Y3/2	暗い黄土色のしまりある粘質土	しまりあり	粘性弱い (平安~中世の間の堆積)		
						2			暗灰色土	N2/0	暗灰色粘質土	青灰色土粒子 (φ1mm) 微量	しまりややあり	粘性あり (平安~中世の間の堆積)				
						2'			暗灰色土	N2/0	青灰色粘質土斑に含む	青灰色土粒子 (φ1mm) 微量	しまりややあり	粘性あり (平安~中世の間の堆積と思われる)				
						3			黒色土	10YR1.7/1	黒色粘質土層	炭化物を多量に含む泥炭層	2層との境界面はこげ茶色に変色	しまりややあり	粘性弱い (平安の埋土)			
						4			黒褐色土	2.5Y3/2	こげ茶色の火山灰層	あらい砂質	しまり・粘性なし (浅間B)					
						5			黒色土	5Y2/1	暗灰色粘質土	炭化物が層上部に帯状に1~2本入る	しまりなし	粘性あり (平安以前の埋土)				
						6			オリーブ黒色土	5Y2/2	暗灰色粘質土	5層よりはやや明るい	しまりややあり	粘性あり				

第379図 谷部南側土層断面 (1)



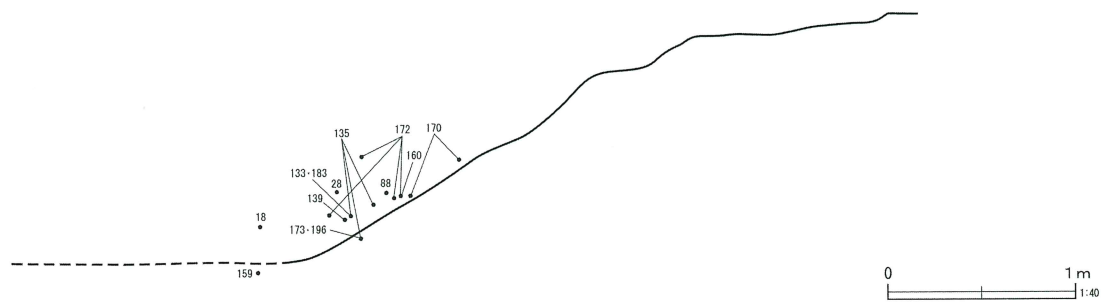
045 東西トレンチ		N46・47 南北トレンチ	
1	灰オリブ色土 5Y4/2	1	灰オリブ色土 5Y4/2
2a	灰色土 10Y4/1	2b	オリブ黒色土 10Y3/1
2b	オリブ黒色土 10Y3/1	2b'	青黒色土 5B2/1
3	黒色土 10YR1.7/1	3	黒色土 10YR1.7/1
4	黒褐色土 2.5Y3/2	4	黒褐色土 2.5Y3/2
5	暗灰色土 N3/0	5	黒褐色土 2.5Y3/1
6	黒色土 10YR2/1	6	黒色土 2.5Y2/1
7	暗オリブ色土 5Y4/3	7	灰色土 10Y4/1
8	オリブ黒色土 5Y3/1	8	黒色土 2.5Y2/1
9	オリブ黒色土 10Y3/1	9	黒色土 2.5Y2/1
		10	灰色土 7.5Y4/1
		11	オリブ黒色土 7.5Y3/1
		12	オリブ黒色土 7.5Y3/1
		13	オリブ黒色土 7.5Y3/1
		14a	オリブ黒色土
		14b	オリブ黒色土
		15	オリブ黒色土
		16	暗緑灰色土

第380図 谷部南側土層断面 (2)

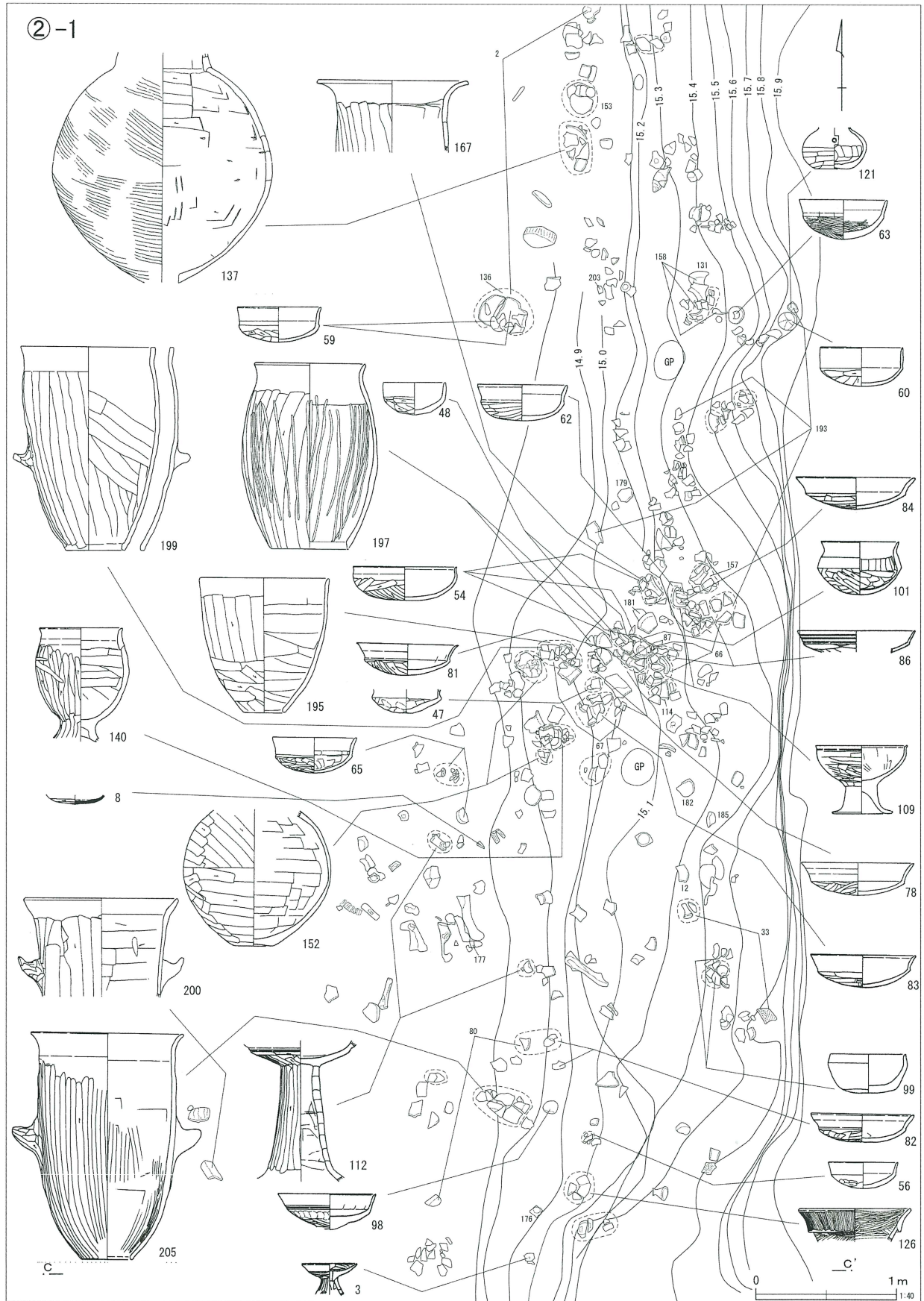


B'' 16.4m

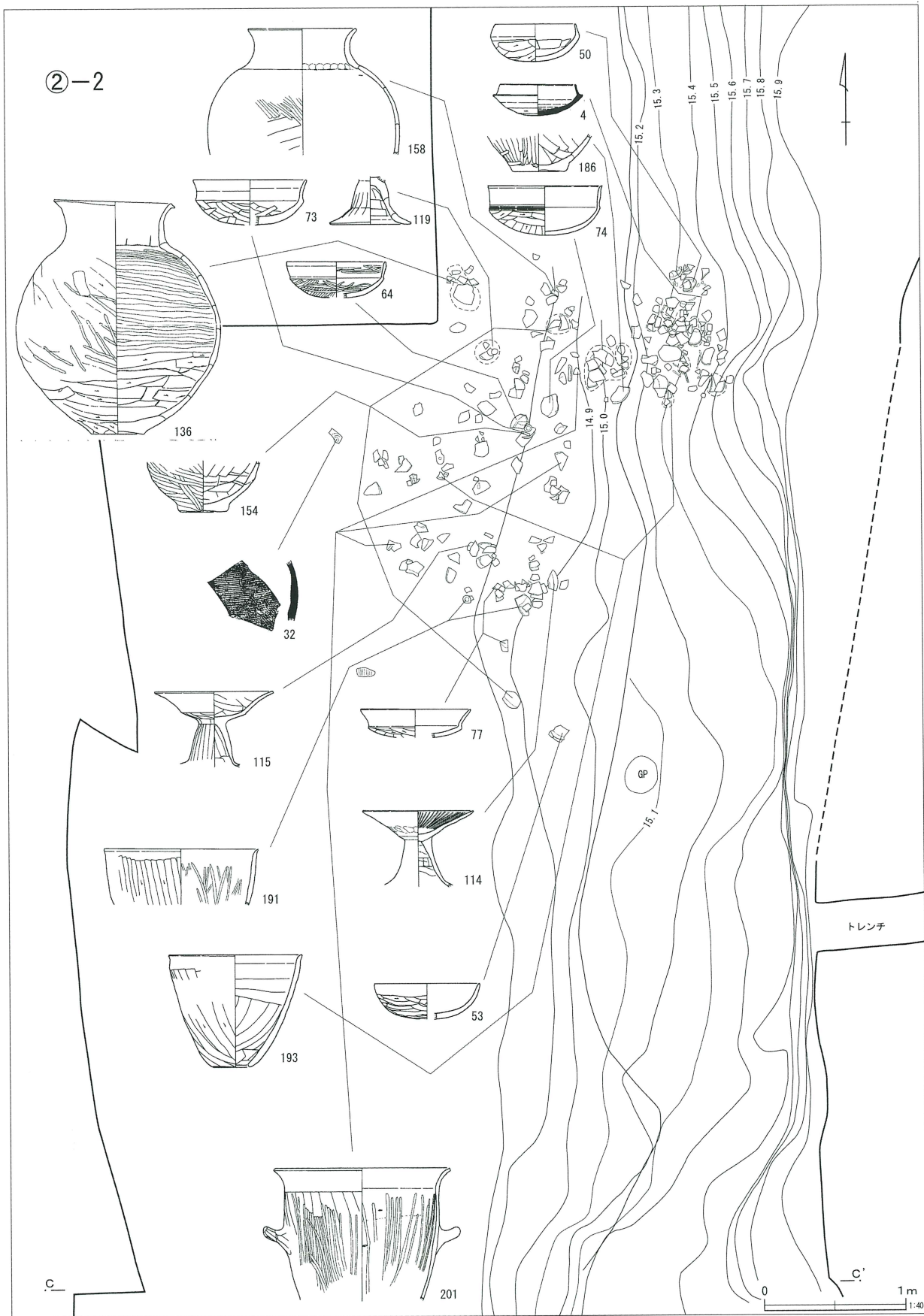
B'



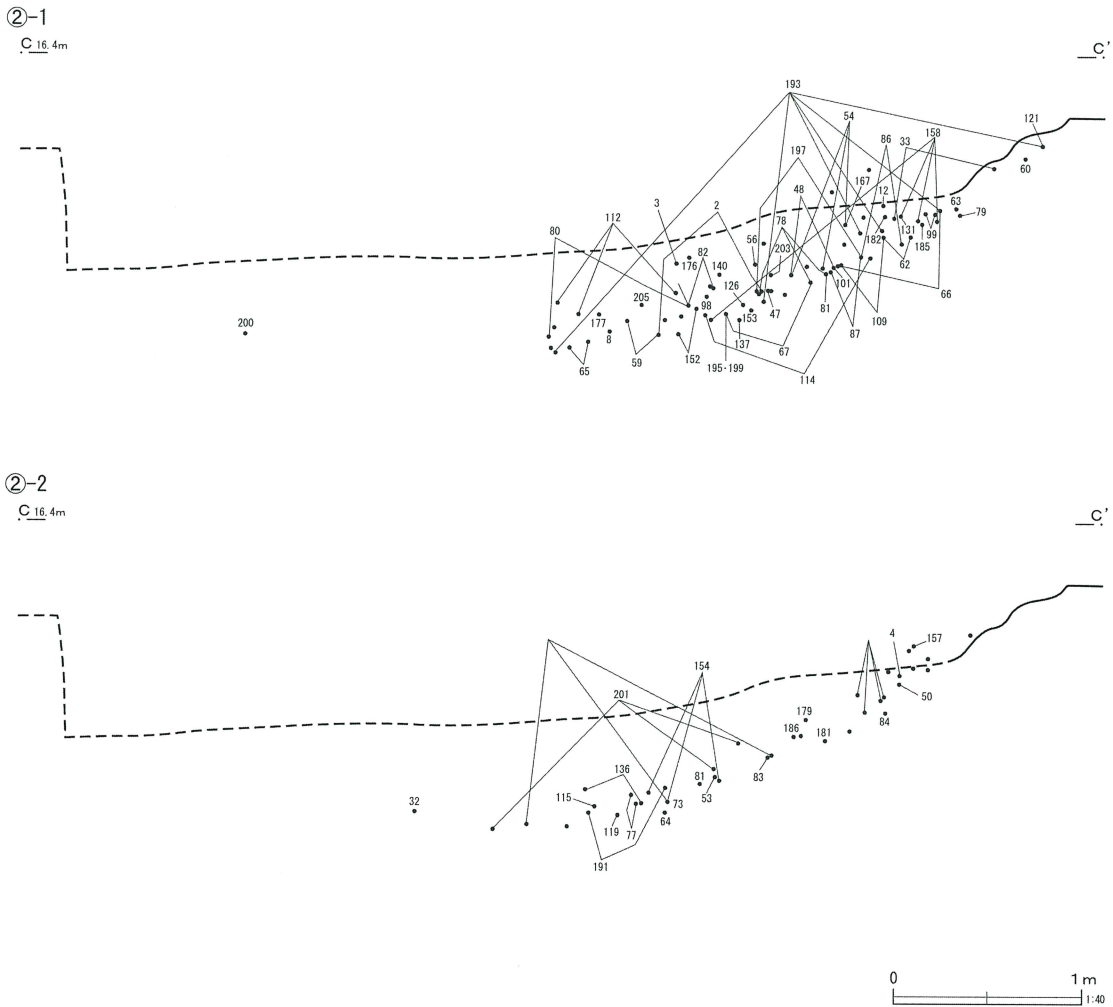
第381図 谷部南側遺物出土状況 (1)



第382図 谷部南側遺物出土状況 (2)



第383図 谷部南側遺物出土状況 (3)

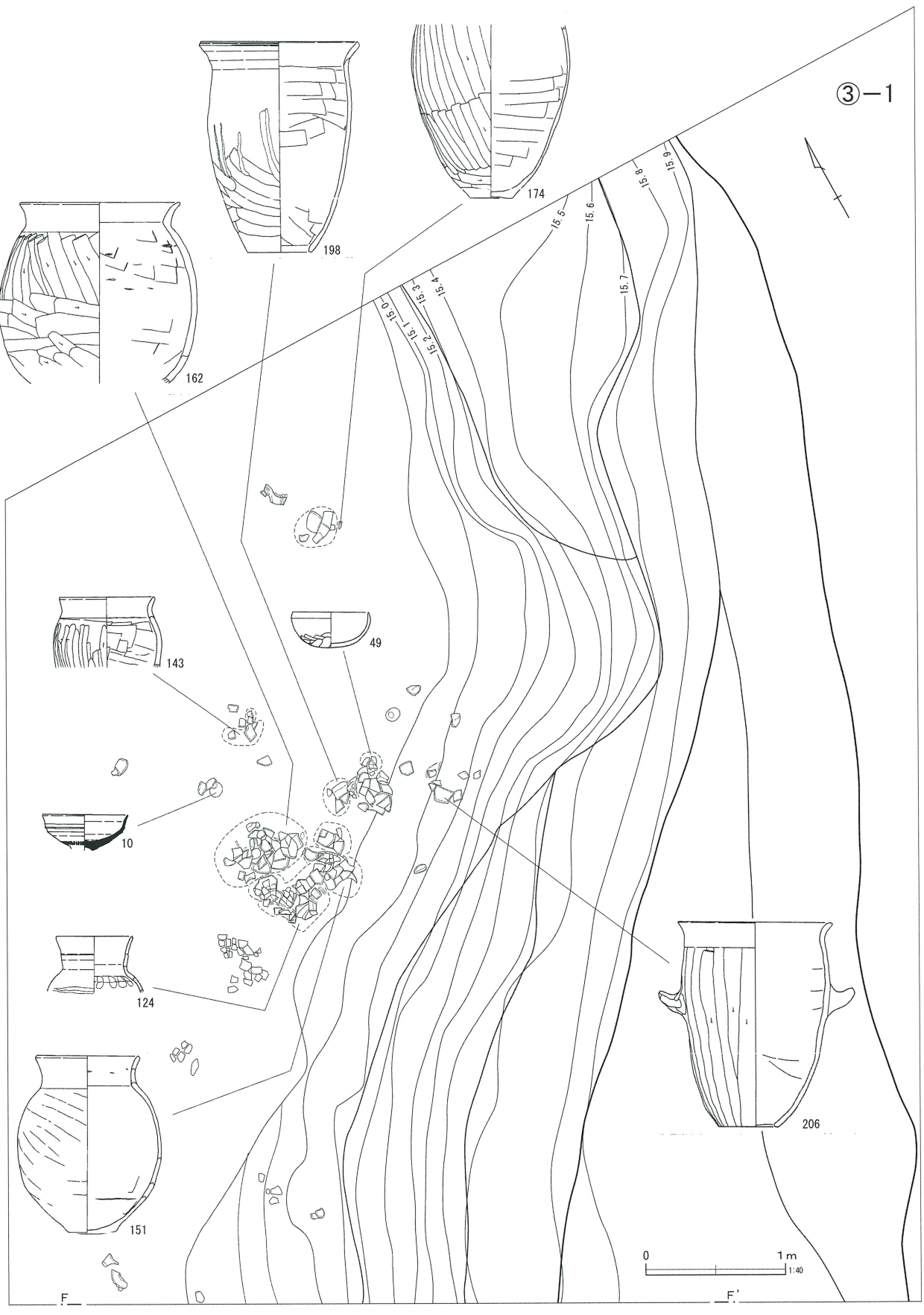


第384図 谷部南側遺物出土状況 (4)

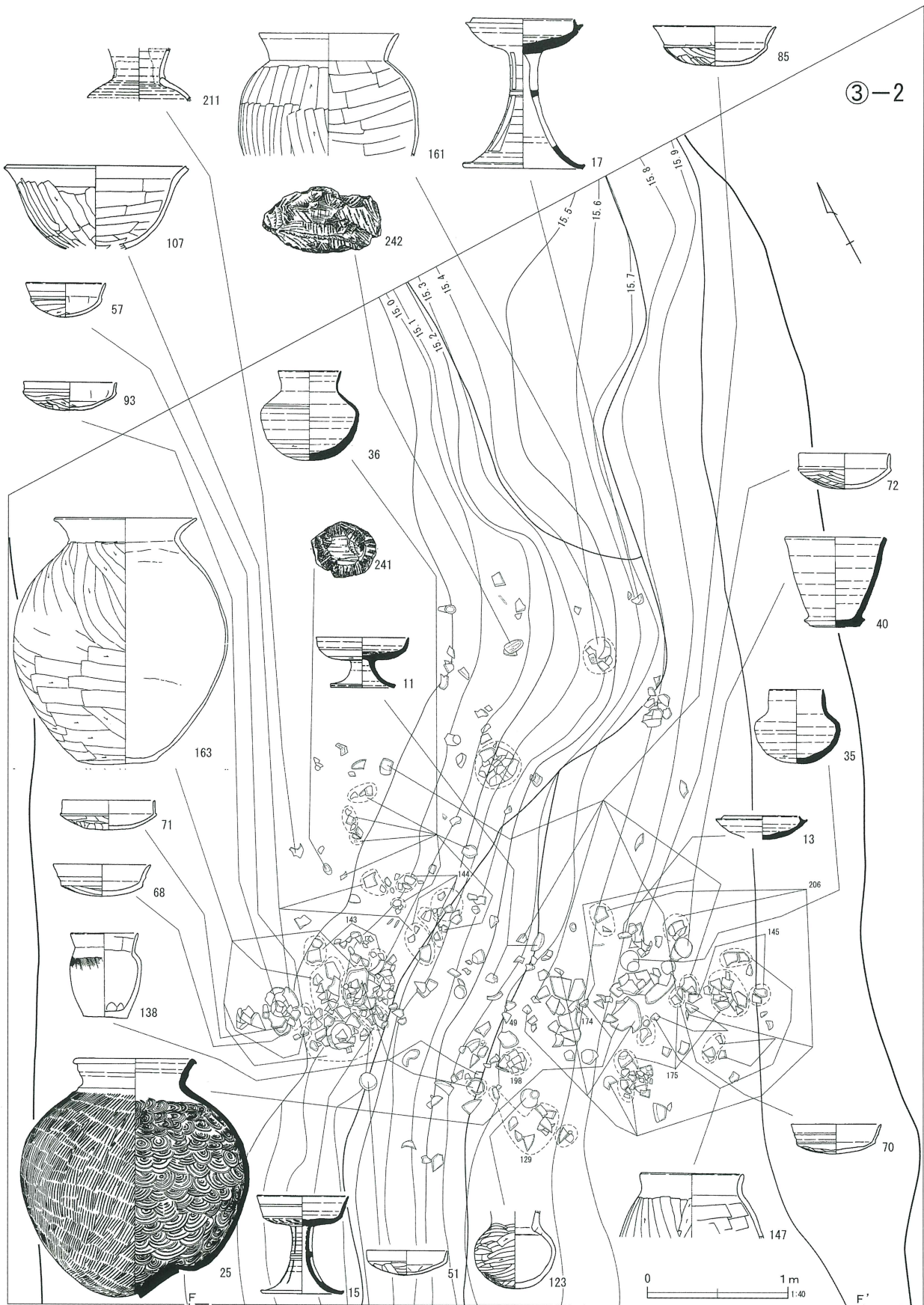
谷部南側から大量に出土した遺物は、第393～414図に示した。

第393図は、古墳時代前期の遺物である。1・2は、台付甕である。1の胴部下半外面は、被熱のため器面が剥落している。2の口縁部外面は、縦方向のハケ目の後、横方向のナデ調整が施される。3は器台で、外面と器受部内面に赤彩が施される。脚部の円孔は3箇所にあけられる。4は、高坏の坏部片と思われる。複合口縁で、外面に単節R L縄文が施文される。坏部と内面はヘラミガキである。5～27は拓影図で、5～22が甕、23～27は壺の破片である。5は、頸部外面に3段の櫛描の簾状文が残る口縁部片である。口縁端部には木口状工具による刻み目が施される。6～9は、胴部外面に櫛描波状文が施され

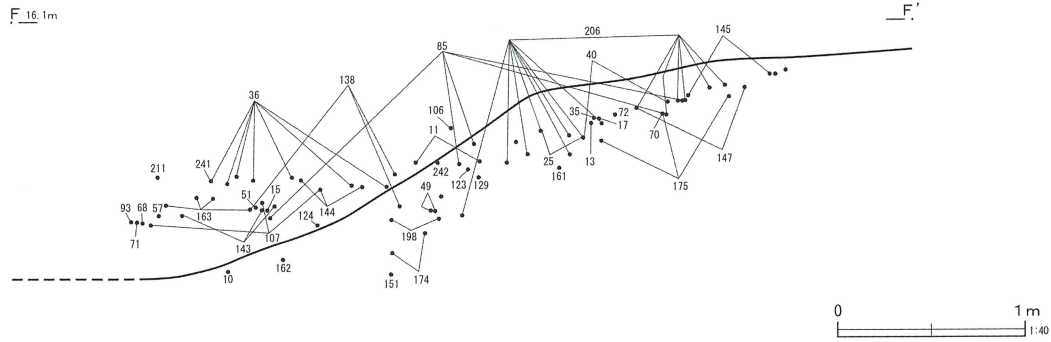
る。10～12は、口縁部外面に単節R L縄文が施される。10は、外面の輪積み痕が不明瞭である。13は、明瞭な輪積み痕を3段残し、縄文が施文されない。口縁端部に細かい刻み目を施す。14は、輪積みの下端を突帯状に巡らせる口縁部片である。15～18は、外面に単節R L縄文を施文する胴部片である。19・20は、外面に単節L R縄文を施文する胴部片である。23は折り返し口縁の壺口縁部片である。折り返し部の上・下端に刻み目が巡らされる。24は折り返し口縁の壺口縁部片である。外面に単節L R縄文が施文される。25は肩部片で、外面に羽状縄文が施される。赤彩が認められる。26は口縁部に刻み目が施され、赤彩が残る。摩滅のため不明瞭であるが、端部に単節R L縄文が施されていると思われる。



第385図 谷部南側遺物出土状況 (5)



第386图 谷部南侧遺物出土状況 (6)



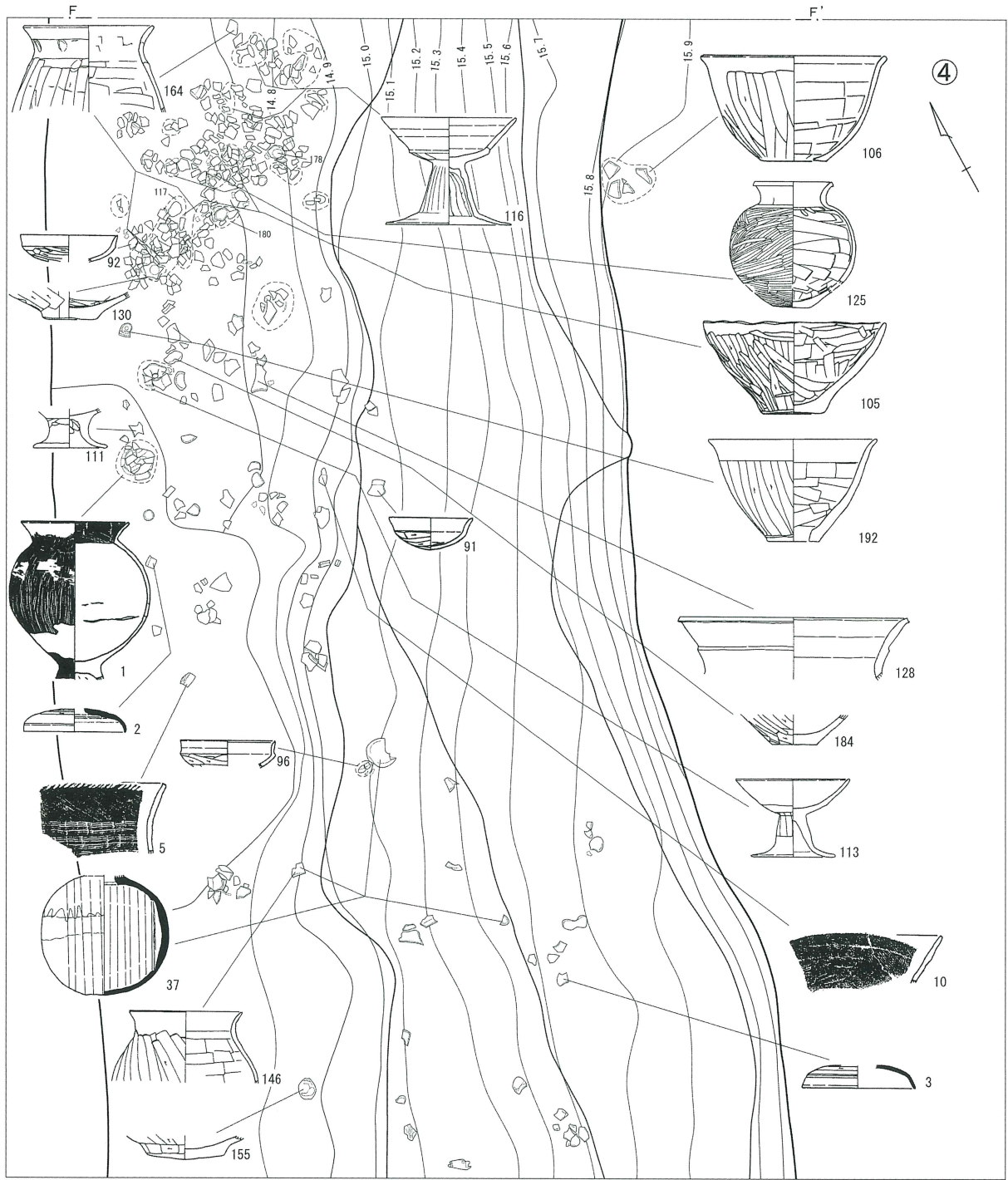
第387図 谷部南側遺物出土状況 (7)

第394～397図は、古墳時代後期の須恵器と平安時代の土師器・須恵器である。1～3は須恵器の蓋で、天井部は回転ヘラケズリを施す。1は南比企産、2は末野産と思われる。4～8は、須恵器の坏身である。4はほぼ完形で、焼成がやや甘く、褐灰色を呈している。7・8は末野産と考えられる。9～17は、須恵器の高坏である。9は低脚の脚部片で、三方向に長方形の透かしがあげられる。10は坏部片で、外面に櫛歯による列点文が施される。脚部との接合面から三方透かしであることがわかる。13は坏部片で、脚部との接合面から透かしは二方向である。14は胎土に片岩が含まれることから、末野産と考えられる。15は、坏部外面に櫛歯による列点文が施され、脚部には二段三方向の切り込みがみられる。切り込みは、鋭利な刃物により器肉の半分ほどまで細長く切り込みをいれ、貫通はしていない。末野産の可能性もある。17は長脚の脚部をもち、長方形の透かしが二段三方向にあげられる。18は須恵器の甕で、注口部分が欠損している。胴部中位に列点文が巡る。19～21・23は、須恵器の壺である。20・21は、末野産と考えられる。19は、胴部外面の中位2段に浅い沈線を巡らし、間に列点文を施している。21は胴部破片で、波状文が2段認められる。23は大型壺の破片で、胴部外面はナデ、内面には青海波文が残る。22・24～34は、須恵器の甕である。22は、胎土に白色針状物質が含まれていることから、南比企産である。24は大型甕の口縁部片で、外面には三段の波状文が施

される。25は、胴部下半に歪みがあり、底部には須恵器甕胴部片の焼き台が付着している。外面は平行叩き、内面には青海波文を全面に施す。26～28は、須恵器甕の口縁部片である。27は、外面に三段の波状文が残る。29・30は須恵器甕の頸部片で、外面に波状文が施される。31～34は、須恵器甕の胴部片である。34は、末野産と考えられる。35・36は、須恵器の短頸壺である。2点とも胴部下半外面は回転ヘラケズリが施される。37は須恵器壺の胴部片で、外面の上半に自然釉が付着する。38～40は、須恵器の挿り鉢である。

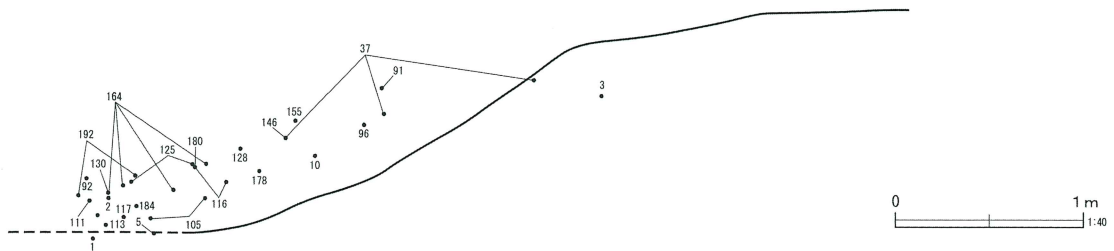
41～46が、平安時代の遺物である。全て0-45・46グリッドから出土している。41～43は須恵器の坏、44は高台付塊である。4点とも酸化焰焼成で、底部に回転糸切り痕を残す。41の胎土には白色針状物質が含まれる。45は、土師器甕の底部片である。底部付近には直径1cmの円孔が2箇所あげられる。46は、土師器の羽釜である。

第398～411図206までは、古墳時代後期の土師器である。47～98は、坏である。51・55・56・59～67・71～85・91・97が模倣坏、87～90が身模倣坏、57・58・68～70・86が有段口縁坏、52・54・92～96が比企型坏である。赤彩は50・52～54・60・64・85・91～96に、黒色処理は57・68・70・87・89・90に施される。47は、体部外面に指頭圧痕が認められる。63・64は、内外面に細かいヘラミガキが施される。93の底面には、木葉痕が確認できる。98は、底部を



F 16.8m

F'



第388図 谷部南側遺物出土状況 (8)

削り残したものである。99・100は、小型の鉢である。101・102は、埴である。103～107は、中～大型の鉢である。104は甑の可能性ある。108～119は、高坏である。108・110・112は、胎土に白色針状物質を含んでいる。112は、長い脚部をもち、外面と坏部内面に赤彩が施される。器壁はやや厚目である。生活雑器としてではなく、祭祀用として使用されたものと考えられる。113～119は坏部が大きく開く高坏で、113・115・117・119には赤彩が施される。114は浅い皿状の坏部をもち、放射状のヘラミガキが施される。120は、口縁部の長い壺である。121～125は、小型壺である。121は、胴部上半に小さい孔があげられている。須恵器臚を模倣したものと思われる。122は、外面と口縁部内面に赤彩が施される。126～137は、壺である。127・130・134には、胎土に白色針状物質が含まれる。126は複合口縁で、内外面とも丁寧なヘラミガキにより調整される。127～129は、横ナデにより中位に稜をもつ口縁部片で、128は外面に赤彩が施される。132は、底面に木葉痕が認められる。137は大型壺の胴部片で、外面に赤彩が施される。胴部に対し、底部が小さくなることから、台が付く可能性も考えられる。138・139・142～146は、小型の甕である。139・142の胎土には、白色針状物質が含まれている。140・141は、小型の台付甕である。140は、内外面に煤が付着する。147～189は甕で、147～163は胴部が球形を呈する丸甕で、164～189は胴部が長胴化した長甕である。164・187の2点は、胎土に白色針状物質を含む。160は、口縁部内外面と胴部外面の一部にハケ目調整が認められる。丸甕については、器面に煤が付着するものは僅かである。長甕については、内外面に煤が付着するものが多くみられる。175・188・189の底面には木葉痕が残る。190～206は、甑である。鉢形をしたやや小型のものと長胴で大型のものがある。大型のものは側面に取っ手が付くものが多く認められる。199・202は、取っ手部が左右対称ではなく、ややずれた位置に取り付いている。197・201は、ヘラケズリの後、縦方向の長いヘラミ

ガキを施す。

第411図207～211・213・214・216は、平安時代の内黒土器、灰釉陶器、緑釉陶器である。

207は、内黒土器の高台付埴である。内面には丁寧なヘラミガキを施す。

208～211は、灰釉陶器である。208は高台付埴で、底面には「西」の墨書が認められる。209は埴の口縁部片で、施釉方法は浸け掛けである。210は高台付埴の底部片で、施釉方法は浸け掛けである。211は長頸瓶の破片である。施釉は刷毛塗りで、灰オリーブ色を呈する。

213・214・216は、緑釉陶器である。213は皿の口縁部片で、釉はオリーブ黒色を呈する。内面には丁寧なヘラミガキが施される。214・216は、埴である。

第411図212・215は、中世の遺物である。中世の遺構が多く検出されたにも関わらず、谷部南側から出土した遺物で図示できたのは2点だけであった。

212は、瀬戸の緑釉小皿の口縁部片である。215は、瀬戸の埴である。

第411図217～第412図244は、石製品、鉄製品、土製品である。白玉や石製模造品はP-42・43グリッドに集中しており、古墳時代後期の土師器や須恵器も大量に出土していることから、水に関する祭祀が行われた可能性も考えられる。

216～225は、白玉である。全て滑石製である。

226～236は、滑石製の模造品である。226・228～230が有孔円板、227・231・236は剣形品、232～235は不明品である。232～235は円孔が1～2箇所あけられているが、形状は不整形で、何を模したのかは不明である。236は大型の剣形模造品で、両面に鏝を表現したと思われる弱い稜が認められる。側面の刃部は丁寧に鋭角に研磨されている。円孔は直径2mmの小さいものが1箇所にあけられる。

237は、金銅製の耳環である。

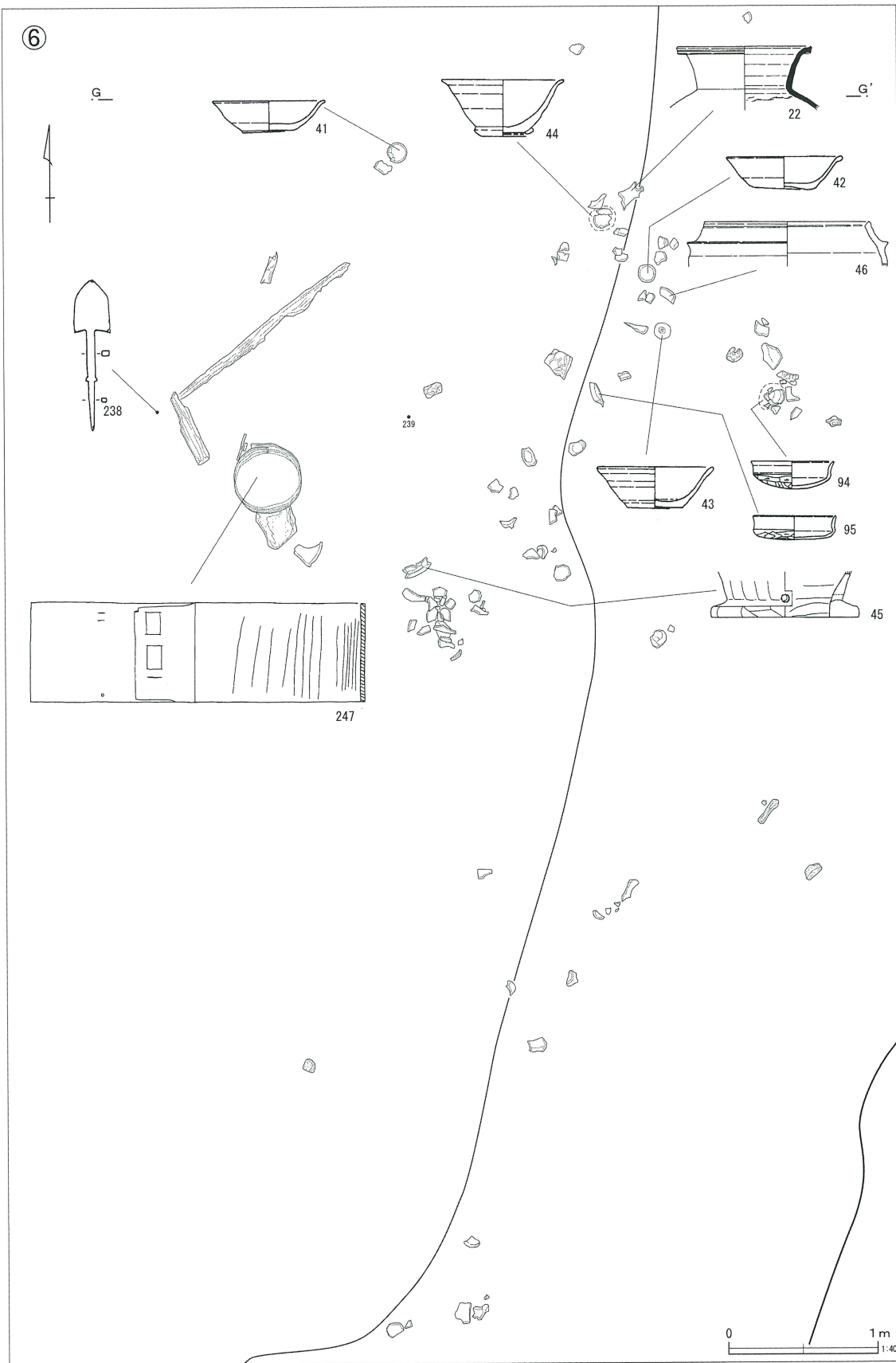
238は、長頸棘篋被両丸造五角形式の鉄鏃である。

239は、中央部がやや膨らんだ土錘である。

240は、石製紡錘車の破片である。

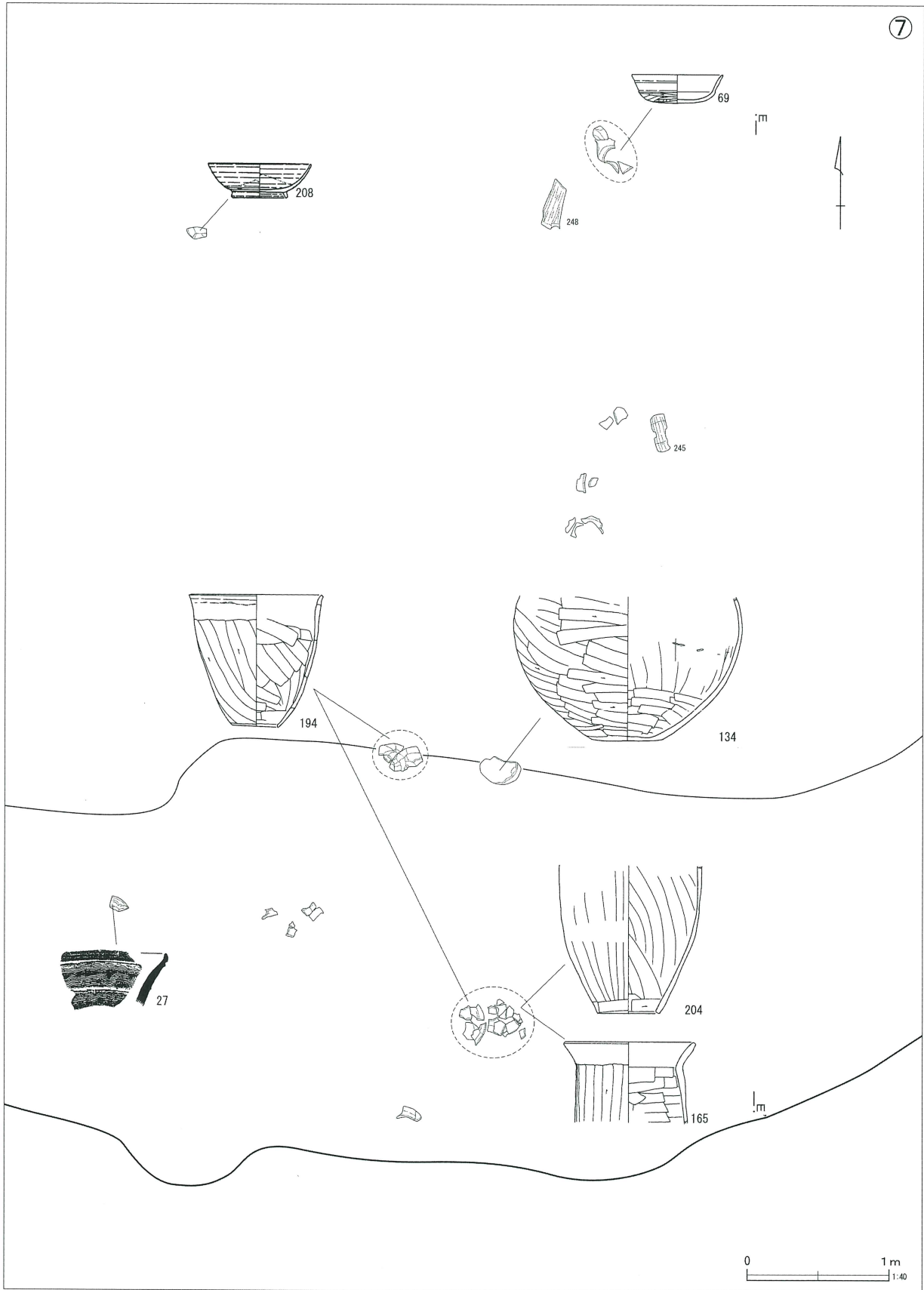


第389図 谷部南側遺物出土状況 (9)



第390図 谷部南側遺物出土状況 (10)

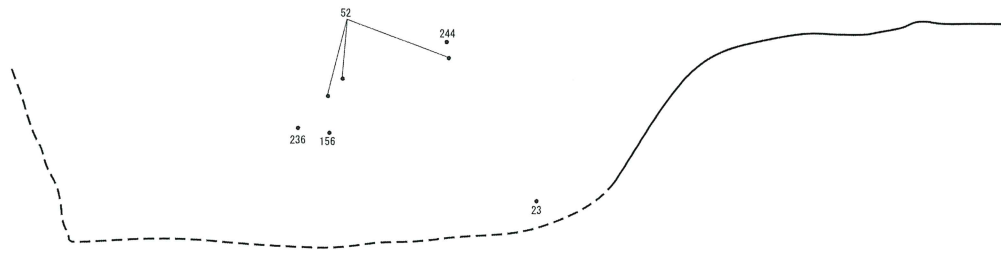
⑦



第391図 谷部南側遺物出土状況 (11)

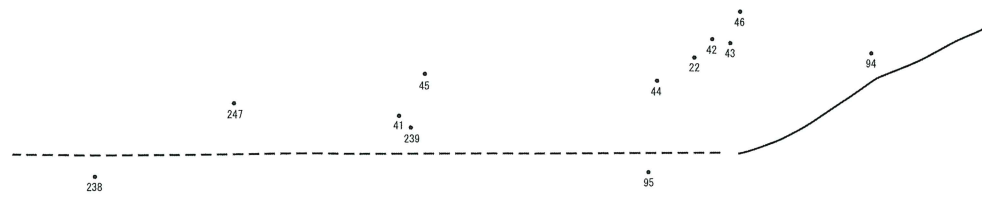
D'' 16.1m

D'''



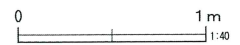
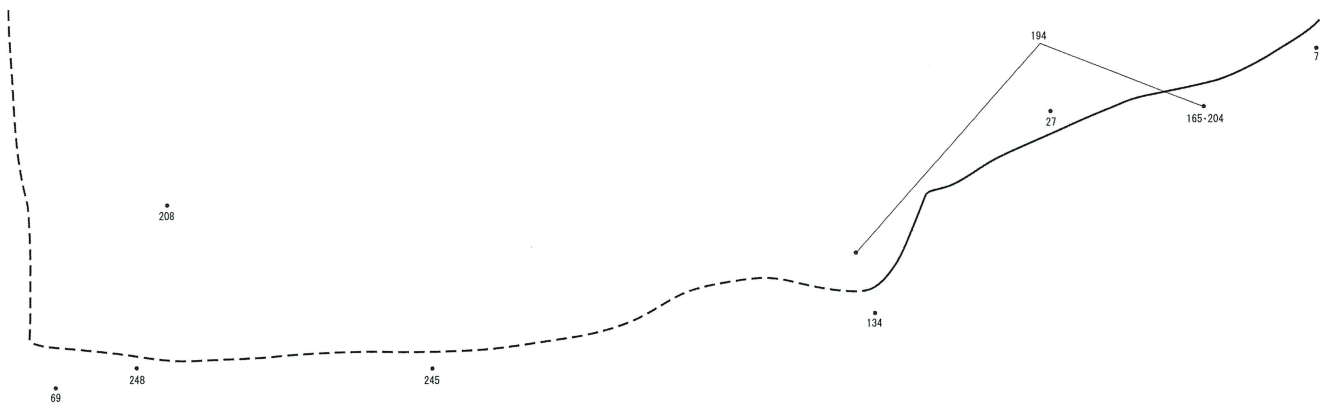
G 16.1m

G'

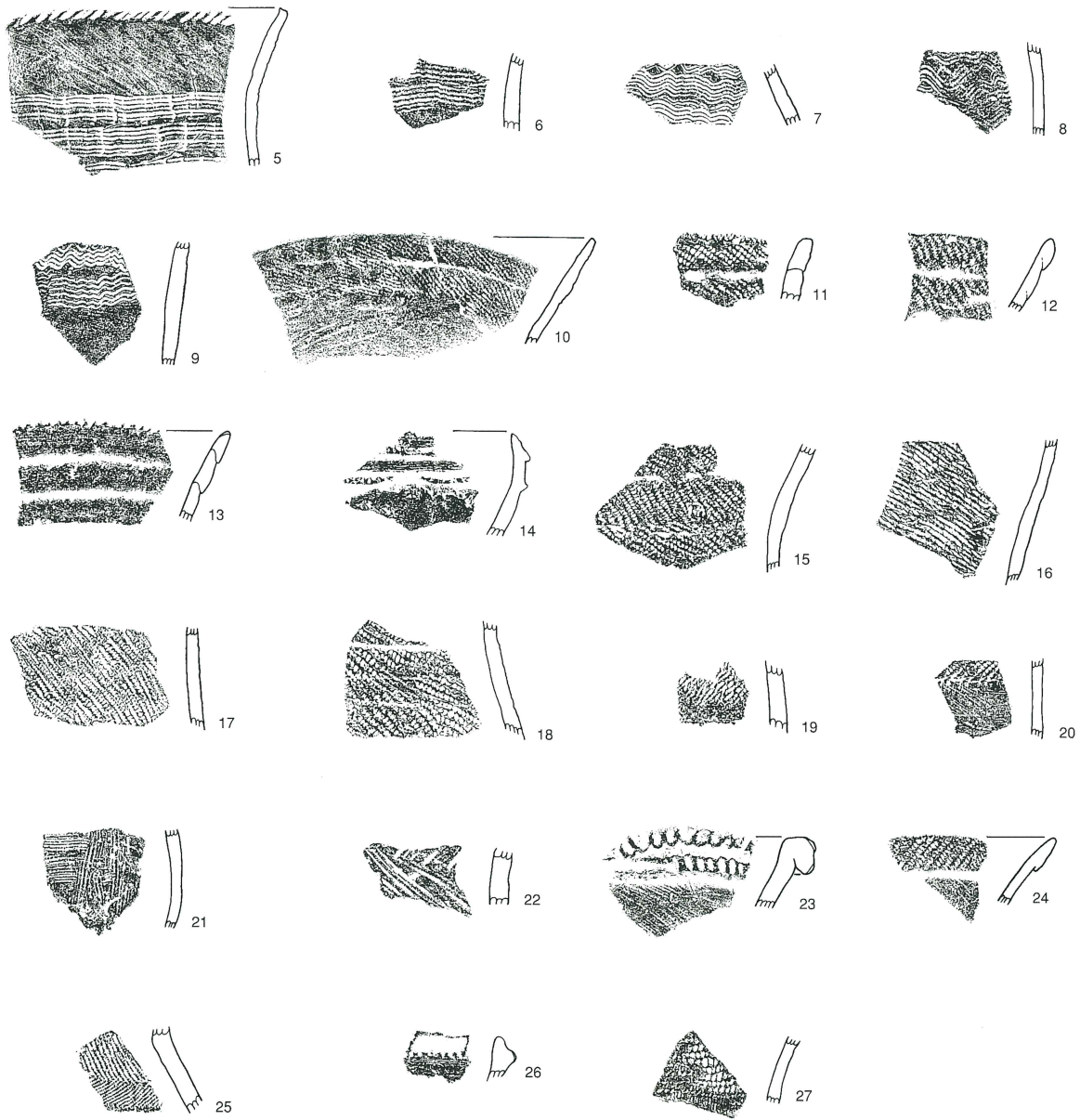
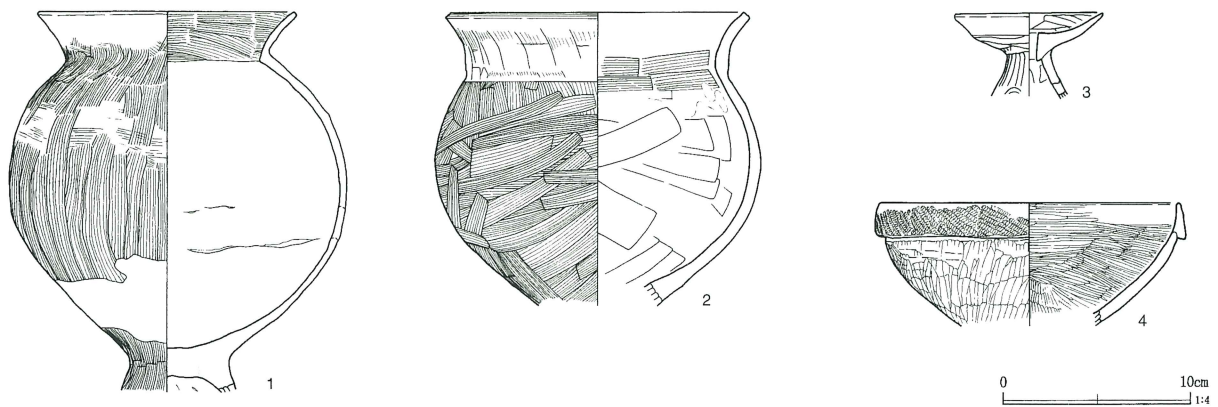


E 16.1m

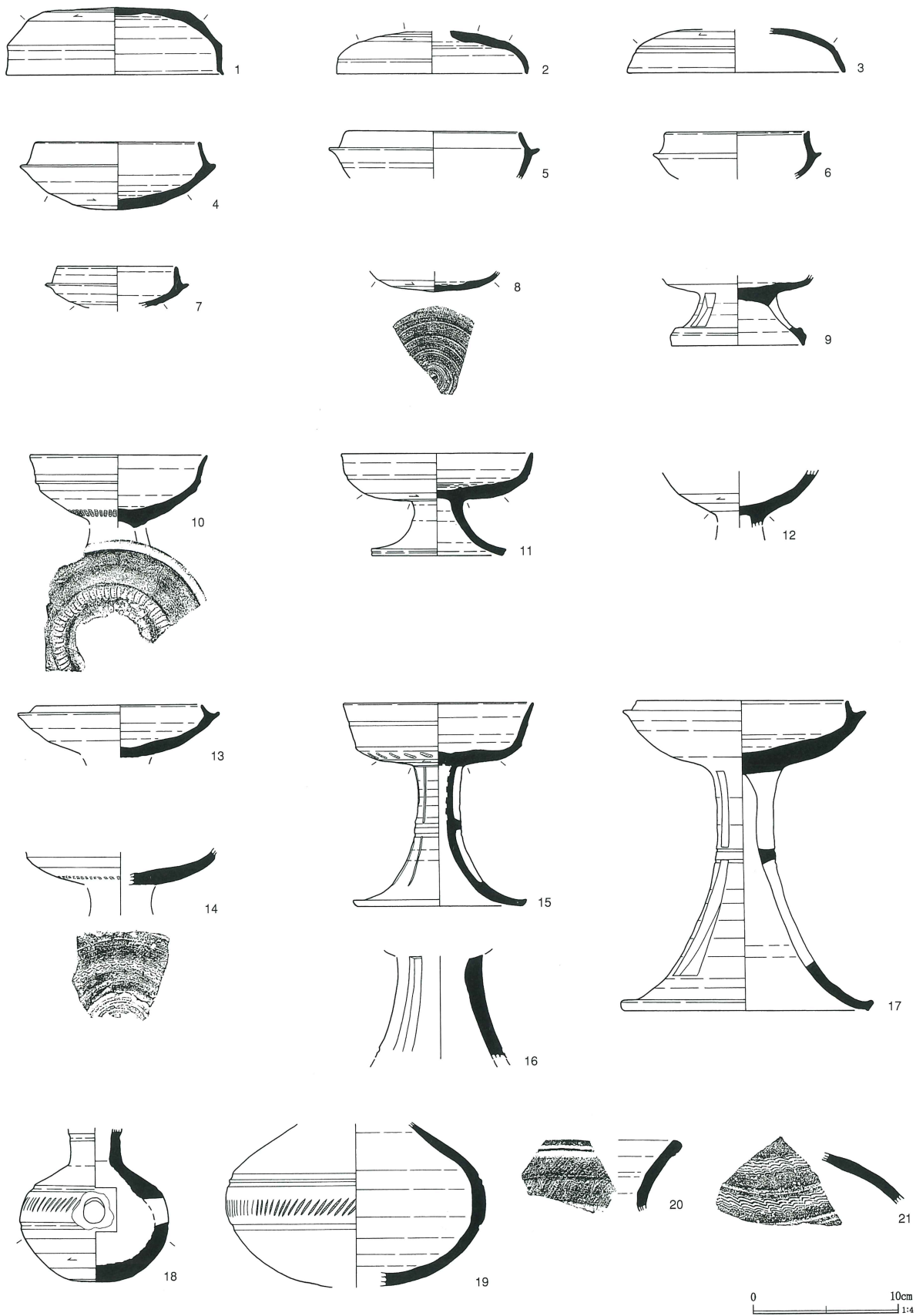
E'



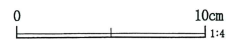
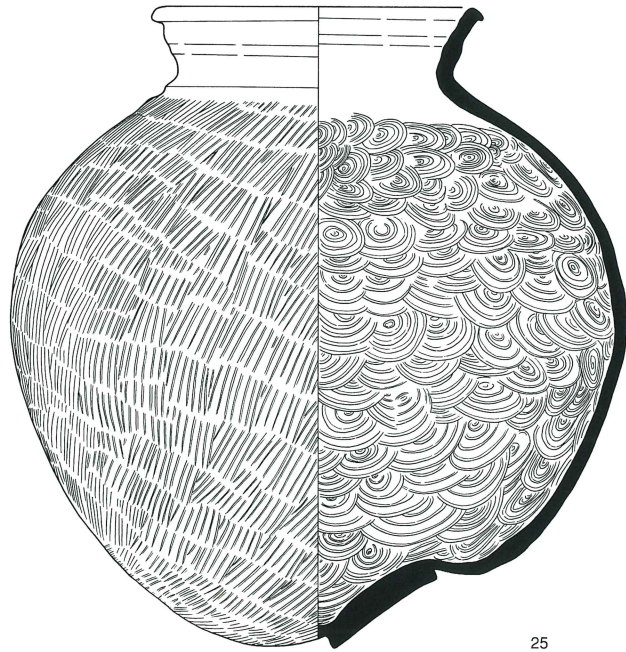
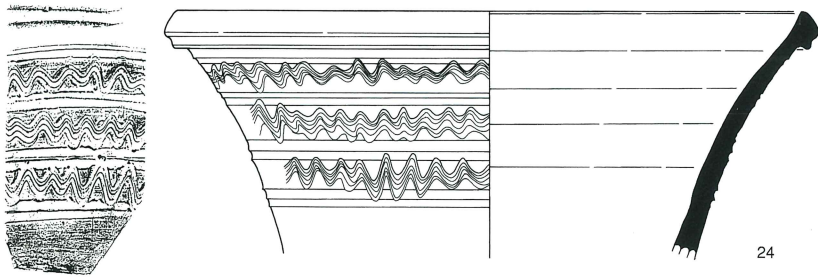
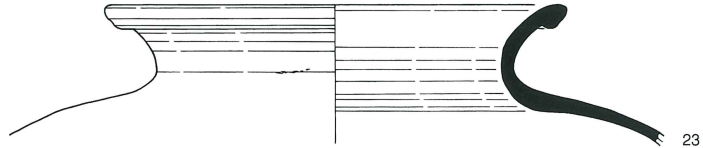
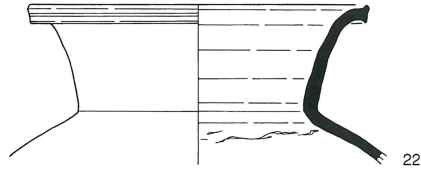
第392図 谷部南側遺物出土状況 (12)



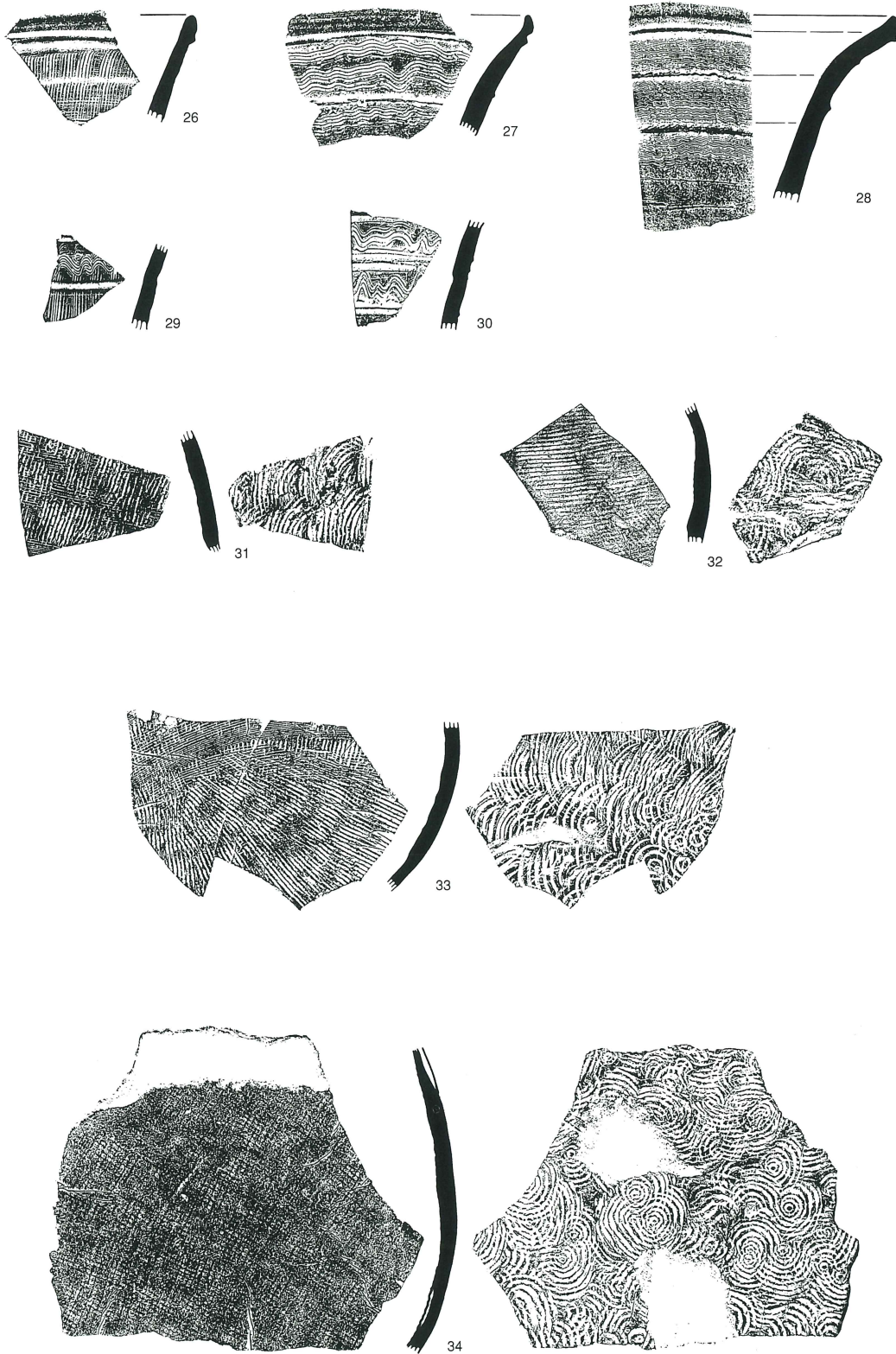
第393図 谷部南側出土遺物 (1)



第394図 谷部南側出土遺物 (2)

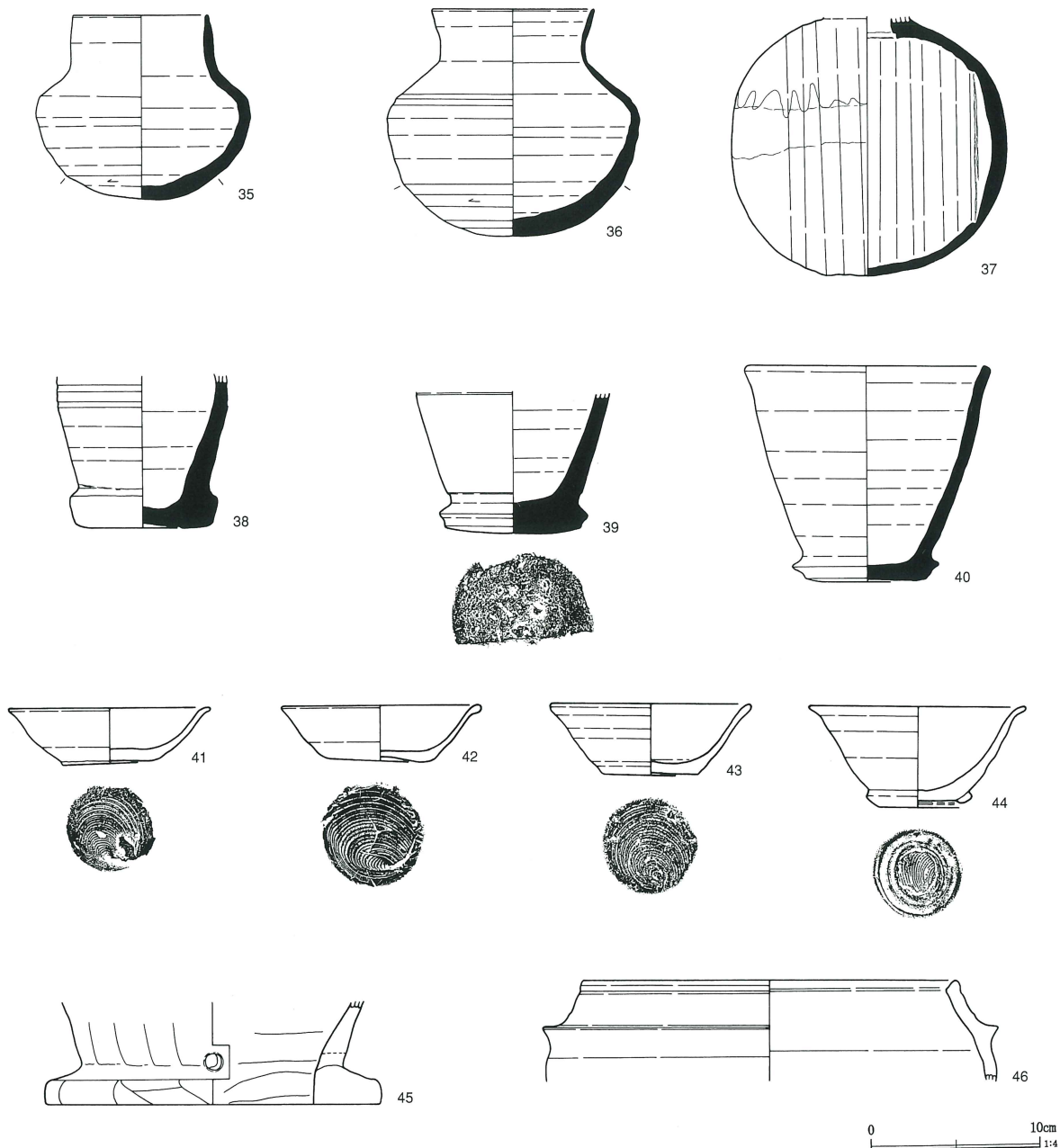


第395図 谷部南側出土遺物 (3)



0 10cm
1:4

第396図 谷部南側出土遺物 (4)

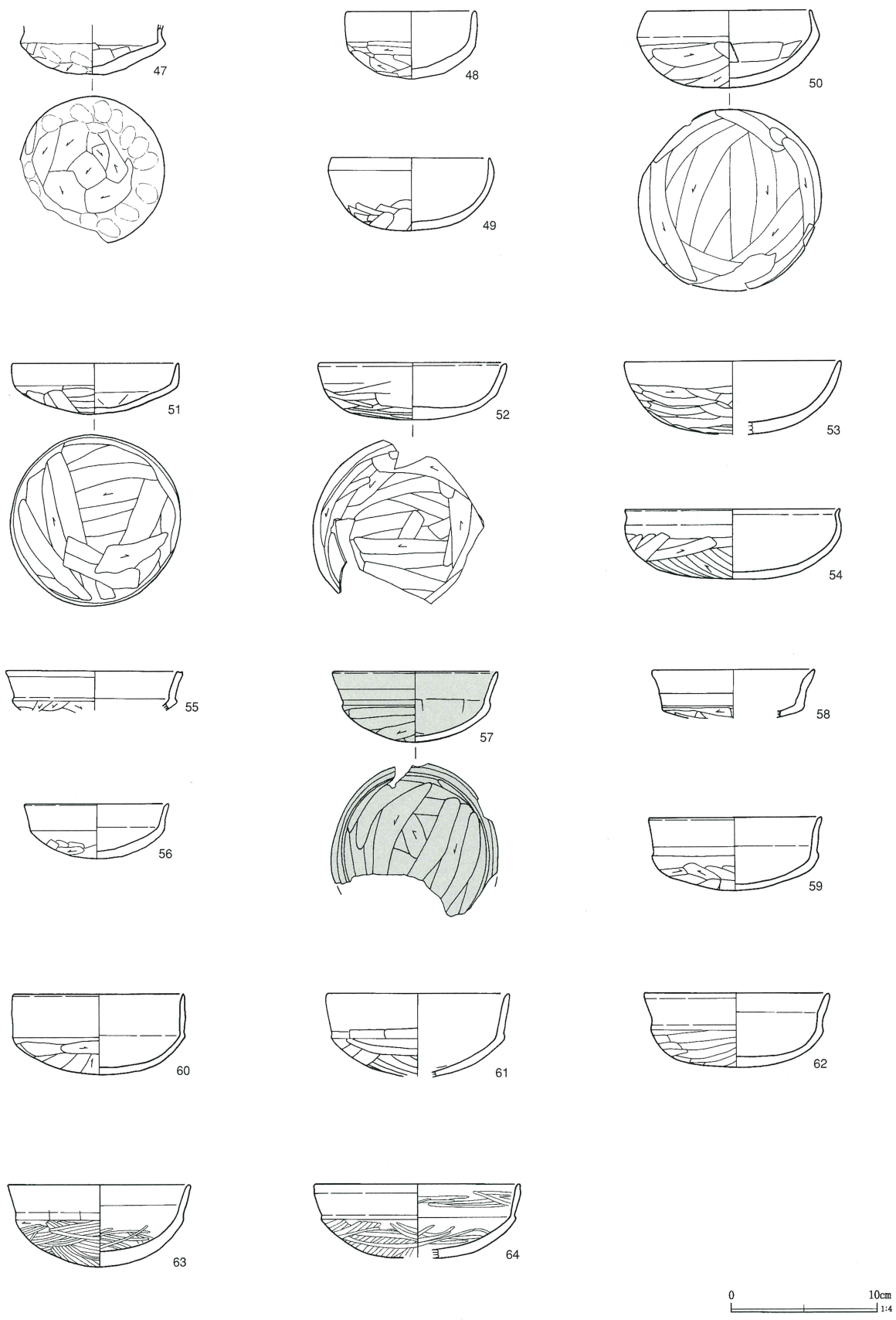


第397図 谷部南側出土遺物 (5)

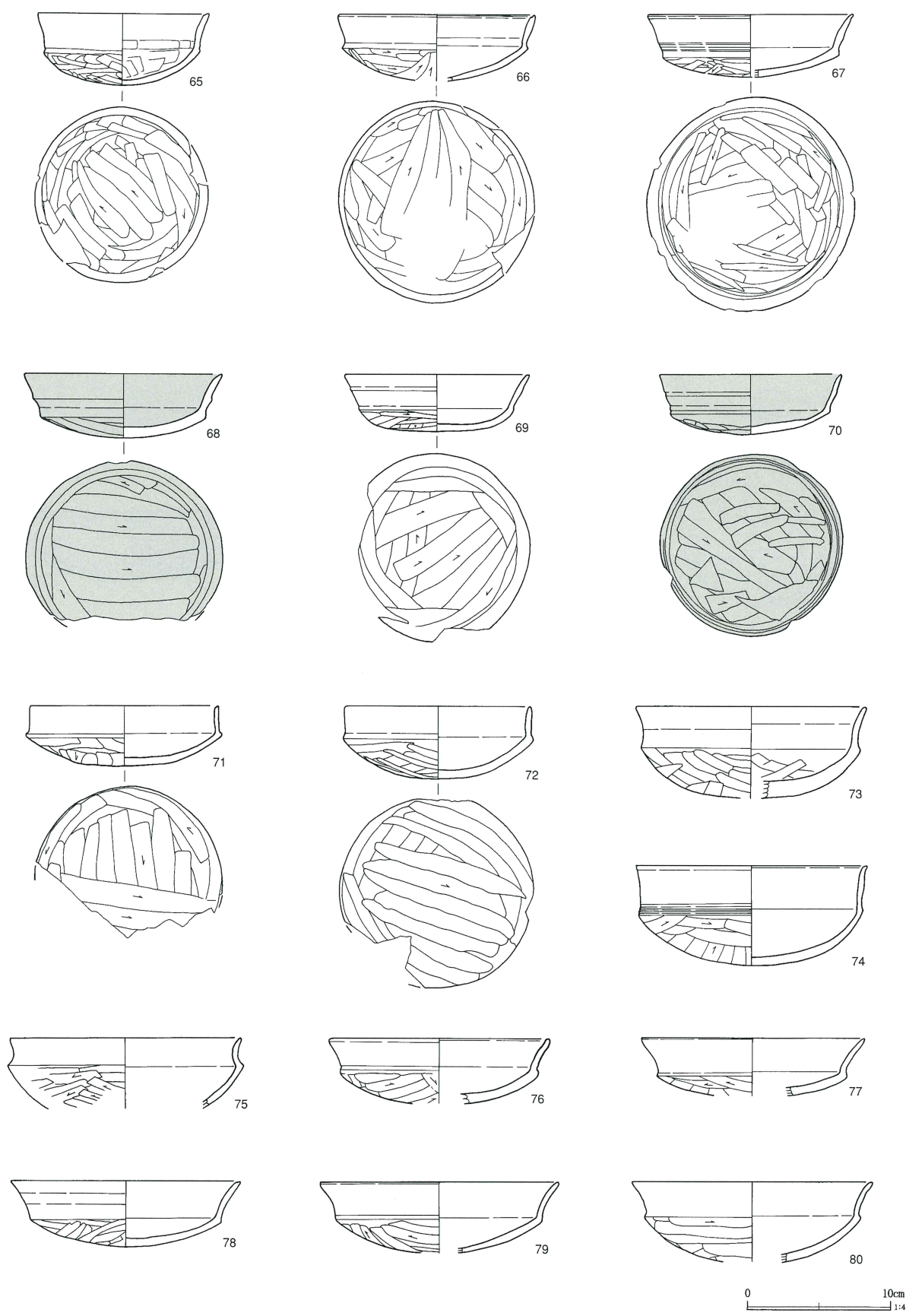
241・242は、紡錘車の未製品である。241は、粗割りの後に面取りを行った段階のものである。242は、粗割り段階のもので、一部面取り状に整形が加えられている。石材は、片岩である。下田町遺跡では玉造に関する遺構は検出されなかったが、これまでに未製品が数点検出されていることから、紡錘車を含めた石製品、石製模造品の製作工房が存在した可能性は高い。

243・244は、砥石である。

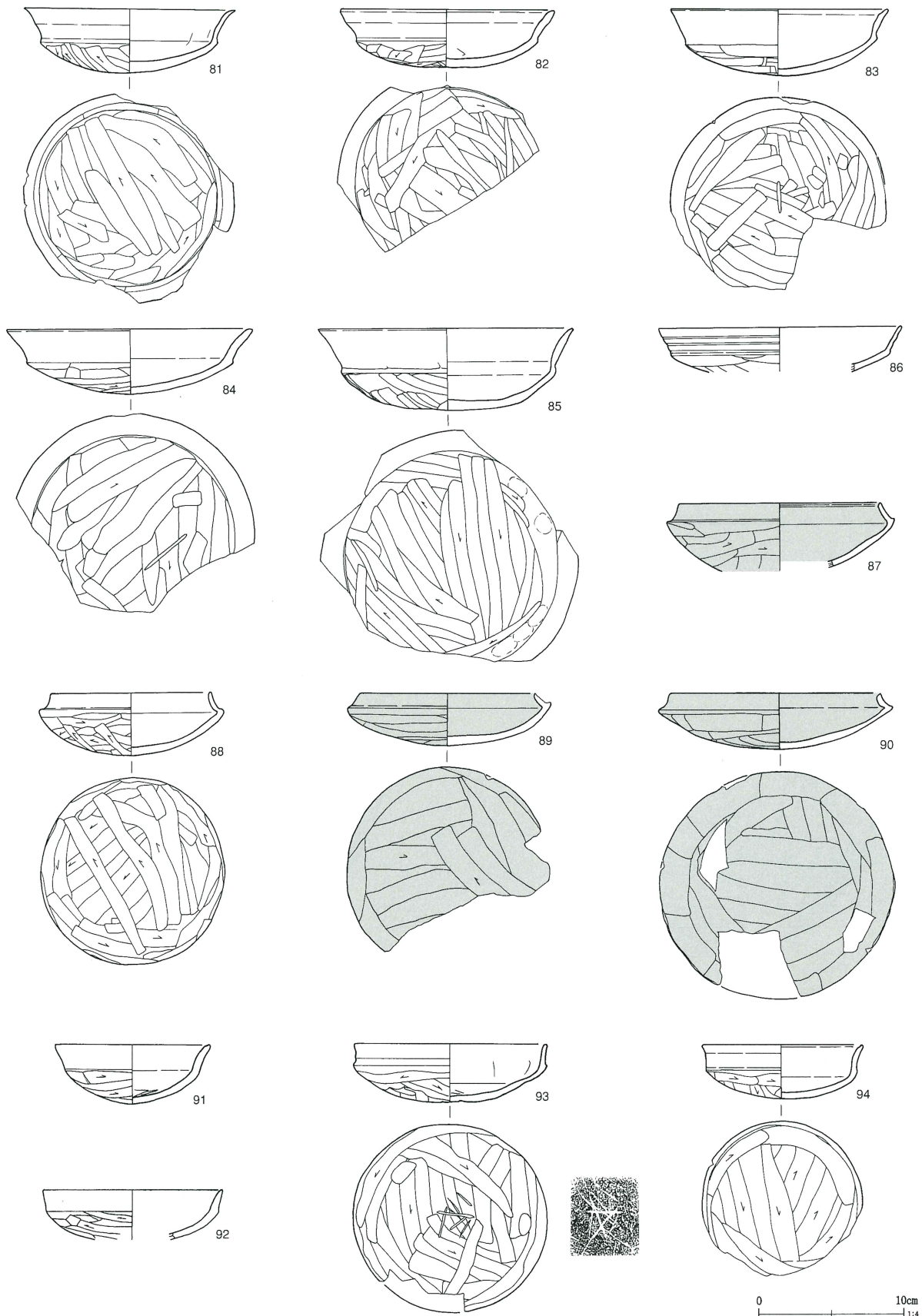
第413・414図は、木製品である。周辺で出土した土器から、時期は平安時代である可能性が高い。245は、田下駄である。前壺はやや左よりで、右足用と考えられる。246は、一端に円孔がつけられる台材である。247は曲物側板で、樹皮紐1列で綴じる。内面一部にケビキを引く。底板とは木釘で固定したと考えられる。上部の樹皮紐は籠をとめた痕跡の可能性もある。248は、建築材である。249は、中央部に杓穴が2箇所つけられた板材である。



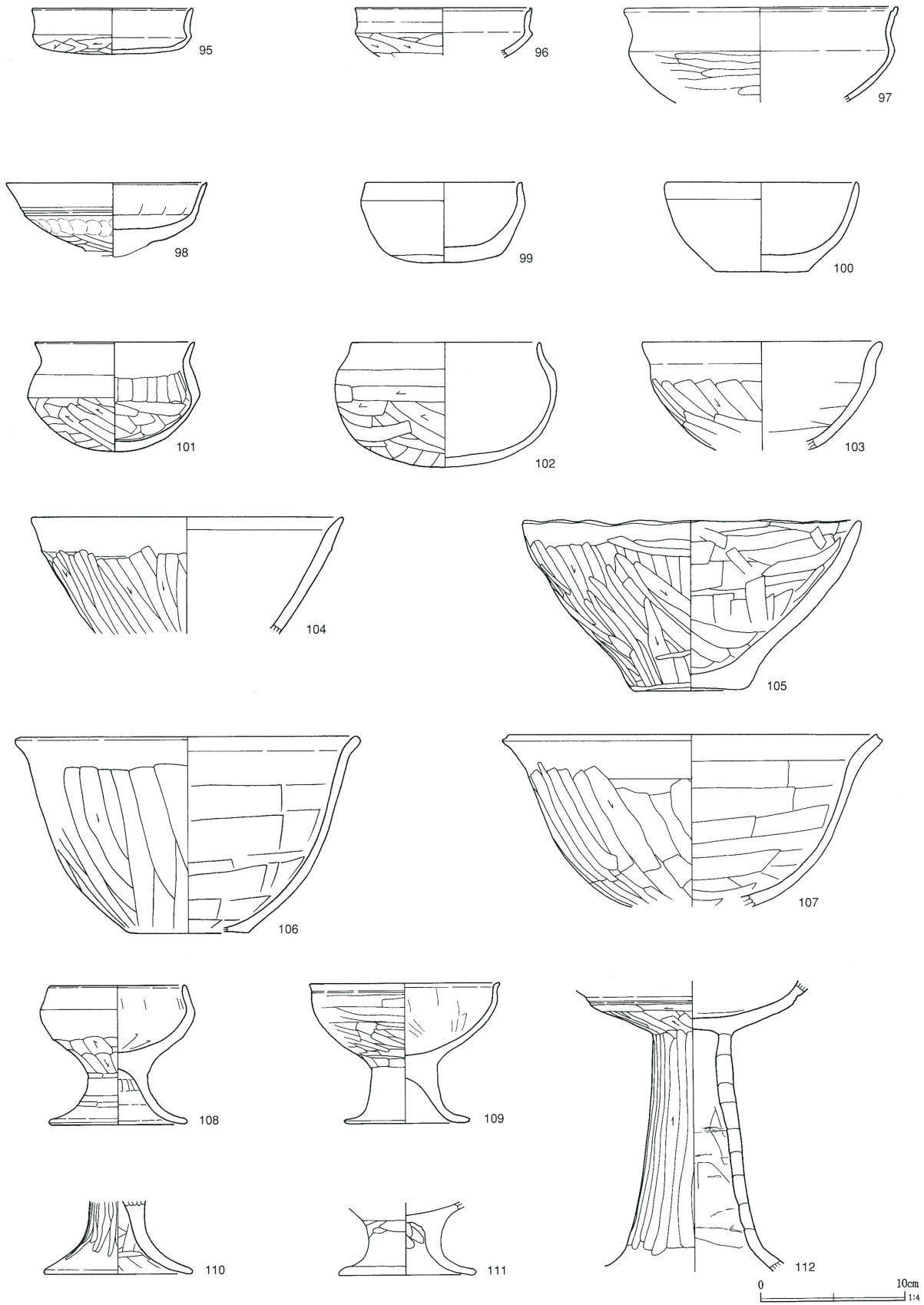
第398図 谷部南側出土遺物 (6)



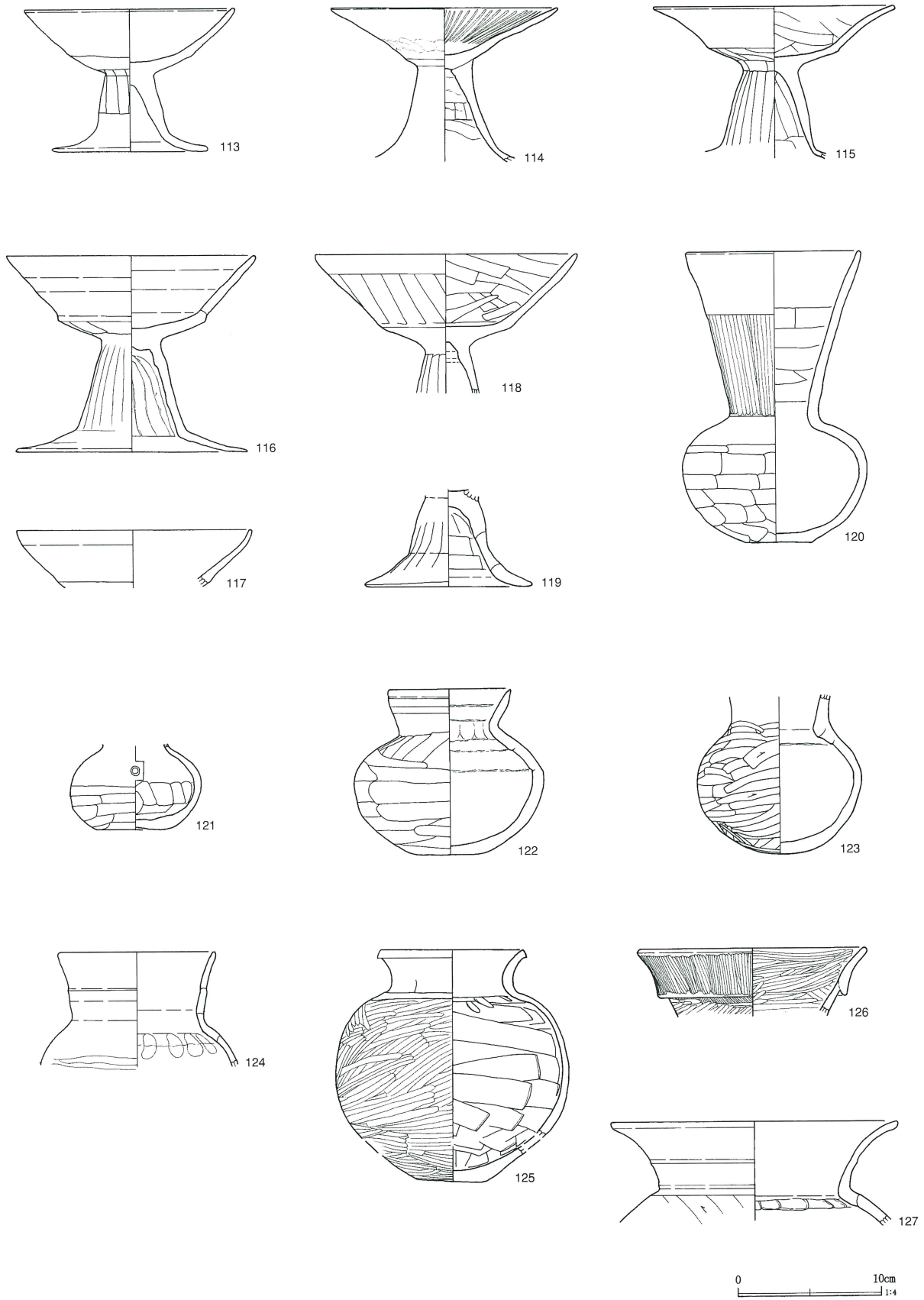
第399図 谷部南側出土遺物 (7)



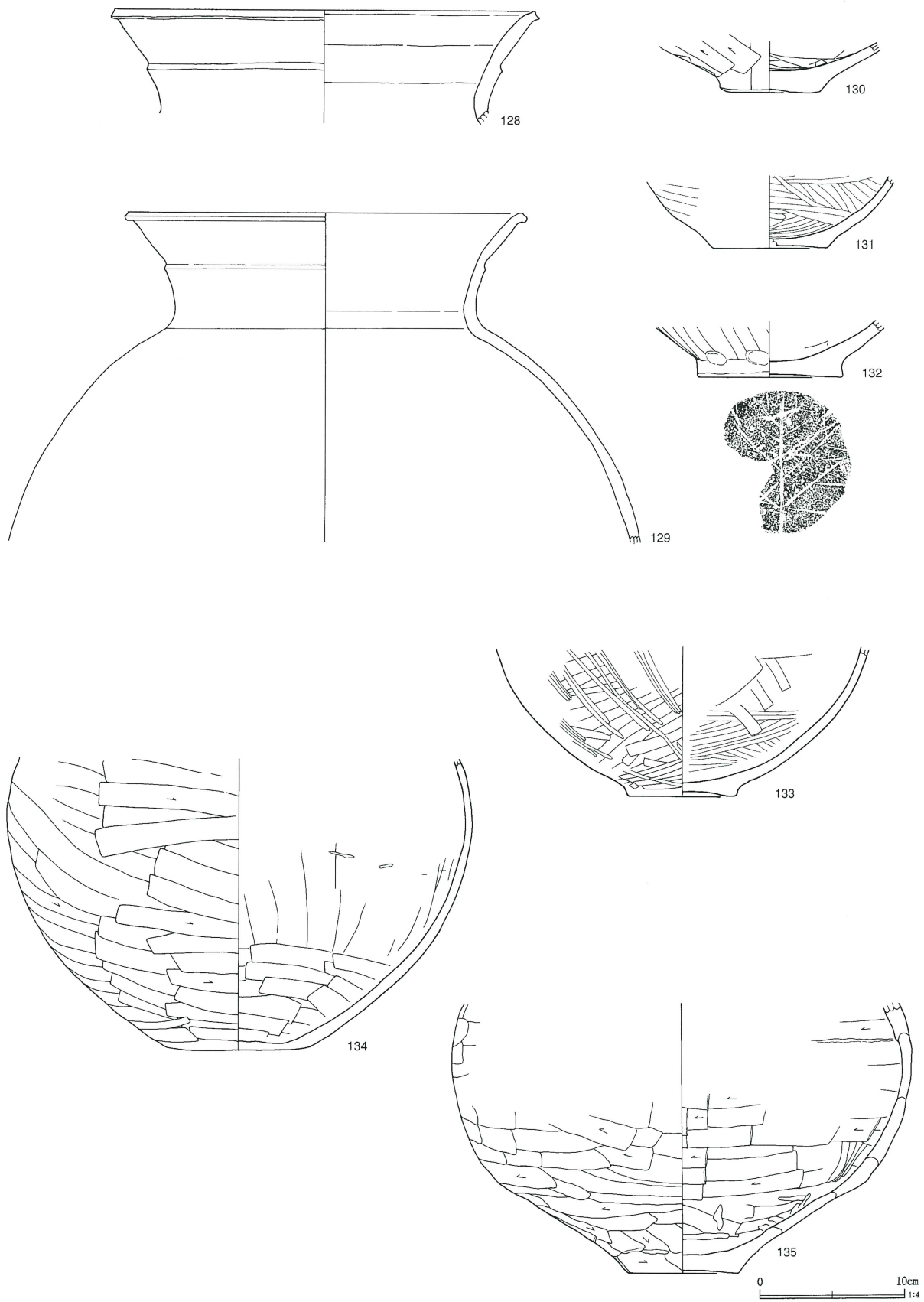
第400図 谷部南側出土遺物 (8)



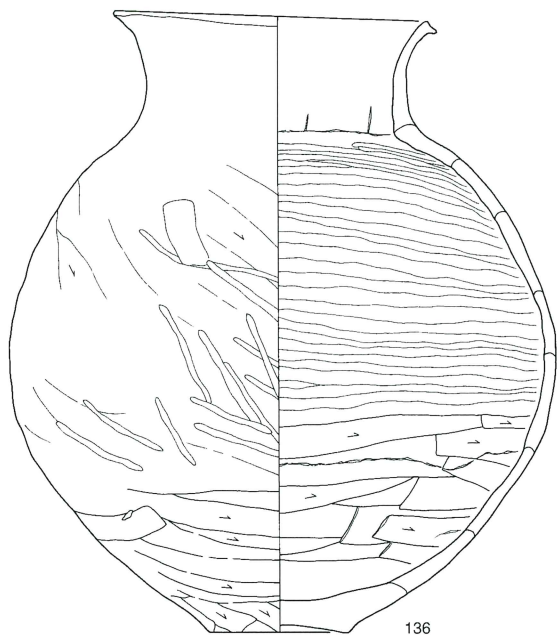
第401図 谷部南側出土遺物 (9)



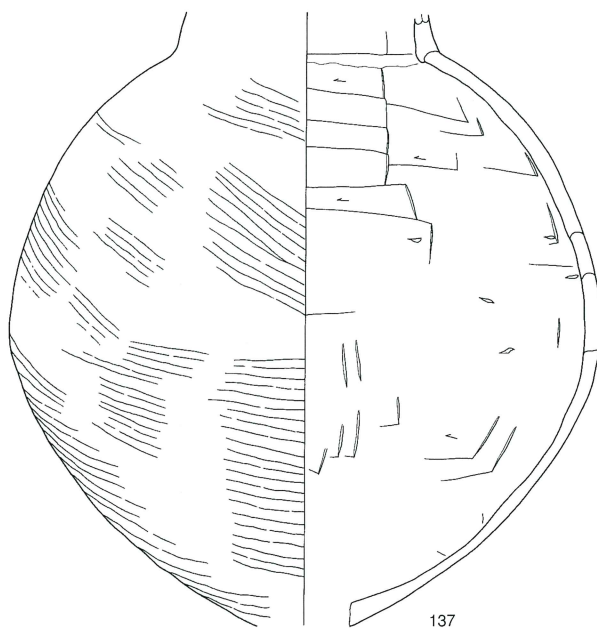
第402図 谷部南側出土遺物 (10)



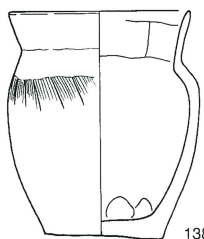
第403図 谷部南側出土遺物 (11)



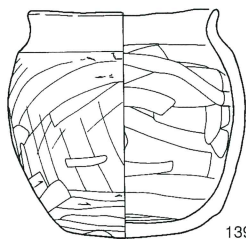
136



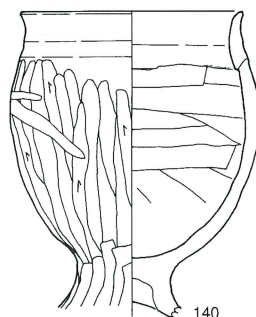
137



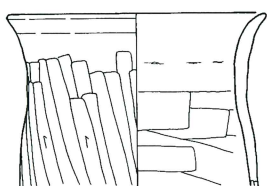
138



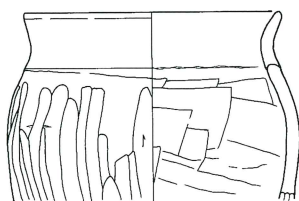
139



140



142



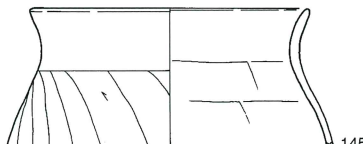
143



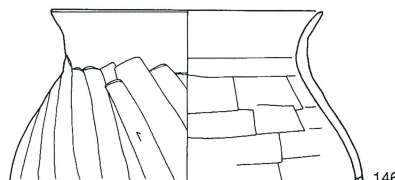
141



144



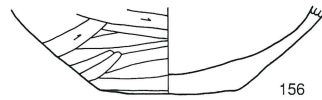
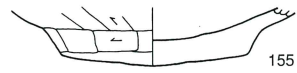
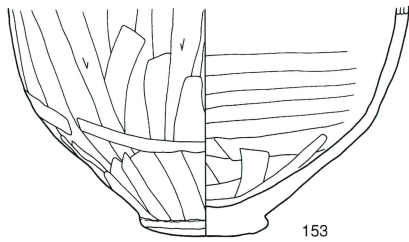
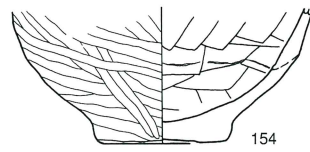
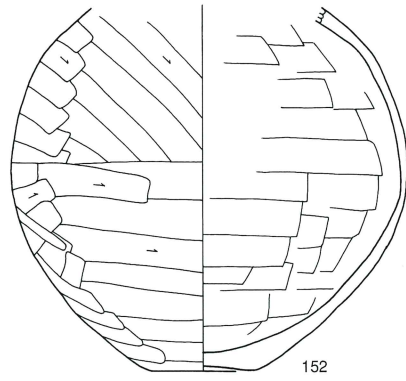
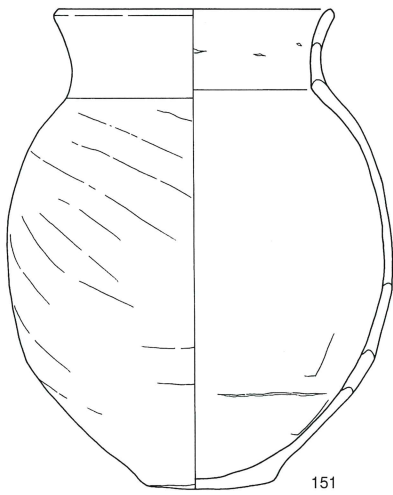
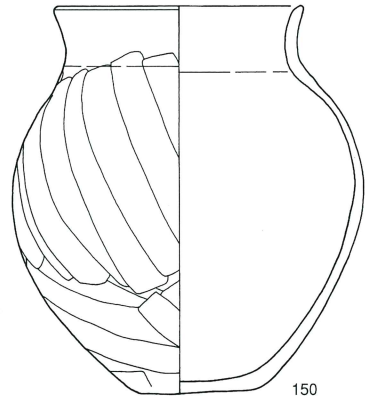
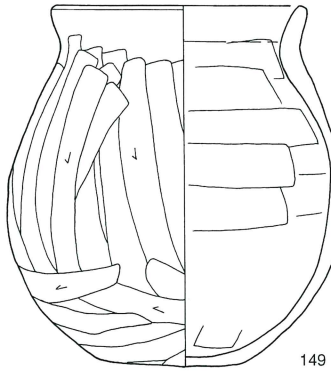
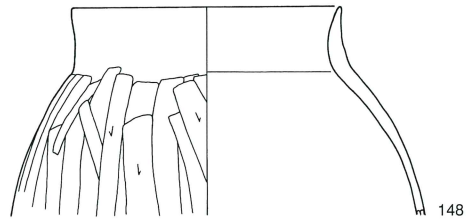
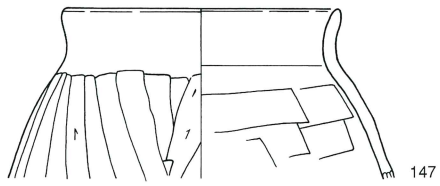
145



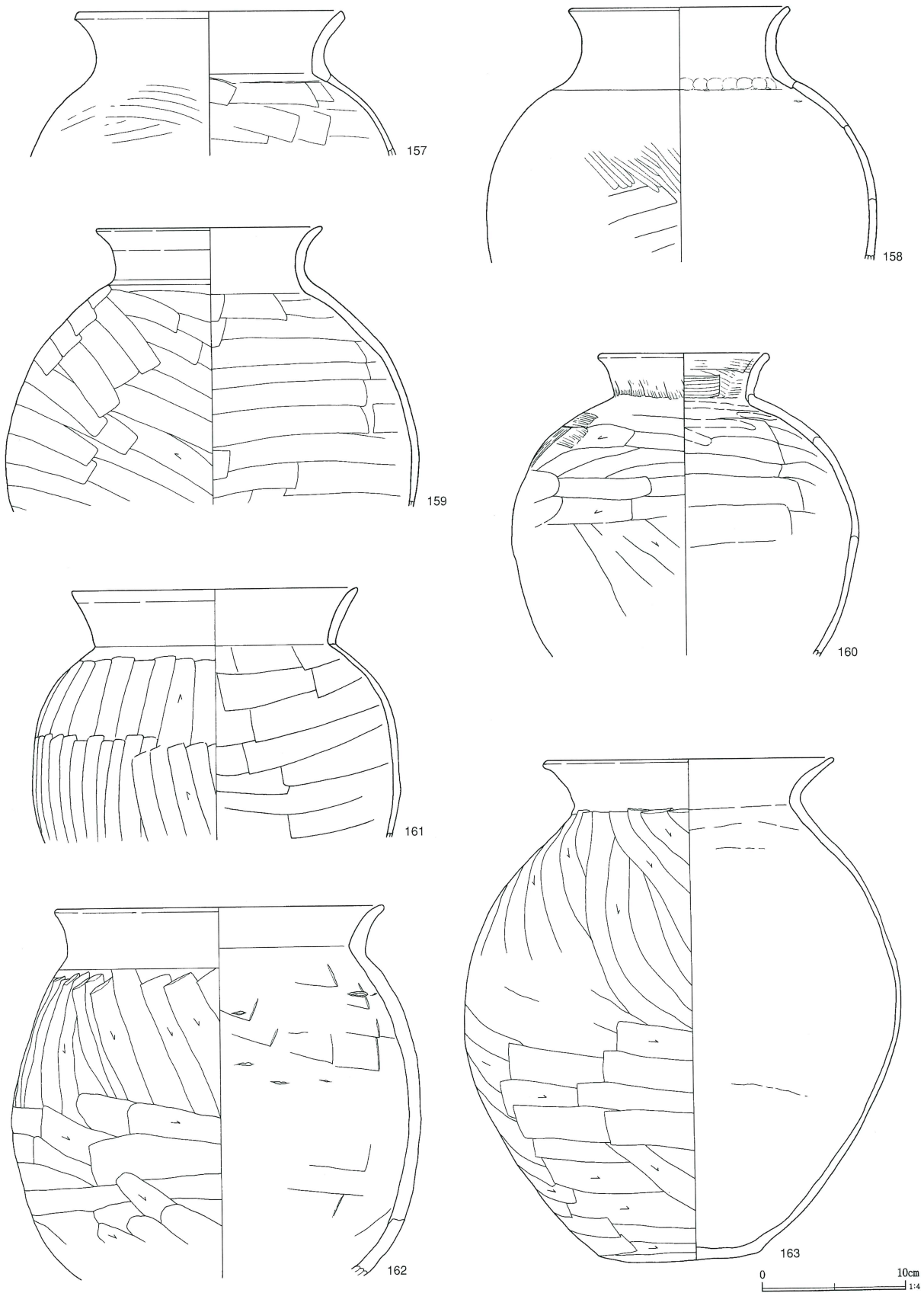
146



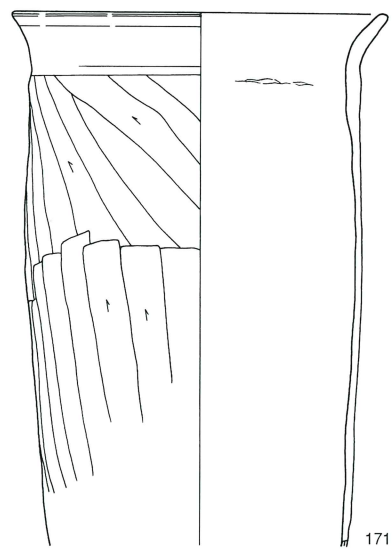
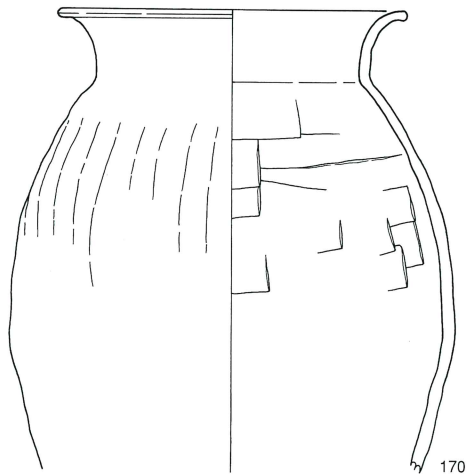
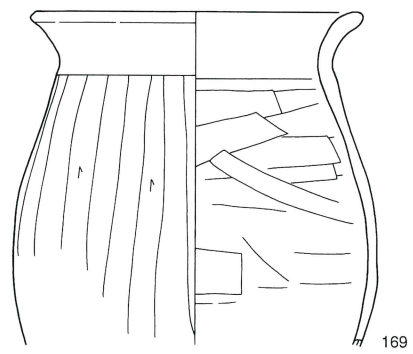
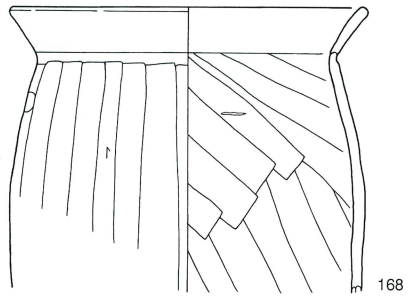
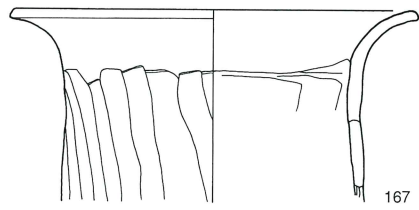
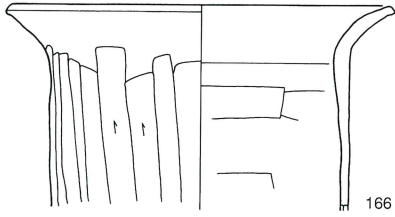
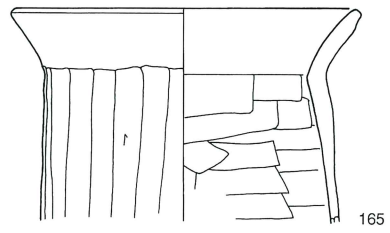
第404図 谷部南側出土遺物 (12)



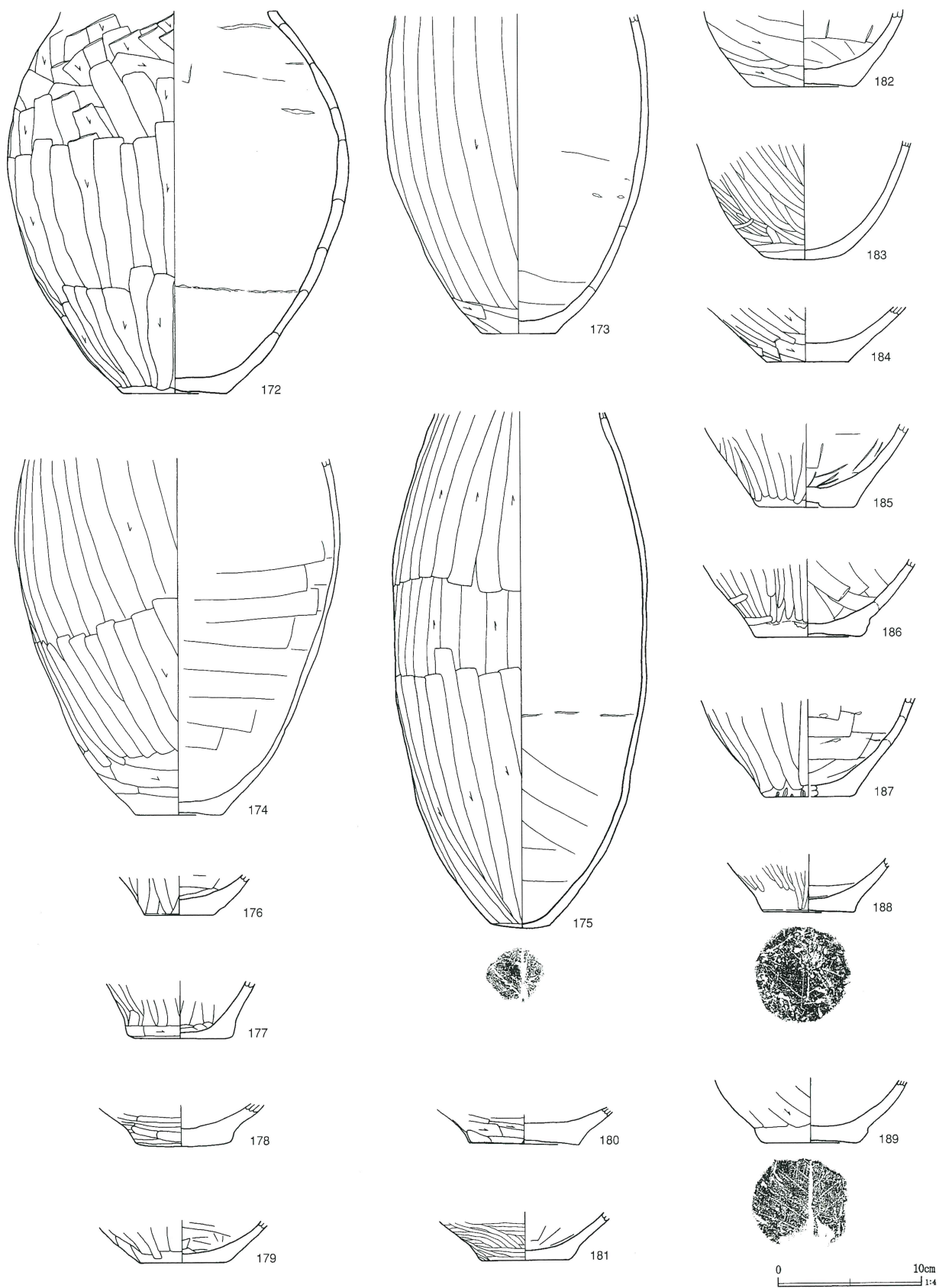
第405図 谷部南側出土遺物 (13)



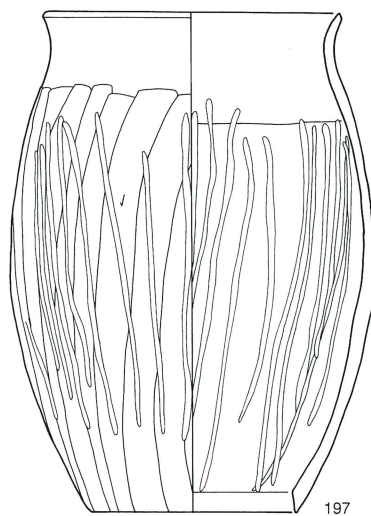
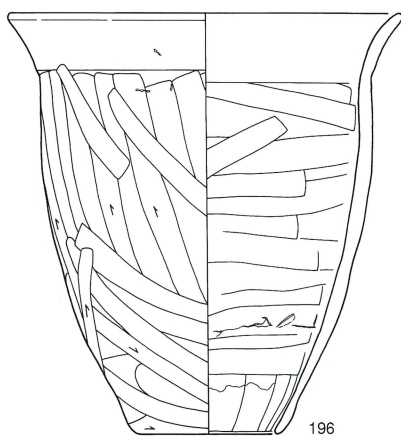
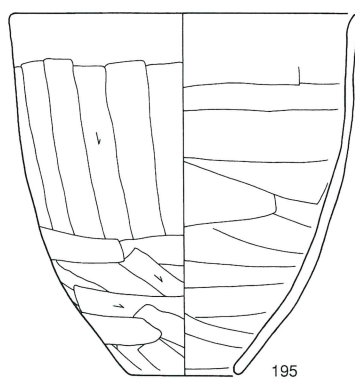
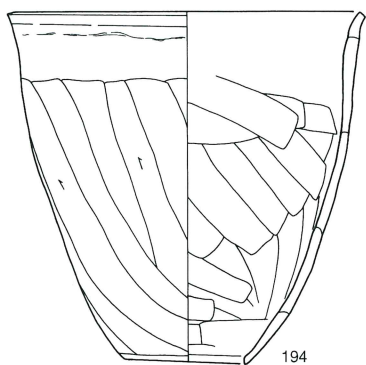
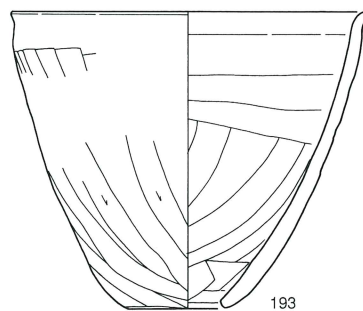
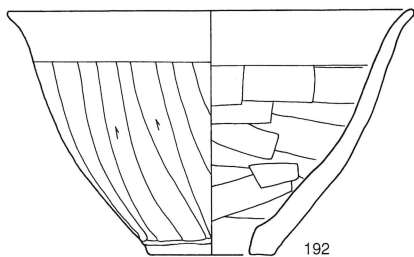
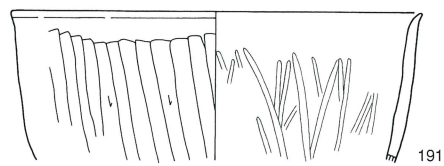
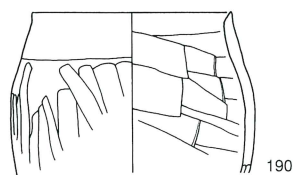
第406図 谷部南側出土遺物 (14)



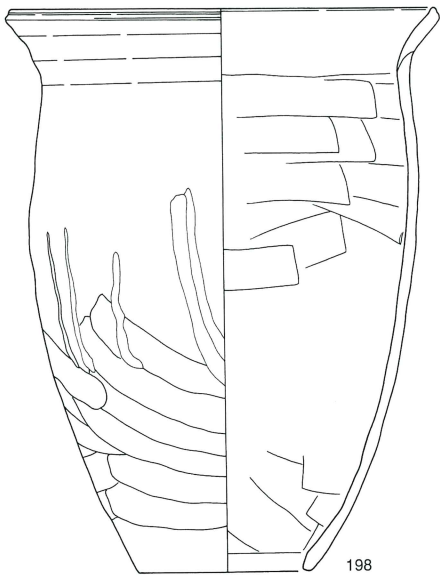
第407图 谷部南侧出土遺物 (15)



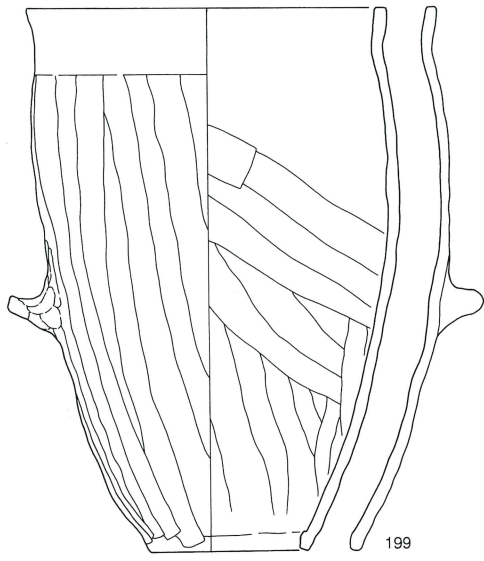
第408図 谷部南側出土遺物 (16)



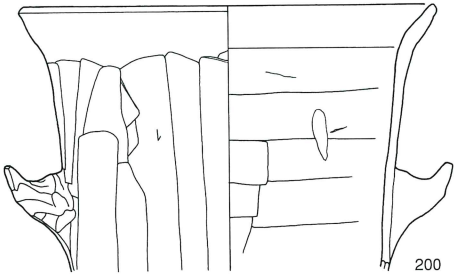
第409図 谷部南側出土遺物 (17)



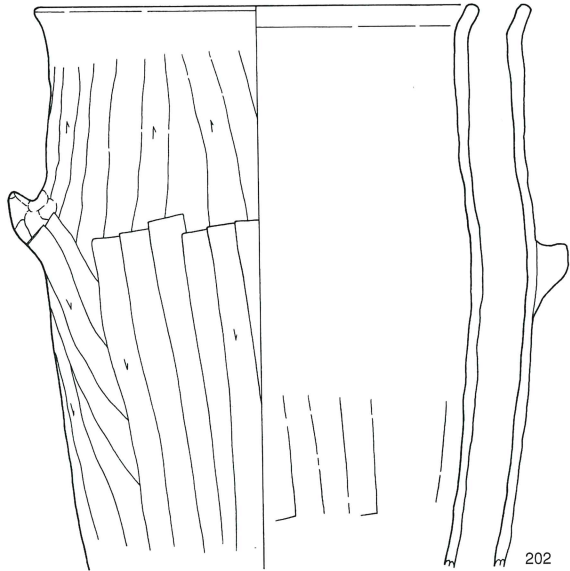
198



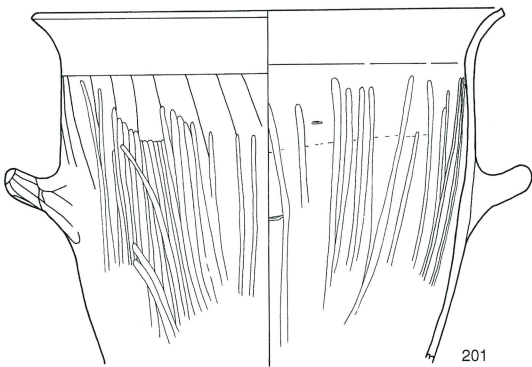
199



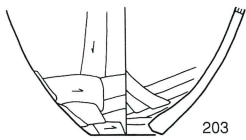
200



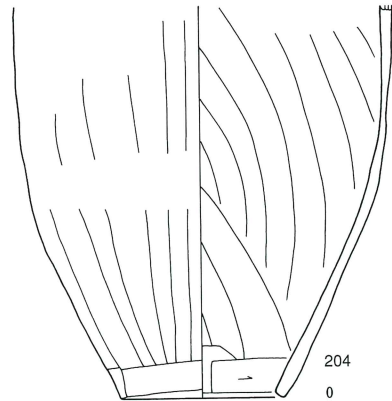
202



201



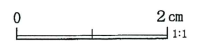
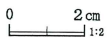
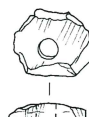
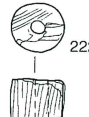
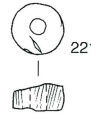
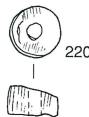
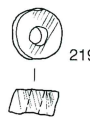
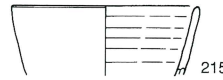
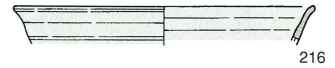
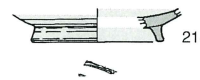
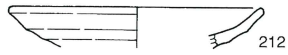
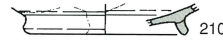
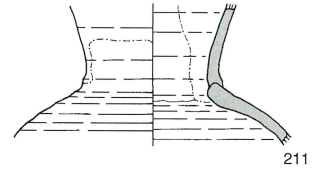
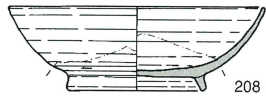
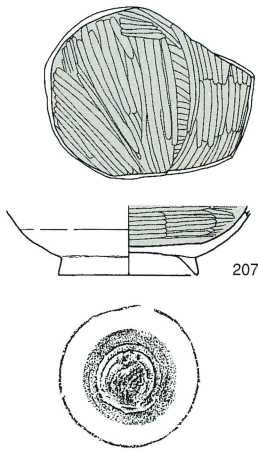
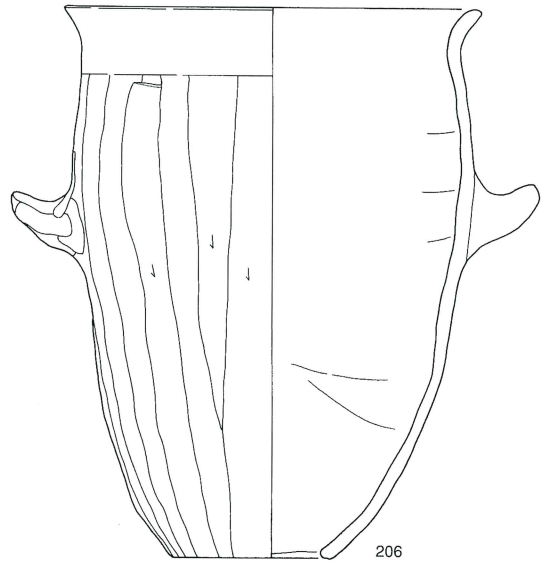
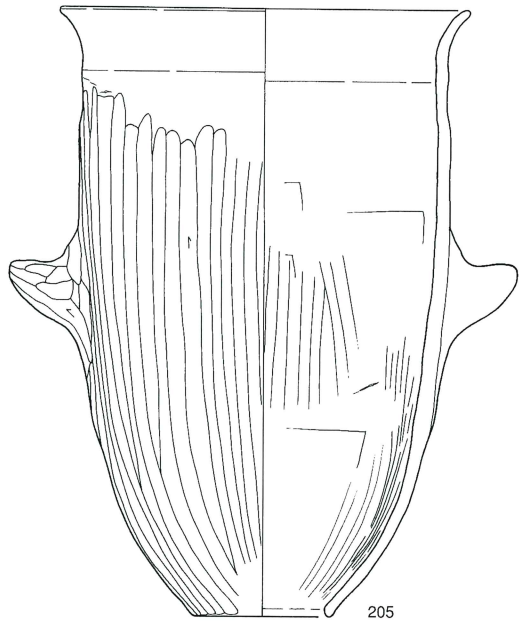
203



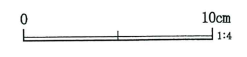
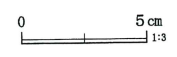
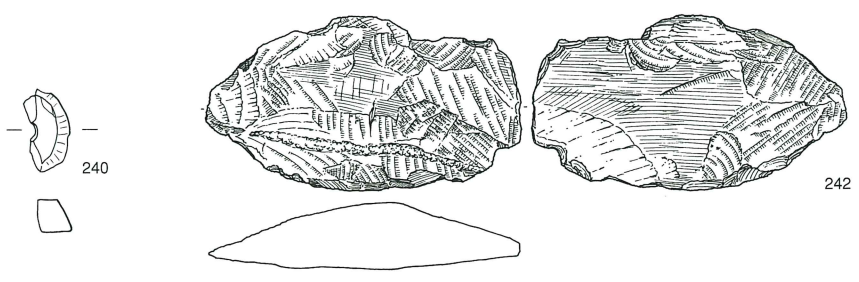
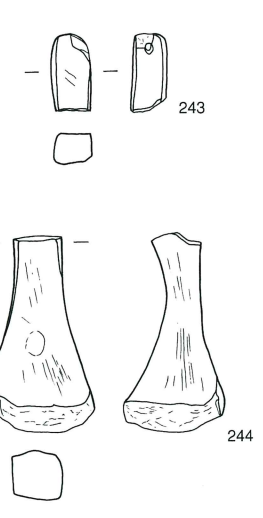
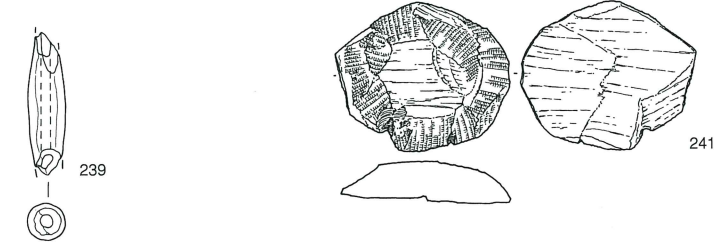
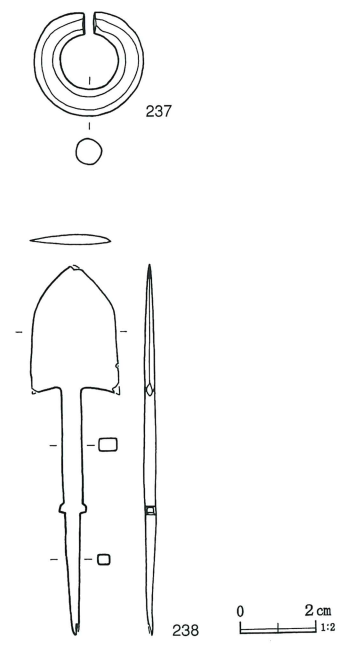
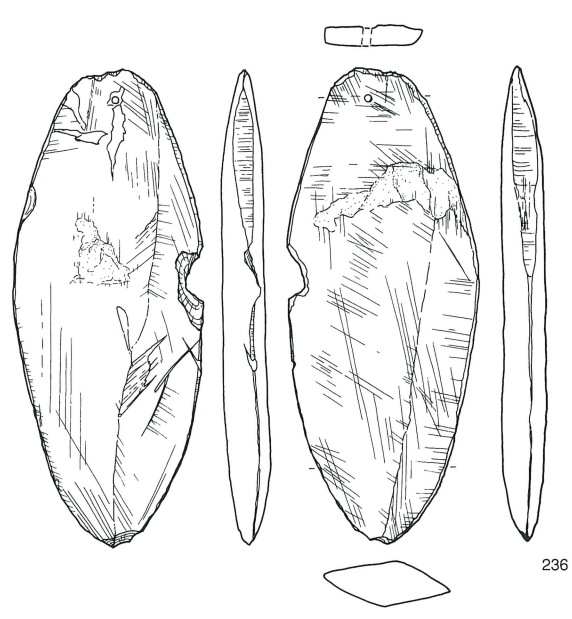
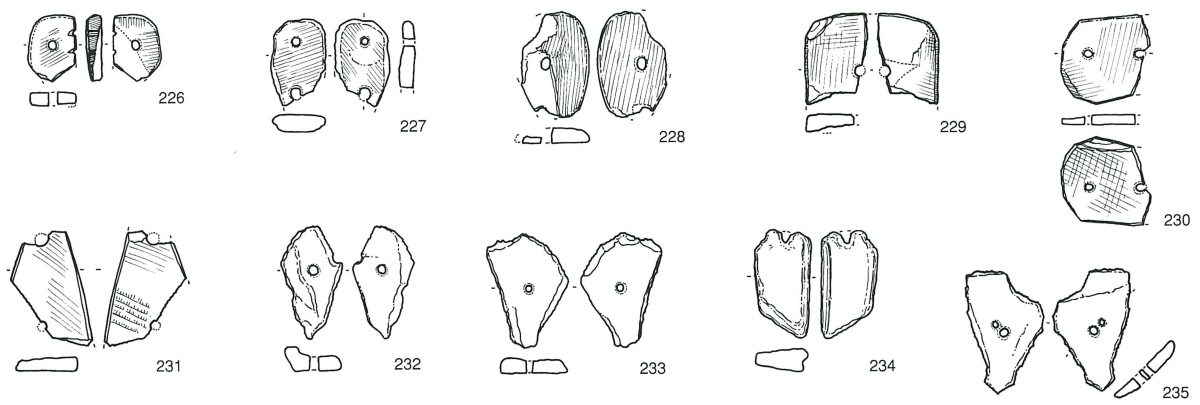
204



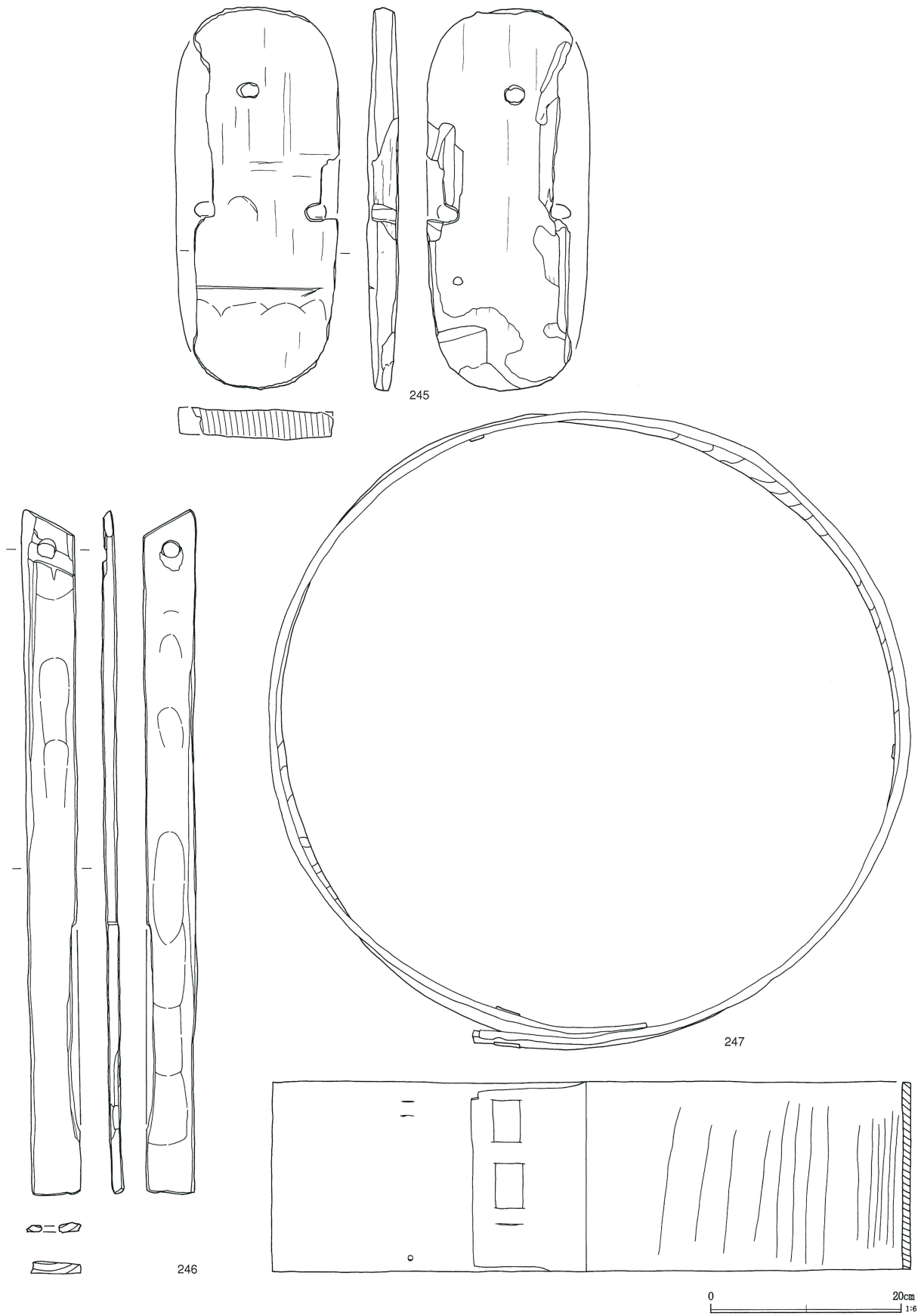
第410図 谷部南側出土遺物 (18)



第411図 谷部南側出土遺物 (19)



第412図 谷部南側出土遺物 (20)



第413図 谷部南側出土遺物 (21)



0 20cm 1:6

第414図 谷部南側出土遺物 (22)

第41表 谷部出土遺物観察表(1)

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版
376	1	M 36	須恵器 蓋	(14.3)	[4.8]	—	1/2	石英 白粒	良好	灰		80-6
376	2	L 36	須恵器 坏身	(10.8)	[5.1]	—	1/3	白粒	良好	灰		121-1
376	3	M 36	須恵器 高坏	(10.0)	[5.1]	—	1/2	雲 白粒	良好	灰	三方透	121-1
376	4	M 36	須恵器 甕	—	—	—	破片	白粒	良好	灰		
376	5	M 36	須恵器 甕	—	—	—	破片	赤粒 白粒 黒粒	普通	灰		
376	6	O 36	須恵器 蓋	(17.8)	[2.2]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰白	秋間産	
376	7	P 36	須恵器 坏	(12.4)	[3.4]	—	口縁破片	長石 針	良好	灰	墨書、南比企産	
376	8	P 35	須恵器 坏	(12.8)	[3.8]	5.4	1/2	長石 針	普通	にぶい橙	南比企産	
376	9	M 36	須恵器 壺	(12.6)	[6.3]	—	口縁破片	砂粒 黒粒	普通	灰		
376	10	O 36	須恵器 甕	—	[7.9]	(14.4)	破片	石英	良好	青灰		
376	11	P 36	須恵器 長頸壺	(8.0)	6.1	—	口縁破片	長石 針	良好	オリーブ灰	南比企産	
376	12	M 36	土師器 坏	11.0	4.9	—	2/3	白粒	普通	橙		80-7
376	13	M 36	土師器 坏	(11.4)	4.7	—	1/2	角 赤粒	普通	橙		80-8
376	14	K 37	土師器 鉢	(17.8)	[13.0]	—	1/3	角 赤粒 白粒 針 黒粒	普通	浅黄橙		
376	15	M 36	土師器 小型壺	(9.6)	[10.8]	—	2/3	白粒 黒粒	良好	浅黄橙		96-1
376	16	L 36	土師器 ミニチュア	7.7	[5.2]	(4.3)	1/4	赤粒 白粒	不良	灰褐	手づくね	
376	17	L 36	土師器 甕	(17.6)	[7.5]	—	口縁破片	砂粒 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
376	18	M 36	土師器 甕	(19.0)	10.0	—	口縁	雲片 石英 砂粒	普通	灰黄褐		
376	19	L 36	土師器 甌	17.4	13.1	2.7	ほぼ完形	赤粒 白粒	普通	橙		96-2
376	20	O 36	灰釉陶器 碗	(10.8)	[2.5]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰白、釉灰オリーブ		
376	21	O 36	灰釉陶器 碗	—	[1.8]	[7.3]	破片	黒粒	普通	灰白		122-1
376	22	P 36	灰釉陶器 碗	—	[2.4]	(8.5)	底部1/2	白粒 黒粒	良好	灰白、釉灰オリーブ		122-1
376	23	O 36	灰釉陶器 碗	—	[3.3]	(8.5)	破片	白粒 黒粒	不良	灰白、釉灰白	ハケ塗り	122-1
376	24	M 36	灰釉陶器 浄瓶	—	[3.5]	—	破片	白粒	普通	灰白		122-1
377	25	M 36	緑釉陶器 皿	—	—	—	破片	黒粒	普通	灰釉オリーブ黄		123
377	26	P 36	緑釉陶器 碗	—	[1.7]	(6.6)	破片	白粒	普通	灰白、釉灰オリーブ		123
377	27	O 36	緑釉陶器 碗	—	[2.3]	(6.4)	破片	黒粒	普通	灰白、釉灰オリーブ		123
377	28	P 36	緑釉陶器 碗?	—	—	—	破片	白粒	普通	灰白、釉灰オリーブ黄		123
377	29	P 36	緑釉陶器 碗	—	[1.8]	(6.0)	破片	白粒 黒粒	普通	灰白、釉灰オリーブ		123
377	30	O 36	緑釉陶器 碗	—	[2.2]	(7.2)	破片	黒粒	普通	灰白、釉灰オリーブ黄		123
377	31	P 36	灰釉陶器 長頸瓶	—	[3.1]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰白、釉灰白	ハケ塗り	
377	32	P 36	常滑 甕	—	[6.4]	—	破片	石英 白粒 黒粒	良好	明青灰		126-1
377	33	M 36	石製品 砥石	幅(7.1)長さ(7.6)厚さ(3.5)			ほぼ完形					129-1
377	34	M 36	石製模造品 不明品	幅2.2長さ4.0厚さ0.4重さ5.2			—					
377	35	M 36	石製模造品 不明品	幅1.9長さ3.8厚さ0.5重さ4.7			—					
377	36	M 36	石製模造品 剣形品	幅3.2長さ3.2厚さ0.7重さ14.6			1/2					128-1
377	37	M 36	石製模造品 有孔円板	幅2.2長さ3.8厚さ0.4重さ6.0			1/2					
377	38	M 36	石製模造品 有孔円板	幅2.7長さ2.6厚さ5.4重さ4.6			ほぼ完形					128-1
377	39	O 36	石製模造品 剣形品	幅2.1長さ2.9厚さ0.5重さ3.9			1/2					
377	40	L 38	石製模造品 剣形品	幅2.3長さ4.1厚さ0.4重さ4.7			完形					127-2
377	41	M 36	石製模造品 剣形品	幅2.9長さ5.0厚さ0.7重さ15.0			ほぼ完形					127-2
377	42	M 36	石製模造品 不明品	幅1.1長さ2.6厚さ0.4重さ2.1			1/4					
377	43	M 36	石製品 白玉	径0.8長さ0.4重さ0.5			ほぼ完形				滑石製	
377	44	M 36	石製品 白玉	径0.9長さ0.8重さ0.9			完形				滑石製	
377	45	O 36	石製品 白玉	径1.0長さ0.3重さ0.5			4/5				滑石製	
377	46	O 36	石製品 白玉	径1.3長さ0.5重さ1.4			3/5				滑石製	
377	47	M 36	石製品 白玉	径1.3長さ0.8重さ2.1			3/5				滑石製	
377	48	M 36	石製品 紡錘車	径(3.4)厚さ(0.3)重さ4.8			2/5					120-1
377	49	L 36	土製品 土錘	孔径0.3径1.7長さ4.8重さ13.1			ほぼ完形					129-2
377	50	M 36	銭貨 元符通寶	径2.3重さ2.6							北宋1098年、行書	
393	1	O 43	土師器 台付甕	13.8	[20.1]	—	2/3	砂粒	良好	淡黄		113-3
393	2	P 42	土師器 台付甕	(15.6)	[15.5]	—	1/3	雲 白粒	普通	褐灰		
393	3	P 42	土師器 器台	7.8	[4.3]	—	3/4	雲 角	普通	にぶい橙	円孔3、赤彩	96-3
393	4	P 41	土師器 高坏	15.8	[6.5]	—	坏部	片 角 石英 赤粒	良好	にぶい褐	単節RL	96-4

第42表 谷部出土遺物観察表(2)

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版		
393	5	O	43	土師器	甕	—	—	—	口縁破片	雲 砂粒	普通	にぶい黄橙		
393	6	P	43	土師器	甕	—	—	—	破片	黒粒	普通	灰黄褐		
393	7	P	42	土師器	甕	—	—	—	破片	雲 砂粒	普通	にぶい黄褐		
393	8	P	43	土師器	甕	—	—	—	破片	雲 砂粒	普通	にぶい橙		
393	9	P	43	土師器	甕	—	—	—	破片	石英 砂粒	普通	にぶい黄褐		
393	10	O	43	土師器	甕	—	—	—	口縁破片	雲 砂粒 赤粒	普通	にぶい褐	単節RL	
393	11	P	43	土師器	甕	—	—	—	口縁破片	赤粒	普通	にぶい黄橙	単節RL	
393	12	P	43	土師器	甕	—	—	—	口縁破片	雲 赤粒	普通	褐		
393	13	Q	40	土師器	甕	—	—	—	口縁破片	雲 片	良好	灰褐		
393	14	P	42	土師器	甕	—	—	—	口縁破片	角 石英 片	良好	にぶい赤褐		
393	15	P	43	土師器	甕	—	—	—	破片	石英 砂粒	普通	褐	単節RL	
393	16	P	43	土師器	甕	—	—	—	破片	雲	普通	にぶい黄橙	単節RL	
393	17	P	42	土師器	甕	—	—	—	破片	雲 小礫	普通	にぶい褐	単節RL	
393	18	P	42	土師器	甕	—	—	—	破片	雲 小石	普通	灰褐	単節RL	
393	19	P	43	土師器	甕	—	—	—	破片	雲 砂粒	普通	褐	単節LR	
393	20	P	43	土師器	甕	—	—	—	破片	雲	普通	褐灰	単節LR	
393	21	P	43	土師器	甕	—	—	—	破片	雲 石英 砂粒	普通	黒		
393	22	P	43	土師器	甕	—	—	—	破片	雲 石英	普通	にぶい黄橙		
393	23	O	44	土師器	壺	—	—	—	破片	石英 角	良好	灰褐		
393	24	P	42	土師器	壺	—	—	—	口縁破片	雲 赤粒	普通	にぶい橙	単節LR	
393	25	P	42	土師器	壺	—	—	—	破片	雲	普通	にぶい褐	赤彩	
393	26	P	43	土師器	壺	—	—	—	破片	石英 角	良好	にぶい赤褐	赤彩、単節RL?	
393	27	P	43	土師器	壺	—	—	—	破片	雲	普通	にぶい褐		
394	1	O	46	須恵器	蓋	(14.9)	4.6	—	1/5	針	普通	灰	南比企産	80-9
394	2	O	43	須恵器	蓋	13.2	2.9	—	1/4	石英 白粒	良好	暗灰	末野産	
394	3	O	44	須恵器	蓋	(15.0)	[3.0]	—	1/4	雲 砂粒 白粒	普通	淡灰		121-1
394	4	P	42	須恵器	坏身	11.2	4.6	—	ほぼ完形	雲 砂粒	不良	褐灰		
394	5	P	42	須恵器	坏身	(12.2)	[3.2]	—	破片	白粒	良好	灰		121-1
394	6	P	42	須恵器	坏身	(10.0)	3.2	—	破片	砂粒 白粒	良好	灰		121-1
394	7	O	43	須恵器	坏身	(8.4)	[2.8]	—	破片	砂粒 白粒	普通	暗灰	末野産	
394	8	P	42	須恵器	坏身	—	—	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰	末野産	
394	9	P	43	須恵器	高坏	—	[4.8]	(6.2)	1/2	白粒 黒粒	良好	黒灰	三方透	119-8
394	10	P	43	須恵器	高坏	(12.2)	[5.0]	—	1/2	雲	普通	黒灰	三方透	80-10
394	11	P	43	須恵器	高坏	13.2	7.0	(9.0)	2/3	雲 白粒 黒粒	普通	灰	無蓋	96-5
394	12	P	42	須恵器	高坏	—	—	—	1/3	白粒	普通	灰		
394	13	P	43	須恵器	高坏	14.0	[3.6]	—	坏部	白粒 黒粒	普通	灰	二方透	81-1
394	14	P	42	須恵器	高坏	—	—	—	破片	片	良好	灰	末野産	121-1
394	15	P	43	須恵器	高坏	13.1	13.9	(11.4)	4/5	長石 白粒 黒粒	良好	にぶい灰褐	長脚二段三方透、末野産	96-6
394	16	P	42	須恵器	高坏	—	—	—	破片	白粒	良好	灰	長脚二段三方透	
394	17	P	43	須恵器	高坏	14.6	20.0	16.8	2/3	白粒	良好	灰	長脚二段三方透、末野産	113-4
394	18	P	41	須恵器	甗	—	[10.5]	—	胴部	長石 白粒	良好	暗灰		97-1
394	19	P	42	須恵器	壺	—	[11.2]	—	1/3	白粒	良好	灰		
394	20	O	43	須恵器	壺	—	—	—	破片	石英 白粒	普通	淡白灰	末野産	
394	21	P	40	須恵器	壺	—	[3.4]	—	胴部破片	長石 赤粒 白粒	良好	褐灰	末野産	
395	22	O	45	須恵器	甕	(18.0)	[8.5]	—	口縁破片	長石 白粒 針	良好	灰	南比企産	
395	23	O	45	須恵器	壺	(24.0)	[7.5]	—	口縁破片	白粒	良好	灰		
395	24	O	45	須恵器	甕	(33.4)	13.0	—	口縁破片	白粒	良好	灰		119-9
395	25	P	43	須恵器	甕	16.6	38.0	—	ほぼ完形	白粒	良好	灰	焼き台が付着	114-1
396	26	P	42	須恵器	甕	—	—	—	破片	黒粒	良好	黒		121-2
396	27	N	47	須恵器	甕	—	[7.4]	—	口縁破片	長石 白粒	良好	暗赤褐		
396	28	P	41	須恵器	甕	—	—	—	口縁破片	石英 白粒	良好	灰		81-2
396	29	P	43	須恵器	甕	—	—	—	破片	白粒 黒粒	普通	暗灰		
396	30	O	44	須恵器	甕	—	—	—	破片	石英	良好	暗灰		121-2
396	31	P	43	須恵器	甕	—	—	—	破片	石英 白粒 黒粒	普通	灰		

第43表 谷部出土遺物観察表(3)

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版
396 32	P 42	須恵器	甕	—	—	—	破片	白粒	普通	にぶい褐		
396 33	P 42	須恵器	甕	—	—	—	破片	石英	良好	灰		
396 34	O 44	須恵器	甕	—	—	—	破片	雲 白粒	良好	灰	末野産	
397 35	P 43	須恵器	短頸壺	8.2	10.8	—	完形	片 白粒	良好	灰白		97-2
397 36	P 43	須恵器	短頸壺	9.5	13.3	—	4/5	白粒	良好	灰		97-3
397 37	O 44	須恵器	壺	長径16.5高さ[15.2]			胴部完存	黒粒 白粒	良好	灰白		97-4
397 38	O 45	須恵器	播り鉢	—	[8.8]	7.8	1/2	石英	良好	灰	末野産	97-5
397 39	O 44	須恵器	播り鉢	—	[8.3]	8.2	2/3	白粒 黒粒	良好	灰		97-6
397 40	P 43	須恵器	播り鉢	14.0	12.6	7.3	ほぼ完形	石英 針	普通	灰		98-1
397 41	O 45	須恵器	坏	12.0	3.4	5.3	完形	針 黒粒	普通	褐灰		81-3
397 42	O 45	須恵器	坏	11.8	3.4	5.7	完形	雲 黒粒	普通	灰		81-4
397 43	O 45	須恵器	坏	11.8	4.2	5.7	完形	雲 角 長石 白粒	不良	黒褐		81-5
397 44	O 45	須恵器	高台付塊	13.0	5.9	4.8	3/4	白粒 黒粒	不良	暗灰		81-6
397 45	O 46	土師器	甗	—	[6.0]	[20.0]	底部破片	雲 白粒	普通	灰褐	2孔	81-7
397 46	O 45	土師器	羽釜	(22.0)	[5.9]	—	口縁破片	雲 白粒 黒粒	普通	灰褐		
398 47	P 42	土師器	坏	—	[3.4]	—	3/4	雲 赤粒	普通	にぶい橙		81-8
398 48	P 42	土師器	坏	(9.0)	4.6	—	1/2	赤粒 黒粒	普通	にぶい橙		81-9
398 49	P 43	土師器	坏	10.0	5.0	—	3/4	白粒	普通	橙		81-10
398 50	P 42	土師器	坏	(11.4)	5.3	—	4/5	石英 赤粒 白粒	良好	赤褐	赤彩	82-1
398 51	P 43	土師器	坏	11.4	3.5	—	完形	雲 赤粒	普通	黄灰	模倣坏	82-2
398 52	O 44	土師器	坏	(12.8)	3.9	—	1/2	角 長石 赤粒	良好	にぶい褐	比企型坏、赤彩	
398 53	P 42	土師器	坏	(15.0)	[5.0]	—	1/3	赤粒 白粒	普通	にぶい赤橙	赤彩	
398 54	P 42	土師器	坏	14.8	4.8	—	ほぼ完形	角 赤粒 白粒 針 小礫	良好	にぶい黄橙	比企型坏、赤彩	82-3
398 55	O 44	土師器	坏	(12.2)	[2.6]	—	口縁破片	雲 白粒 黒粒	良好	にぶい橙	模倣坏	
398 56	P 42	土師器	坏	(9.8)	[3.7]	—	1/3	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい橙	模倣坏	
398 57	P 43	土師器	坏	11.4	4.8	—	3/5	赤粒 白粒	普通	灰褐	黒色有段口縁坏	
398 58	O 44	土師器	坏	(11.2)	[3.2]	—	1/5	角 赤粒 白粒	普通	橙	有段口縁坏	
398 59	P 42	土師器	坏	(12.0)	5.0	—	2/3	雲 角 赤粒 白粒	普通	橙	模倣坏	
398 60	P 42	土師器	坏	11.8	5.5	—	ほぼ完形	赤粒 白粒	普通	橙	模倣坏、赤彩	82-4
398 61	P 43	土師器	坏	(12.6)	[5.7]	—	2/3	白粒 黒粒	普通	橙	模倣坏	
398 62	P 42	土師器	坏	12.8	5.1	—	ほぼ完形	角 長石 白粒	普通	にぶい黄橙	模倣坏	82-5
398 63	P 42	土師器	坏	(12.5)	5.5	—	ほぼ完形	雲 角 白粒	普通	にぶい橙	模倣坏	82-6
398 64	P 42	土師器	坏	(14.2)	[5.1]	—	1/4	雲 白粒 黒粒	良好	赤褐	模倣坏、赤彩	
399 65	P 42	土師器	坏	12.0	5.0	—	ほぼ完形	石英 赤粒 白粒	普通	橙	模倣坏	82-7
399 66	P 42	土師器	坏	13.7	[4.6]	—	4/5	雲 角 砂粒 赤粒 白粒	良好	橙	模倣坏	82-8
399 67	P 42	土師器	坏	14.4	[4.4]	—	ほぼ完形	雲 角 赤粒 白粒	普通	浅黄橙	模倣坏	82-9
399 68	P 43	土師器	坏	(13.8)	4.5	—	4/5	角 赤粒 白粒	普通	灰黄褐	黒色有段口縁坏	82-10
399 69	N 46	土師器	坏	(13.0)	[3.9]	—	4/5	雲 黒粒	良好	赤灰	有段口縁坏	83-1
399 70	P 43	土師器	坏	12.8	4.2	—	ほぼ完形	雲 角 赤粒 白粒	普通	灰褐	黒色有段口縁坏	83-2
399 71	P 43	土師器	坏	(13.0)	4.1	—	1/2	雲 赤粒 白粒	普通	褐灰	模倣坏	83-3
399 72	P 43	土師器	坏	(13.0)	4.9	—	3/5	雲 赤粒 白粒 黒粒	普通	褐灰	模倣坏	
399 73	P 42	土師器	坏	(16.0)	[6.3]	—	1/4	雲 長石 赤粒	良好	にぶい褐	模倣坏	
399 74	P 42	土師器	坏	(16.2)	[6.9]	—	1/2	雲 角 黒粒	普通	橙	模倣坏	83-4
399 75	O 43	土師器	坏	(16.2)	[4.9]	—	破片	雲	普通	にぶい橙	模倣坏	
399 76	P 43	土師器	坏	(15.3)	[4.5]	—	1/3	角 石英 赤粒 白粒	良好	橙	模倣坏	
399 77	P 42	土師器	坏	(15.6)	[4.0]	—	1/2	雲 赤粒	普通	橙	模倣坏	83-5
399 78	P 42	土師器	坏	(16.2)	[4.5]	—	3/5	赤粒 黒粒	良好	明褐灰	模倣坏	
399 79	P 42	土師器	坏	(16.8)	[4.9]	—	1/3	赤粒 白粒	普通	橙	模倣坏	
399 80	P 42	土師器	坏	17.0	[5.1]	—	1/2	黒粒	普通	橙	模倣坏	83-6
400 81	P 42	土師器	坏	(14.6)	4.4	—	ほぼ完形	白粒	普通	にぶい橙	模倣坏	83-7
400 82	P 42	土師器	坏	(14.8)	4.0	—	2/5	赤粒	良好	にぶい橙	模倣坏	
400 83	P 42	土師器	坏	15.0	4.6	—	3/4	赤粒	普通	橙	模倣坏	83-8
400 84	P 42	土師器	坏	(17.0)	4.5	—	2/3	雲 黒粒	普通	にぶい橙	模倣坏	
400 85	P 43	土師器	坏	17.5	5.6	—	4/5	砂粒 赤粒 白粒	良好	にぶい褐	模倣坏、赤彩	83-9

第44表 谷部出土遺物観察表(4)

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版		
400	86	P	42	土師器	坏	(17.0)	[3.0]	—	口縁破片	白粒	普通	黒褐	黒色有段口縁坏	
400	87	P	42	土師器	坏	(14.0)	[4.6]	—	1/2	赤粒 白粒	普通	黒褐	黒色身模倣坏	83-10
400	88	P	41	土師器	坏	11.0	4.3	—	完形	白粒	良好	赤褐	身模倣坏	84-1
400	89	M	47	土師器	坏	(12.0)	[3.5]	—	3/4	雲 白粒	普通	黒褐	黒色身模倣坏	
400	90	M	47	土師器	坏	14.5	3.9	—	3/4	雲 角 赤粒 白粒	普通	黒褐	黒色身模倣坏	84-2
400	91	O	43	土師器	坏	(10.8)	4.1	—	1/3	雲 砂粒	普通	にぶい橙	模倣坏、赤彩	
400	92	O	43	土師器	坏	(12.4)	[3.4]	—	1/4	雲 赤粒 白粒	普通	褐	比企型坏、赤彩	
400	93	P	43	土師器	坏	13.3	4.0	—	ほぼ完形	雲 白粒	普通	にぶい黄橙	比企型坏、赤彩、木葉痕	84-3
400	94	O	46	土師器	坏	(11.2)	3.7	—	3/4	雲 長石 赤粒 白粒 針	普通	にぶい橙	比企型坏、赤彩	84-4
401	95	O	46	土師器	坏	(11.2)	3.1	—	1/2	雲 白粒 黒粒	普通	赤褐	比企型坏、赤彩	
401	96	O	44	土師器	坏	(12.4)	[4.4]	—	破片	石英 赤粒 白粒	普通	灰褐	比企型坏、赤彩	
401	97	P	43	土師器	坏	(19.0)	[6.5]	—	口縁部	赤粒 白粒	普通	明褐灰	模倣坏	
401	98	P	42	土師器	坏	(14.0)	5.1	—	坏部	雲 赤粒 黒粒	普通	にぶい橙	底部削り残し	
401	99	P	42	土師器	鉢	(10.8)	5.5	—	2/3	赤粒 黒粒	普通	橙		84-5
401	100	P	40	土師器	鉢	(13.2)	6.2	6.4	1/2	雲 赤粒 白粒 黒粒	普通	にぶい黄橙		
401	101	P	42	土師器	碗	10.8	7.5	—	ほぼ完形	雲 赤粒 白粒	普通	橙		98-2
401	102	M	47	土師器	碗	(13.0)	8.5	—	1/2	白粒 黒粒	普通	にぶい橙		84-6
401	103	M	47	土師器	鉢	16.5	[7.4]	—	2/3	雲 角 赤粒 白粒 黒粒	普通	にぶい黄橙		
401	104	P	41	土師器	鉢	(21.6)	[8.0]	—	1/4	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙		
401	105	O	43	土師器	鉢	23.3	11.6	7.4	3/4	雲 赤粒	良好	極暗赤褐		98-3
401	106	O	43	土師器	鉢	(23.3)	13.4	(8.4)	1/3	雲 角 長石 赤粒 白粒	普通	にぶい灰褐		
401	107	P	43	土師器	鉢	(25.6)	[11.8]	—	2/3	雲 白粒	良好	灰白		98-4
401	108	P	42	土師器	高坏	(9.4)	9.6	(9.2)	1/3	角 赤粒 白粒 針	良好	にぶい橙		98-5
401	109	P	42	土師器	高坏	(13.2)	[9.6]	8.4	2/3	赤粒 白粒	良好	淡赤橙		98-6
401	110	P	41	土師器	高坏	—	[5.0]	10.2	脚部	雲 白粒 針	普通	にぶい橙		
401	111	O	43	土師器	高坏	—	[5.0]	9.3	脚部	雲 赤粒	普通	橙		
401	112	P	42	土師器	高坏	—	[20.0]	—	脚部	雲 白粒 針	普通	にぶい橙	赤彩	114-2
402	113	O	43	土師器	高坏	(14.6)	[9.8]	(10.8)	2/3	雲 白粒	普通	赤褐	赤彩	99-1
402	114	P	42	土師器	高坏	15.8	[10.6]	—	3/4	雲	普通	にぶい橙	放射状暗文	99-2
402	115	P	42	土師器	高坏	(16.8)	[10.0]	—	2/3	白粒	普通	灰黄褐	赤彩	99-3
402	116	O	43	土師器	高坏	(17.4)	13.5	16.0	2/3	雲 角 白粒 黒粒	普通	にぶい橙		99-4
402	117	O	43	土師器	高坏	(16.4)	[3.9]	—	1/4	石英 白粒	普通	赤	赤彩	
402	118	M	47	土師器	高坏	(18.5)	[9.6]	—	坏部	雲 石英	普通	明褐灰		99-5
402	119	P	42	土師器	高坏	—	[6.7]	11.8	脚部	黒粒	普通	赤橙	赤彩	
402	120	N	47	土師器	壺	12.0	19.7	4.8	ほぼ完形	長石 赤粒 白粒	普通	赤		114-3
402	121	P	42	土師器	小型壺	—	[5.9]	4.7	胴部完存	雲 石英 赤粒	普通	にぶい橙		119-10
402	122	M	46	土師器	小型壺	(8.5)	10.4	3.6	ほぼ完形	雲 赤粒	普通	明褐灰~橙	赤彩	99-6
402	123	P	43	土師器	小型壺	—	[10.8]	—	2/3	雲 長石 赤粒	普通	橙		100-1
402	124	P	43	土師器	小型壺	(10.5)	[8.0]	—	口縁破片	針 黒粒	良好	淡黄		
402	125	O	43	土師器	小型壺	(10.0)	[16.0]	—	1/3	石英 赤粒 白粒 針	普通	にぶい橙		
402	126	P	42	土師器	壺	15.6	[4.7]	—	口縁部	長石 赤粒 白粒	普通	にぶい褐		84-7
402	127	P	41	土師器	壺	(20.0)	[7.2]	—	口縁破片	雲 赤粒 白粒 針	普通	橙		
403	128	O	43	土師器	壺	(29.4)	[12.8]	—	口縁破片	角 赤粒 白粒 黒粒	良好	橙	赤彩	
403	129	P	43	土師器	壺	(27.6)	[22.6]	—	口縁破片	長石 赤粒 白粒 黒粒	普通	橙		100-2
403	130	O	43	土師器	壺	—	[3.5]	7.1	底部破片	雲 角 赤粒 白粒 針	普通	にぶい赤橙		
403	131	P	42	土師器	壺	—	[5.0]	(8.0)	底部1/2	石英 砂粒 白粒	普通	橙	黒斑	
403	132	P	41	土師器	壺	—	[3.9]	10.0	底部	角 白粒 黒粒	普通	にぶい橙	木葉痕	
403	133	P	41	土師器	壺	—	[10.3]	7.5	底部	雲 角 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
403	134	N	47	土師器	壺	—	[20.0]	6.6	底部	角 赤粒 白粒 針	普通	浅黄橙		
403	135	P	41	土師器	壺	—	[18.6]	7.6	底部1/3	砂粒 赤粒 白粒	普通	橙		100-3
404	136	P	42	土師器	壺	(17.2)	33.8	7.4	3/4	砂粒 赤粒 白粒	普通	橙		114-4
404	137	P	42	土師器	壺	—	[32.3]	—	胴部3/4	角 砂粒 赤粒 白粒	普通	黄橙	赤彩、台付?	115-1
404	138	P	43	土師器	小型甕	(9.6)	[12.0]	6.2	2/3	角 赤粒 白粒 黒粒	普通	にぶい橙		100-4
404	139	P	41	土師器	小型甕	(10.0)	12.0	—	1/2	雲 角 赤粒 白粒 針	良好	褐		100-5

第45表 谷部出土遺物観察表(5)

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版		
404	140	P	42	土師器	台付甕	12.0	[16.0]	—	4/5	石英 砂粒 赤粒 白粒	普通	にぶい橙	煤付着	100-6
404	141	P	41	土師器	台付甕	—	[5.0]	10.2	脚部	雲 白粒	普通	にぶい赤橙		
404	142	O	44	土師器	小型甕	(13.8)	[9.1]	—	口縁破片	雲 角 白粒 針 黒粒	普通	灰白		
404	143	P	43	土師器	小型甕	(13.6)	[9.9]	—	1/2	雲 長石 赤粒 白粒	普通	灰褐		
404	144	P	43	土師器	小型甕	(13.0)	[7.1]	—	口縁破片	赤粒 白粒	普通	灰褐		
404	145	P	43	土師器	小型甕	(14.6)	[7.4]	—	口縁破片	石英 砂粒 赤粒 白粒	不良	にぶい橙		
404	146	O	44	土師器	小型甕	(14.6)	[9.0]	—	1/3	長石 白粒 赤粒 黒粒	普通	灰黄褐		
405	147	P	43	土師器	甕	(14.6)	[8.9]	—	口縁	赤粒 白粒 黒粒	普通	にぶい橙		
405	148	O	44	土師器	甕	(14.4)	[11.0]	—	口縁	角 白粒	普通	黄灰		
405	149	M	47	土師器	甕	(13.0)	19.1	7.8	4/5	赤粒 黒粒	良好	にぶい黄橙	101-1	
405	150	M	47	土師器	甕	13.0	20.5	6.3	ほぼ完形	雲 角 長石 赤粒 白粒	普通	明褐灰	115-2	
405	151	P	43	土師器	甕	14.4	25.3	6.7	ほぼ完形	石英 赤粒 白粒	普通	浅黄	115-3	
405	152	P	42	土師器	甕	—	[19.1]	5.5	胴部	赤粒 黒粒	普通	橙	101-2	
405	153	P	42	土師器	甕	—	[12.0]	6.6	底部	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい橙	101-3	
405	154	P	42	土師器	甕	—	[7.2]	7.0	底部1/3	石英 砂粒 白粒	普通	灰白	黒斑	
405	155	O	44	土師器	甕	—	[2.9]	9.8	底部	雲 角 長石 赤粒 白粒 黒粒	普通	淡橙~黒褐		
405	156	O	44	土師器	甕	—	[4.6]	7.6	底部	雲 砂粒 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
406	157	P	42	土師器	甕	(18.6)	[10.0]	—	1/3	砂粒	普通	にぶい橙		
406	158	P	42	土師器	甕	(15.2)	[17.6]	—	口縁~胴部	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい褐	赤彩	101-4
406	159	P	41	土師器	甕	(16.0)	[19.0]	—	口縁~胴部	白粒 黒粒	普通	赤		101-5
406	160	P	41	土師器	甕	(11.6)	[20.8]	—	1/2	石英 白粒 小礫	普通	にぶい橙	赤彩	115-4
406	161	P	43	土師器	甕	(20.0)	[17.2]	—	口縁破片	雲 長石 石英 砂粒 白粒	普通	灰黄褐		101-6
406	162	P	43	土師器	甕	(23.0)	[25.6]	—	3/4	石英 砂粒 赤粒 白粒	普通	橙	煤付着	116-1
406	163	P	43	土師器	甕	20.4	34.7	11.4	4/5	石英 砂粒 黒粒	普通	淡黄	黒斑	116-2
407	164	O	43	土師器	甕	16.4	[11.1]	—	1/2	雲 角 赤粒 白粒 針	良好	にぶい橙~橙		
407	165	N	47	土師器	甕	18.1	[11.3]	—	口縁	雲 白粒 黒粒	普通	灰黄褐		
407	166	O	44	土師器	甕	20.1	[10.7]	—	口縁	雲 角 長石 赤粒 白粒 黒粒	普通	明褐灰		
407	167	P	42	土師器	甕	(21.4)	[10.1]	—	口縁破片	白粒 黒粒	普通	にぶい橙		
407	168	M	47	土師器	甕	18.5	15.0	—	1/3	長石	普通	にぶい褐		102-1
407	169	P	40	土師器	甕	(17.0)	[17.5]	—	口縁~胴部	雲 赤粒	普通	にぶい黄橙		
407	170	P	41	土師器	甕	(18.6)	[24.2]	—	1/4	長石 砂粒 白粒	普通	淡黄	煤付着	116-3
407	171	M	47	土師器	甕	19.4	[28.0]	—	1/2	角 石英 赤粒 白粒 小礫	普通	明褐灰		116-4
408	172	P	41	土師器	甕	—	[26.4]	7.2	2/3	砂粒 赤粒 白粒	普通	明赤褐	黒斑、煤付着	117-1
408	173	P	41	土師器	甕	—	[22.2]	5.1	1/3	雲 白粒 黒粒	普通	灰褐		
408	174	P	43	土師器	甕	—	[24.5]	[6.0]	底部	長石 赤粒 白粒	普通	褐灰		117-2
408	175	P	43	土師器	甕	—	[36.1]	4.2	1/2	砂粒 白粒	普通	褐灰	煤付着、木葉痕	
408	176	P	42	土師器	甕	—	[2.8]	5.0	底部	長石 石英 砂粒 赤粒 白粒	良好	淡黄	黒斑	
408	177	P	42	土師器	甕	—	[4.0]	7.4	底部1/2	長石 砂粒 白粒	普通	にぶい黄橙	煤付着	
408	178	O	43	土師器	甕	—	[2.9]	6.7	底部	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
408	179	P	42	土師器	甕	—	[2.9]	6.0	底部	砂粒	良好	橙	赤彩	
408	180	O	43	土師器	甕	—	[2.6]	7.6	底部	赤粒 白粒 黒粒	良好	にぶい橙		
408	181	P	42	土師器	甕	—	[3.3]	6.2	底部1/2	砂粒 赤粒 白粒	良好	淡黄	黒斑、煤付着	
408	182	P	42	土師器	甕	—	[5.3]	7.2	底部	石英 砂粒 赤粒 白粒	良好	淡黄	黒斑	
408	183	P	41	土師器	甕	—	[8.2]	—	底部	雲 赤粒 白粒	普通	明褐灰		
408	184	O	43	土師器	甕	—	[3.8]	5.8	底部	雲 赤粒 白粒 黒粒	普通	灰褐		
408	185	P	42	土師器	甕	—	[5.8]	7.0	底部	石英 砂粒 白粒	普通	淡黄	煤付着	
408	186	P	42	土師器	甕	—	[5.3]	7.4	底部	砂粒	普通	灰白	煤付着	
408	187	P	42	土師器	甕	—	[6.7]	6.0	底部1/4	石英 砂粒 白粒 針	普通	灰黄	煤付着	
408	188	P	42	土師器	甕	—	[3.9]	6.6	底部	石英 砂粒 白粒	普通	褐灰	煤付着、木葉痕	
408	189	O	44	土師器	甕	—	4.4	6.6	底部	雲 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい橙	木葉痕	
409	190	O	43	土師器	甕	(10.6)	[8.5]	—	1/4	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
409	191	P	42	土師器	甕	(22.0)	[7.9]	—	口縁破片	雲 長石 赤粒 白粒	普通	にぶい赤橙		
409	192	O	43	土師器	甕	(21.6)	13.0	6.6	1/3	石英 砂粒	普通	にぶい黄橙		102-2
409	193	P	42	土師器	甕	(19.0)	[15.6]	—	2/3	砂粒 赤粒 白粒	普通	にぶい赤橙		102-3
409	194	N	47	土師器	甕	18.5	[18.6]	6.4	ほぼ完形	雲 角 長石 赤粒 白粒 針	普通	明褐灰		102-4